

から遠ざかつてつまらない人間になるのが多かつた。又一方にはいろ／＼の事情で上級の學校へ行けぬ人達が徒らに身の不運をかこつて自暴自棄するといふやうな風を生じてゐた。これは如何にも残念なことである。諸子には何とかしてこのやうなあやまれる道を履ませたくない。出世の目途をつけずに本道でとまどふやうな者や、業界に進出してその所を得ずに轉々浮浪する者などを生せぬやうにしたい。それが爲に先づ諸子に職業研究をすゝめるのである。

職業研究の要領

實に、われ／＼は個々の職業を其の目と見做される大きな職業網に包まれて生存してゐるのである。その網から出て孤立しては一日も安樂に暮らすことが出来ない。

われも亦必ずその網の目の一つを分擔して人類の共存共榮に參與する應分の役目を立派に果す人にならなければならないのである。されば

一、現在世の中にどんな職業が行はれてゐるか。

「職業の種類」

二、其の各職業がそれぞれどんなに關係しあつてゐるか。

「職業の相互關係」

といふことを明かにするのを職業網の研究といふことが出来るが、その研究によつて社會に於ける共存共榮の事實を理解することが出来、連帶責任の如何なるものであるかを悟ることが出来る。この理解と自覺とを得ることは何人にとつてもまことに大切なのである。

更に進んでその一つ／＼の職業について研究を深め、

三、其の職業はどんなに世の中に役立つてゐるか。

「職業の價値」

四、其の職業は將來永續するであらうか。

「將來の見込」

五、其の職業はどんな境遇、性能の者に適するか。

「職業の適性」

といふことなどを明かにすることによつて、自分が將來従事すべき職業を正しく選ぶことが出来る。それで諸子は職業についてこれだけのことを是非研究しなければならないのである。それはな

かくむつかしい事であるが、先生の教へを受けて諸學科を學ぶ時は勿論、平生見聞する事に深く注意して之が研究を進めて行けばだん／＼分つて来る。さうしてこの研究が面白くなるであらう。

そこで、先づその研究の果として、私は諸子に職業網の大綱を知らせたいと思つて、この本を書いたのである。

職業の分化

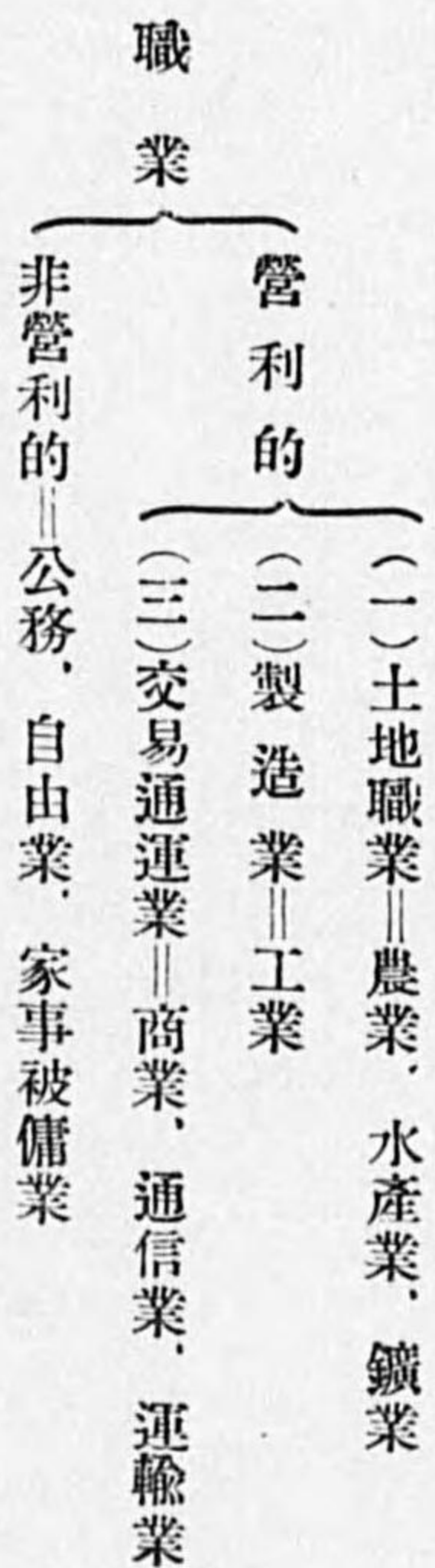
さて、古へから代々の人々のよりよく生きんとする絶えざる向上的活動によつて、人類にのみそなはれる手と頭との優越せる機能は益々練磨されて、科學や藝術や宗教や道德等が發達し、發見發明が相ついで行はれ、通信交通が大いに開け、産業組織や政治組織が改革せられるにつれて、人々の生活交渉は思想的にも經濟的にも時間的にも空間的にもだん／＼擴がつて複雑を加へそれが爲に生存競争が次第に烈しくなつて來た。さうして相互の生活能率を高めなければならぬ必要上、職業の分化が行はれ所謂分業が盛んになつたのである。

かくて職業の上に絶えず種々の變化消長を生ずるのであるが、その結果今や既に職業の種類は

數千を數へるやうになつてゐる。

職業の種類

かやうに職業の種類は多くなつてゐるが、之を左の如く二つに大別することが出来る。其の一つは財(富)を得ることを直接の目的とするものであり、一つはさうでないものである。前者は營利的であり後者は非營利的である。



又次の如くに分つことも出来る

職業

主として身體を働かすもの || 身體勤勞
 心身兩方面を働かすもの || 心身勤勞
 主として精神を働かすもの || 精神勤勞

農夫、漁夫、園丁、掃除夫、土方、仲仕、職工
 坑夫、下男、下女、等の如し
 運轉手、飛行士、機關手、電話交換手、軍人
 手藝家、タイピスト、裁縫師等の如し
 神職、僧侶、教師、醫師、官公吏、事務員
 文藝家、保姆、看護婦等の如し

本書には大正九年十月一日に實施せられた第一回國勢調査の職業分類に據つてその概略の説明を加へることにしよう。

(一) 農業

農業は直接土と太陽と大氣とに親しみつ、勞働して、我等の日常生活に一日も無くてはならぬ衣食住の原料を生産する職業である。故に古來「農は國の本」「百姓は國の寶」と稱へられてゐる。

ナポレオン或る時一婦人といつしよに散歩をしてゐたが、向ふから細い道を重荷を負ふた百姓男がやつて來た。ごちらかゞ道をよけねばならぬ。婦人はごん／＼と眞直に行かうとした。ナポ

レオンは婦人の腕をこらへて傍に避けしめ「奥さん勞働を尊ばねばいけません。神聖な勞働を尊ぶことは決して自分の威嚴を傷つけるものでありませんよ」といつたので婦人は赤面したといふ。

伊豫の筒井村の百姓作兵衛曰く、ごんな田地でも骨折つて作つたならば決してよくなるまいことはありますまい。此の村に荒れた田地の多いのは私どもの骨折がまだ足りない爲だと思ひます。私は出来るだけ働いて悪い田地をよい田地に仕上げ村の爲になるやうにしたいと思ひます。

さて、今日の我が國の農業は普通一般の農作物栽培の上にも、果樹蔬菜、觀賞植物の栽培の上にも、又農家の副業の上にも、夫々改良を施されて其の發達の見るべきものがあるが、然し地方農村の人々が農業に従事することを厭ふて都會へ集る傾向がだん／＼甚だしくなつて、それが爲に農業の不振を招いてゐる地方が少くない。されば今や農村では到るところ特に進取的に犠牲的にその振興の爲に努力を惜まない有爲の青年に期待する事が大である。即ち、土を愛し、勞働を尊んで、勤儉力行し、科學の力を應用して、土地の利用法、肥料、耕作法、生産物の處理等に一層の改良を加へ、共同的、組織的の經營を進めて、以て我が國産業上最も重要な地位を占めてゐ

るこの農業を益々盛ならしめて、國民の生活を安定せしむる上に貢献しようといふ信念をもつて之に従事する人を渴望してゐるのである。

農業の種類は左の如く分たれてゐる。

一、農耕業

1、農作業

田畑を耕して主に五穀類を作る職業である。所謂百姓の主業である。(自作農、小作農、農場管理人、耕作人)

2、園藝・造園業

果樹蔬菜花卉類を栽培し、又は庭園を造りなどする職業である。(百姓、園丁、庭師、植木職)

二、畜産業

1、牧畜業

牛馬羊豚等を牧場で飼養する職業である。

2、搾乳業

牛や山羊から乳を搾り取つてそれを消毒して販賣したり、又それを原料として牛酪や煉乳など

を造る職業である。

3、養禽業

鶏、鶯、鳩、その他の小鳥や蜜蜂の類を飼養する職業である。

三、蠶業

1、養蠶業

蠶を飼養することであるが、これは多くは農家の副業となつてゐる。

2、蠶種製造業

蠶種を製造する職業である

四、林業

1、森林業

森林を所有して木竹類の増殖供給をはかる職業である。

2、林産物業

森林から得られる産物を取扱ふ職業である。(樵、炭焼、菌取、筍取など)

3、狩獵業

鳥獸を捕へる職業である。(獵師、鳥刺)

(二) 水産業

水産業は各種の水産物を採取捕獲して食料や肥料などを供給する職業である。

我が國は四面海にめぐられ河川沼湖も多いので此の業は昔から盛んに行はれてゐるが、全く無盡藏ともいふべき天與の資源を有することであるから、今後實に國內の需要を充たすばかりでなく海外への輸出額を大いに増加するやうに益々之を發達せしむる必要があるのである。

水産業は左の通り分たれてゐる。

一、漁業

1、漁撈業

河海沼湖池等で魚貝海獸などを捕獲する職業である。(河川漁業、湖沼漁業、海岸漁業、遠洋漁業)

2、採藻業

テングサ、ノリ、昆布、若布、アラメ等の海藻を採取する職業である。

3、魚介藻養殖業

池其他で魚、蠣、眞珠、海苔等を人工的にその發生、發育、生長等を助け、又はその蕃殖を保護する職業である。

二、製鹽業

之は各地の海岸で行はれてゐるが、專賣局の許可を受けなければならないことになつてゐる。

(三) 鑛業

鑛業とは鑛物を採取採掘する職業である。

鑛物には金屬と非金屬とがあつてその利用の途が頗る廣く、實にこれなくしては世の文明が成立たぬとまでいはれてゐる。蓋し文明は銅の利用に始まつて、鐵の文明をつくり、更に鐵と石炭の文明を経て、今や鐵と石油の時代となつて來てゐるのである。されば鑛業も亦大切な職業の一つである。之を左の如く分つ。

一、採鑛冶金業

採鑛とは原鑛を採掘すること、冶金とはその原鑛を精煉することである。

1. 金屬鑛業

金銀銅鐵鉛錫亞鉛等の金屬類を採掘精煉する職業である。(鑛山技師、採鑛夫、選鑛夫、洗鑛夫、機械夫、運搬夫、工作夫、雜夫)

2. 石炭鑛業

石炭を採掘し及び煉炭、骸炭等を製造する職業である。

3. 石油鑛業

石油を採取し精製する職業である。(鑿井夫、汲油夫、製油夫)

二. 土石採取業

大理石、石盤石、蠟石、砥石、寶石等を採掘し(石山業)、陶土、砂利、土砂等を採取する。(土砂業) 職業である。

(四) 工業

工業とは原料を混和(セメント、砂等でコンクリート或は人造石を作るが如く)結合(木材にて家具を作るが如く)變化(麥でメリケン粉を作るが如く)精製(甘蔗より砂糖を製するが如く)

などして、一層役立つやうにする職業である。

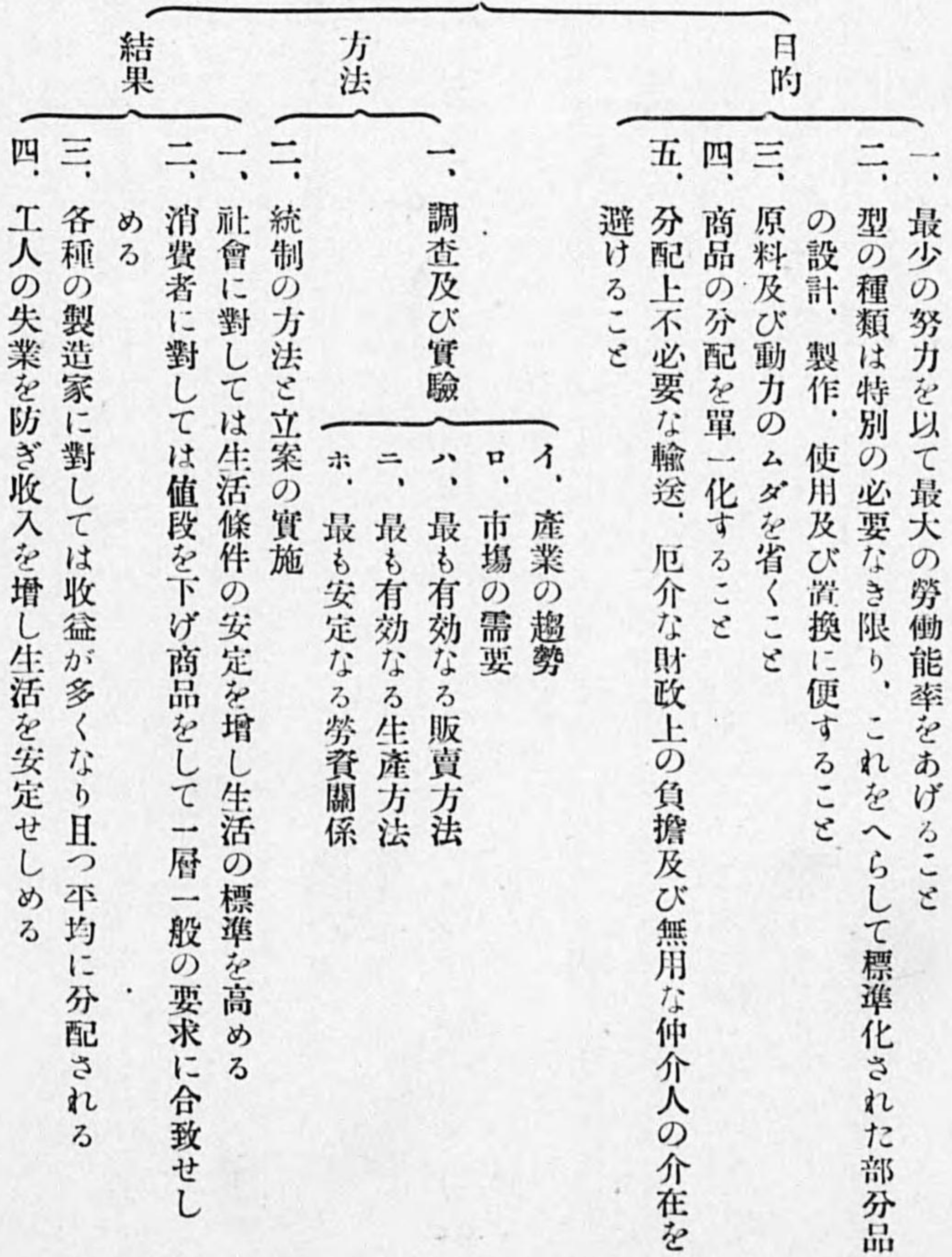
原料は農産物、水産物、鑛産物等多種多様である。實際に總べて如何なる物でも利用厚生の資とならぬものはないのである。されば工業の發達によつて其のあらゆる物の利用價值が高められて行くばかりでなく、從來何等利用の途なしと思はれてゐたものも次第に人類の欲望を充たすべき材料として重用せらるゝやうになり、かくて世の文化が漸次促進されるのである。

農業や水産業鑛業等の發達も工業の進歩に俟つところが少くない。又商業を一層發達せしむる爲にも、外國の製品を凌ぐ優秀品を多量に生産するやうに工業を益々盛ならしめねばならないのである。

されば今や世界の工業界では、その經營の規模、組織、技術、適材配置等の上に着々研究改善を加へその能率の増進を競ひ合つてゐる。

一九二七年ジュネーブで開かれた國際經濟會議で産業の合理化といふことについて左の如きことが議せられてゐる。これは工業のみについてではないが、こゝに參考の爲に掲げることにしよ

産業合理化



それで今後工業に従事せんとするものは、自己の長所のよく適する所に處して、その技術の練磨と學理の研究とに意を用ひ、健康を保持し、忠實、協同の精神を以て之に望み直接國産の振興に貢献する覺悟を必要とするのである。

大阪府立今宮職工學校では、労働主義を以て職工學校の名の下に工業教育を施してゐるが、其の本科（尋常小學校卒業以上の者を入學せしめる修業年限三ケ年）には左の如き八分科が設けられてゐる。

1. 木型科 || 鑄工に必要な木型の製作を教ふる科で、機械工學、設計、製圖等は特に此科に於て精通せしめる。
2. 鑄工科 || 機械の各部は多くは鑄物であるから其の鑄方の善悪はつまり機械の良否となる譯で此技術も亦なか／＼に大事なものである。それで機械工學、設計、製圖等に精通せしむるは勿論、鑄鐵、真鍮、加鍛鐵、セミステール等の鑄造に従事せしめ最新の學理と實地とを併せ教へるのである。
3. 鍛工科 || 諸機械の鍛造部分の製作に従事せしめ、材料の研究に重きを置き前同様機械工學、設計、製圖等を十分習得せしめる。

- 4、仕上科||この科は鑄物鍛造物等を仕上げ機械を作る仕上組立師及び旋盤師を養成するのが目的である。
 - 5、電機科||發電機、電動機、變壓機等の如き電氣機械器具の製作並に取扱が自由に出来るやう學理と實地とを併せ教へる。
 - 6、建築科||日本家屋構造法、西洋家屋建築法、規矩術、測量術、設計、製圖、仕様見積等を教へる。
 - 7、印刷科||主に石版、亞鉛平版、アルミニウム版、コロタイプ、亞鉛凸版、網目版、三色版、寫真彫刻等の最新製版術及び印刷術の學理と實地とを教へる。
 - 8、精密機械科||規格の統一と其の精巧は金屬工業界の趨勢となつたから精確度の高い機械の部分や精密器具類の製作に従事する者を養成する科である。
 なお同校には高等小學校卒業程度以上の者を入學せしむる夜間部を設けて、機械科、電氣科、建築科の各科を授けてゐる。(修學年限各二ケ年)
- 大阪市立泉尾工業學校では纖維工業及び化學工業又はその製品の取扱はるゝ會社若しくは商店等に従事する者を養成する目的で左の如き分科が設けられてゐる。

(尋常小學校卒業以上の者を入學せしめる修學年限五ケ年)

- 1、紡織科||各種織物用原料の性質性狀、原料の加工及び鑑別法、綿糸紡績、毛麻絹紡績の一般から、織物の組織、織物の分解及び設計法、紋織物の製造及び意匠法、織物仕上の原理及び順序方法、各種メリヤス類及びレース類の製造法、色染に關する大意、紡織機の構造、運動、装置及び取扱法についての學理と實地とを習得せしめる。
- 2、色染科||工業用各種纖維の性質性狀、人造絹糸、シルケット、製紙、紙の加工、分析の一般、人造染料顔料及びインキの製造法及び試験法、媒染劑の製法、工業用諸纖維染色の理論、精練漂白浸染捺染及び拔染法、染色堅牢度試験法、各種織物の加工及び仕上、紡織に關する大意、其他皮革、齒、麥稈等の雜貨染色に至るまで化學の應用に基いた各般の纖維工業、色素工業に携はる技術者を養成するため適切な實習とを兼修せしめる。
- 3、窯業科||窯業用材料に關する知識、硝子及び瑠璃の製造法、セメント製造法、試験法、人造石及び石膏の製造法、各種煉瓦、テラコッタ、タイル及び耐火製品、陶磁器の製造法、其他窯業用窯、設計及び製圖、燃料及び燃燒裝置等に亘り精細に授け、之が實習をなさしめる。

4. 應用化學科—定性、定量及び工業分析、各種工業用原料及び製品試験法、電鍍、電鑄、電氣製鍊及び電爐工業、諸藥品の製造法、製粉及び製糖、酒類醬油等の醸造、各種清涼飲料、油脂の採製及び精製、石塩、硬化油、リッスン等の製造法、護謨品製造法、樹脂及び假漆、化粧品、顔料、寫眞及び印刷工、木材及び石炭の乾留、石油製品、製革、燃料及び燃燒裝置等に亘り學理と實技とを併習せしめる。

大阪市立工藝學校では、左の三分科を設けて主として工藝に従事する者の養成につとめてゐる。(尋常小學校卒業以上の者を入學せしめる 修學年限五ヶ年)

1 金屬工藝科—工具、材料、工作機械、工作法、機械大意、圖案及び製圖、工藝史等を授け、鍍金及び鑄金製品として食器類、文房具、點燈裝置、電氣器具、家具用其他各種金具、裝飾的金屬製品等を作らしめ、なほ電鍍、電鑄をも實習せしめる。

2. 木材工藝科—工具、材料、工作機械、工作法、機械及び建築大意、圖案及び製圖、室内裝飾法、工藝史等を授け、日本家具、西洋家具、室内裝飾、彫刻及び象箆、文房具、玩具、其他小工藝品等の製作實習をなさしめる。

3. 工藝圖案科—圖案は工藝の根柢をなすものである。常に時好を察し革新にして優秀なる意匠

により製品の改良を圖らねばならぬ。それで本科では一般圖案法、特殊圖案法、配色法、意匠資料、工藝史、有職故實等を授け實習としては日本畫西洋畫に習熟せしめ、染織物、印刷、金屬工藝品、木材工藝品、陶磁器、漆器其他の一般工藝圖案並に陳列裝飾等の練習をなさしめる。

以上三校の課目を見てもその大要がうかゞはれるやうに、工業には甚だ種類が多いのであるが、國勢調査の職業分類では次の通りに大別してある。

この職業別に調査せられた各従業者の賃銀の平均額は左の如くである。(昭和四年刊行、第十四回日本帝國統計年鑑所載大正十三年十月十日調査)

一、窯業

平均賃銀一日一圓七十三錢(男、一圓八十九錢
女、九十錢)

- 1、セメント製造
- 2、石膏、石灰類製造
- 3、瓦、土管、煉瓦製造
- 4、陶磁器、土器、七寶燒、瑠璃品製造
- 5、硝子、硝子器製造
- 6、其他の窯業

○製造工程

瑠璃器—生土工、融藥工(瑠璃原料—珪砂、智利硝石、コバルト、珪砂等)、繪付工、燒付工、洗滌工。

硝子器—調合工(原料—硝石、石、灰、マンガネ等)、熔解工、吹工、仕上工、冷却工、検査工。

陶磁器—水簸工、細工工、焼成工、生摺工、施薬工、轉寫工、描繪工、繪釜工、検査工。

二、金屬工業

平均賃銀一日二圓三十四錢(男、二圓四十八錢、女、一圓〇六錢)

1. 精煉業
2. 金屬壓延業
3. 釘鉚針類製造
4. 鐵葉職、鐵葉品製造
5. 鋼索鐵鎖等製造、針金細工
6. 鍛冶業
7. 鑄物業
8. 銅器、真鍮器、青銅器製造
9. 其他の金屬工業

○製造工程

鑄物—圖工、木型工、鑄型工、鑄工、砂落工、仕上工、アルミニウム器—ロール工、成形工、仕上工、洗滌工、研磨工、取付工。

三、機械器具製造業

平均賃銀一日二圓四十五錢(男、二圓五十三錢、女、一圓十五錢)

1. 度量衡器、計測器、科學的機械器具類製造
2. 時計製造

3. 電動機、電氣機械器具製造
4. 原動機製造
5. 銃砲彈丸水雷製造
6. 紡織機械器具製造
7. 農具、土工具製造
8. 機關車、車輛製造
9. 造船業
10. 金屬工用、木工用機械器具製造
11. 航空機製造
12. 其他の機械器具製造

○製造工程

機械器具—圖工、木型工、鑄型工、鑄工、砂落工、鍛工、機械工(旋盤工、仕上工)、組立工

四、化學工業

平均賃銀一日一圓五十九錢(男、一圓九十九錢、女、八十七錢)

1. 工業藥品、醫療藥品製造
2. 賣藥、賣藥類似品製造
3. 染料、顔料及其原料類製造
4. 石鹼製造
5. 化粧品類製造
6. 燐寸附木製造
7. 火藥其他の爆發物製造
8. 油脂類製造
9. 蠟、蠟燭製造
10. 護謨セルロイド防水製造
11. 漆其他の塗料製造
12. 肥料製造

13、化學分析検査に關する業

14 其他の化學工業

○製造工程

セルロイド原料工、硝化工、洗滌工、壓延工、研磨工、検査工、セルロイド加工工（切斷工、成形工、仕上工、彩色工、組立工）

石 鹼原料工、鹼化工、精煉工、型打工、包裝工、荷造工、

五、纖維工業

平均賃銀一日九十七錢（男、一圓四十七錢）
（女、八十六錢）

1、生糸製造

2、人造絹糸製造

3、撚糸製造

4、眞綿ベニ製造

5、綿製造

6、綿糸紡績業

7、其他の紡績業

8、織物業

9、毛織物業

10、莫大小、莫大小品製造

11、編物組物製造

12、綱、繩、綱類製造

13、麻系維、絲返業

14、染色捺染、漂白及綿布加工業

15、湯熨斗、浸拔、洗張、洗濯業

16、西洋洗濯業

○製造工程

綿糸紡績—原綿工、混綿工、打綿工、梳綿工、練篠工、粗紡工、精紡工、精粗紡機械工、撚絲工、揚棒工、捲絲工、丸縮工、荷造工
メリヤス—糸繰工、編立工、裁斷工、裁縫工、仕上補助工、仕上工

六、紙工業

平均賃銀一日一圓四十五錢（男、一圓七十二錢）
（女、八十五錢）

1、紙製造

2、板紙、壁紙製造

3、パルプ其他の紙料製造

4、紙品製造

5、表具師

○製造工程

紙 器—紙函工、印刷工、帳簿工

七、皮革、骨、角、甲、羽毛品類製造業

平均賃銀一日二圓三十七錢（男、二圓六十九錢）
（女、九十四錢）

1、皮革製造

2、皮革品、擬革、擬革品製造

3、骨角甲牙貝類の細工

4、刷毛類其他の羽毛品製造

八、木竹類に關する製造業

平均賃銀一日一圓八十錢(男、二圓八十五錢)

- 1、製材業
- 2、木挽、屋根板製造
- 3、刳物、木地、曲物製造
- 4、樽、桶類製造
- 5、建具、指物、木型、寄木、合板製造
- 6、漆器製造
- 7、箆、籠、行李類製造
- 8、疊表、蓆座類製造
- 9、疊職
- 10、藁、麥稈、棕梠、經木細工
- 11、其他の竹、木、草、蔓品製造

○製造工程

洋家具—圖案工、丸鋸工、帶鋸工、面取機械工、仕組工、磨工、塗工

九、飲食料品、嗜好品製造業

平均賃銀一日一圓四十四錢(男、一圓八十九錢)
(女、一圓〇八錢)

- 1、精穀、精粉業
- 2、麵類、麩、湯葉、蒟蒻製造
- 3、豆腐製造
- 4、菓子麵麩製造
- 5、砂糖類、麴製造
- 6、清酒製造
- 7、麥酒製造
- 8、其他の酒類製造

- 9、味噌、醬油製造
- 10、屠畜肉類品製造
- 11、罐詰、餛詰製造
- 12、鹽乾、魚介節類製造
- 13、海藻其他水産食料品製造
- 14、清涼飲料製造
- 15、製茶業
- 16、煙草製造
- 17、製氷及冷蔵業
- 18、其他の飲食料品製造

○製造工程

口付卷煙草—解包秤量工、葉組工、裁柄工、濕蓄工、砂掃葉刻工、積葉工、壓搾裁斷工、裁刻工、口紙卷取工、卷上工、檢查工、包裹貼工、ボール紙函工、裝置工、木箱詰工、

一〇、被服、身の廻り品製造業

平均賃銀一日一圓四十二錢(男、一圓九十三錢)
(女、一圓〇七錢)

- 1、和服裁縫
- 2、洋服裁縫
- 3、帽子製造
- 4、シャツ、手套、股引、脚絆、足袋類製造
- 5、袋物製造
- 6、扇子、團扇、提燈、傘、合羽類製造
- 7、洋傘、杖類製造
- 8、履物類製造
- 9、靴製造
- 10、其他の身の廻り品製造

一一、土木、建築業

平均賃銀一日一圓九十七錢〔男、二圓〇七錢
女、一圓〇七錢〕

- 1、土木建築請負業
- 2、土木建築の設計測量等に關する業
- 3、大工
- 4、左官、泥工、セメント工、煉瓦職
- 5、石工
- 6、屋根職
- 7、ペンキ、澁、其他の塗料塗職
- 8、土方、鳶職
- 9、潜水業
- 10、其他の土木建築に關する業

一二、製版、印刷、製本業

平均賃銀一日二圓十三錢〔男、二圓三十七錢
女、一圓二十六錢〕

- 1、木版、金屬版、石版其他の製版印刷業
- 2、活字製造
- 3、活版印刷業
- 4、製本職

○製造工程

- 印刷 刷 文撰工、植字工、鉛版工、鑄物工、印刷工、解版工、圖工、彫刻工、金版工、凸版印刷工、平版工、平版印刷工、製品工、

一三、學藝、娛樂、裝飾品製造業

平均賃銀一日一圓六十七錢〔男、二圓〇一錢
女、九十錢〕

- 1、筆墨製造
- 2、ペン、鉛筆、インキ類の製造

3、其他の文房具製造

4、樂器製造

- 5、博物標本、模型、運動用具、遊戲品、玩具製造
- 6、造花、押繪、刺繡、其他の裝飾品製造
- 7、貴金屬、寶石、飾石細工

○製造工程

- 鉛 筆 製材工、板燒工、木工、膠附工、色芯工、墨芯工、塗工、包裝荷造工

一四、瓦斯、電氣及天然力利用に關する業

平均賃銀一日二圓四十一錢〔男、二圓四十三錢
女、一圓〇六錢〕

- 1、瓦斯發生、供給、其裝置業
- 2、電力發生、供給、其裝置業
- 3、其他の天然力利用に關する業

(五) 商業

商業とは、生産物を賣買し物資の流通をはかる職業である。これによつて人々の生活上に利便が與へられ、且つ各種の生産業の發達が促されるのである。

交通未開時代の商業はその商域が國內の狭い地方に限られてゐて、其の規模も小さかつたから、其の仕事は概ね直接生産業者から生産物を買取つてそれを直接消費者に賣渡すといふだけの

事であつたが、文明の進歩と共に通信交通の便が開けるにつれて、商域がだん／＼擴がり賣買事業が大規模に行はれるやうになつて來たが爲に、之を幫助する機關の必要を生じて、運送は運送業者に、貯藏保管は倉庫業者に損害の填補は保險業者に、金錢の受拂は銀行業者に任すといふやうに、商業が諸種の營業に分化した。

随つてその仕事も漸次複雑になり經營の組織にも個人、組合、會社の別を生じ、之に従事する人には店主の外に代表者、社長といふのが出來、又支配人（總べてに亘つて主人を代理する）番頭、手代（或る委ねられた仕事について主人を代理する）丁稚、小店員（雜用をなすもので主人の代理は出來ない）等の階級が設けられるやうにもなつた。

かくして其の國際關係は益々密接となり、今や商業は世界を一大市場としての平和戰であるといはれるやうになり、實際に一國の商業の盛衰と國民民福の消長とは甚だ大なる關係を有することになつて來たのである。

されば今後商業に従事せんとするものは、常に世界の大勢に注意し、商業界の實情と事務とに通じ、信用を重んじて正直を旨とし、妄りに私利私益を貪ることなく、公利をはかつて、よく共同して、國富の増殖に貢獻する覺悟をもたなければならぬ。

左に商業の種類を列挙することにしよう。

一、物品販賣業

物品を販賣する職業であるが、之に卸賣と小賣、内國商業と外國貿易、相對賣買と競争賣買、自己賣買、組合賣買、委託賣買、行商賣買、露店賣買、定住賣買（店舗商店、百貨商店、連鎖商店）市場賣買、通信販賣等の別がある。次に示すのは取扱ふ物品によつてその種別を分つたのである。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1、穀類、粉類販賣 | 2、蔬菜、果物類販賣 |
| 3、魚介、藻類販賣 | 4、鳥獸肉類販賣 |
| 5、酒類調味料、清涼飲料販賣 | 6、菓子、麵麩類販賣 |
| 7、茶販賣 | 8、其他の飲食料品販賣 |
| 9、肥料販賣 | 10、燃料販賣 |
| 11、木材竹材販賣 | 12、石材其他の建築材料販賣 |
| 13、建具、家具、指物類販賣 | 14、壘、筵、荒物類販賣 |
| 15、陶磁器、硝子、硝子器類販賣 | 16、地金、金屬器具販賣 |

- 17、機械、車輛、農具類販賣
- 18、皮革、擬革、其製品の販賣
- 19、織物、被服類販賣
- 20、綿、糸類、編物、組物類販賣
- 21、紙、紙製品、文房具、玩具遊戯品販賣
- 22、圖書、新聞、雜誌、其他の出版物の發行販賣
- 23、小間物、唐物、履物、雨具、雜貨販賣
- 24、藥品、染料、顔料、香料等販賣
- 25、度量衡、科學的機械器具、時計、貴金屬、寶石類販賣
- 26、外國貿易商
- 27、古物商
- 28、葬具商
- 29、其他の物品販賣業

二、媒介周旋業

(1) 賣買媒介業

商業取引の媒介をなす職業である。之に問屋、運送取扱人、仲立人などが屬する。
 問屋 商品の賣買に當つて賣手の爲に適當な買手を探し、買手の爲に適當な賣手を求め、更に委託販賣又は買付をなしてその仲介の勞に對し、口錢若しくは手数料を受けるものである。
 卸賣商が之を兼ねてゐるのか卸問屋である。
 運送取扱人 荷主の委託を受けて運送業者との交渉にあたり、委託者から手数料を受けるもの

である。これも亦運送業者が兼ねてゐるのが多い。

仲立人 委託を受けて單に取引の媒介を爲すものである。その手数料は雙方から受けるのが普通である。

(2) 周旋業

職業、借家、結婚等の仲介を爲す職業である。

(3) 興信業

信用（營業の狀態、資産、負債の狀況等）調査を行ふことを營業とするものである。

三、金融保險業

(1) 金融業

金融業とは資金を供給融通する職業であつて、之に銀行業、質屋業、貸金業、無盡業等が屬する。

(2) 保險業

保險業とは一人又は少數人の蒙る損害を多人數で分担する制度を立て、株式會社又は相互會社の營む業務である。之に生命保險、損害保險（火災、運送）海上保險等の別がある。

シヨートン氏曰く、保險ハ共同ノ金庫ノ如シ。

四、物品貸貸業・預り業

1、物品貸貸業

2、倉庫業、其他の物品預り業

五、旅宿・飲食店・浴場業等

1、旅人宿・下宿業

2、料理店、飲食店、席貸業

3、遊戯、興業に關する業

4、理髮業、美容業

5、浴場業

(六) 交通業

交通業とは通信運輸に關する職業であつて、是亦文化の進展に至大の關係を有するものである

一、通信業

これは郵便、電信、電話等の如く人の考へや金錢などを傳達することを掌る職業である。之に従事する者に、局長、通信書記、郵便局雇員、同遞送人、同集配人、通信技手、電信電話局技員、電信工夫、無線電信所員、電話交換局監督、電話交換手、電話工夫、無線電話係員、ラヂオ

アナウンサー等がある。

通信事務員たらしむる者のために遞信講習所の設けがある。本講習所は遞信部内に奉職せんとする者を養成する教育機關で主として電信技術と普通學とを教授し修業年限は一ケ年である。學歷高等小學校卒業程度以上、男子は滿十四歳以上滿二十歳以下、女子は滿十四歳以上の特に家事に係累なきものについて、身体及び學科試験を施して入所せしめる。卒業者は直ちに所屬局區内の郵便局電信局に通信事務員として採用せられ、漸次判任官に採用せられ高等官に昇進する途も開けて居るのである。

二、運輸業

運輸業は人や貨物の運送を掌る職業であるが、今や汽車電車自動車馬車等による陸上輸送と、船舶による海上輸送と、飛行機飛行船による空中輸送とが、それ／＼盛に行はれて大いに便利になつた。

(1) 鐵道業

驛長、助役、車掌、雇員（出札係、貨物係、小荷物係、操車係）驛夫、踏切番、隧道番、轉轍手、信號手、保線路工夫、汽車機關手、火夫、運轉士、検査手、列車ボーイ等。

- (2) 軌道業
電車々掌、同運轉手、同信號手、同掃除夫、電鐵會社重役、事務員等
- (3) 人力車業
宿車業、人力車夫、人力車挽子
- (4) 乗用の自動車、馬車業
乗合自動車々掌、同運轉手、自動車々掌、同運轉手、同助手、乗用馬車馭者、馬車馬丁等、
其他の車馬運輸業
- (5) 貨物自動車業、荷馬車挽、牛車挽、荷車挽等
船舶運輸業
- (6) 船長、汽船事務長、同運轉士、同機關士、火夫、賄夫、司厨夫、タリーマン(荷物方)ボーイ、
舩船業、船頭、舟乘、筏乘、渡守、船舶會社重役、事務員等
- (7) 運輸取扱業
これは船舶又は鐵道車馬等による荷物の運搬取扱を專業とするものである。運送會社重役事務員、仲仕業、荷造業等がこれに屬する。
- (8) 其他の運輸に關する業
飛行操縦子、飛行機關士、飛行助手等

(七) 公務、自由業

公務とは國家並に公共團體に屬する事務のことである。自由業とは一定の使用關係などなしに或る勤勞を爲して、その結果の報酬を受ける職業である。
國勢調査の職業分類では、公務、自由業として左の諸業を擧げてあるが、何れもその勤勞に對する報酬が生産業者とは異なるものであつて、即ち勞銀若しくは利潤を目的とせず、専ら國家社會に奉仕の誠を盡すべきものである。随つて之に従事する者は特に廉直、公正、親愛の徳操をそなへてゐなければならない。

一、陸海軍人

- (1) 陸軍現役軍人
兵卒は職業人といふことは出来ないから、こゝでは下士官以上の人を指すのであつて、即ち左の人々がこれに屬する。

將官 大將中將少將、主計總監主計監、軍醫總監軍醫監、藥劑監、獸醫總監獸醫監

佐官 大佐中佐少佐、一、二、三等主計正、一、二、三等軍醫正、一、二、三等藥劑正、

一、二、三等獸醫正

尉官 大尉中尉少尉、一、二、三等主計、一、二、三等軍醫、一、二、三等藥劑官、一、

二、三等看護官、一、二、三等獸醫、一、二、三等樂長

准士官 特務曹長、上等工長、上等計手、上等縫工長、上等靴工長、上等看護長、上等磨工

長、上等蹄鐵工長、樂長補

下士官 曹長軍曹伍長、一、二、三等工長、一、二、三等計手、一、二、三等縫工長、一、

二、三等靴工長、一、二、三等看護長、一、二、三等磨工長、一、二、三等蹄鐵工

長、一、二、三等樂手

陸軍には憲兵、歩兵、騎兵、砲兵、工兵、航空兵、輜重兵の七つの兵科と、經理部、衛生部、

獸醫部、軍樂部の四部がある。

憲兵は主として軍事警察をつかさどる。

歩兵は戦闘の主兵として戦場で小銃機關銃等の射撃を以て敵にのぞみ常に主要の任務を負ふも

のである。

騎兵は軍の耳目といはれるものであつて偵察連絡戦闘等を行ふ。

砲兵は戦闘の骨幹といはれるものであつてその本領は大砲を使用して遠距離から射撃をなし全

軍の爲に戦捷の途を開くにある。

工兵は主に土木的技術を以て戦闘に必要な工事を施すのである。

航空兵は偵察連絡空中戦闘等に任ずるものである。

輜重兵は彈藥糧食被服等の軍需品の輸送をなすものである。

經理部は會計經理給與等の事をつかさどり、衛生部は兵員の衛生を、獸醫部は軍馬の衛生をつ

かさどり、軍樂部は儀式の場合等に軍樂を奏するものである。

下士官になるには現役志願（満十七歳）以上若しくは徴兵として入營後志願するのであるが成績によつて歩兵學校戸山學校工科學校等に官費で入學が出来て次第に昇進し尙少尉以上になる途も開けてゐる。

一年志願で少尉になる途があるがこれは職業として在官する譯にはいかない。將校になる爲には中學卒業後士官學校に入學せねばならぬ。將官になるには更に陸軍大學を卒業する必要がある

る。

(2) 海軍現役軍人

海軍は兵科、機關、軍醫、藥劑、主計、造船、造機、造兵、水路等の科に分れてゐて、海軍少尉より大將まで、機關少尉より大佐まで、軍醫少尉より中將まで、藥劑少尉より大佐まで、主計少尉より中將まで、造船少尉より中將まで、造機少尉より中將まで、造兵少尉より中將まで、水路少尉より大佐まで、特務士官（兵科、機關、軍樂、船匠、看護、主計の各大、中、少尉）兵曹長、一、二、三等兵曹等の階級がある。

下士官になるには志願をすることになつてゐるが、其の兵種及び職務は左の通りである。

水兵 戦闘の主兵であつて陸軍の歩兵の如く直接戦闘の勝敗を決する主要任務に就くものである。掌電信兵になる水兵は無線電信や無線電話を取扱ふ。

航空兵 飛行機、飛行船、繫留氣球、の取扱に従事し、之が塔乗員として活動するものである。

機關兵 罐で石炭や重油を焚いたりいろ／＼の機械を動かしたり電氣を取扱つたり鍛冶工業の仕事をする。

軍樂兵 儀式等の場合に軍樂を奏する。

船匠兵 主に木工業の仕事に従事し破損の個所を修理したり「ポンプ」や潜水要具等を取扱ふ。

看護兵 負傷者や病人の治療看護をしたり其他衛生一般に關することを掌る。

主計兵 帳簿をついたり公文書を書いたり食事を調理する。

志願者の年齢

掌電信兵を志願する水兵 滿十五歳以上滿十九歳未滿

航空兵 滿十五歳以上滿十七歳未滿

軍樂兵 滿十六歳以上滿二十歳未滿

其他の志願兵 滿十七歳以上滿二十一歳未滿

(右は何れも採用の年の十二月一日を以て算す)

進級の順序

志願兵の服役は五箇年で、その間に下士になつたら又更めてその日から六ヶ年服役することになる。海軍兵には四等兵から一等兵まであつて新兵は皆四等兵となり約五ヶ月間海兵團で教育を受けて三等兵となつて軍艦に乗組むのである。それから忠實に軍務に精勵すれば大体左の順序に進むことになつてゐる。

- 二、三等兵より各上級へ……………八ヶ月
 - 一等兵より二等兵曹へ……………一年四ヶ月
 - 二等兵曹より二等兵曹へ……………同
 - 二等兵曹より一等兵曹へ……………同
 - 一等兵曹より兵曹長へ……………二年四ヶ月
 - 准士官より特務少尉へ……………五年
- 又下士になつてから正式に海軍士官になりたいといふ者は特に二十三歳まで兵學校機關學校又は經理學校へ入學を志願することが出来る。是等の學校へ中學校などを経て志願する者は二十歳までといふ制限になつてゐるのである。
- さて、世界の平和をはかり、我が帝國の威信を保つためには決して武備を怠つてはならない。されば適任者は進んで陸軍又は海軍に勤務して護國の奉公を爲すべきである。

二、官吏、公吏、雇傭

公務に従事するものを官吏又は公吏と稱する。

官吏とは任官手續に依り官職に任せられて國務にたづさはるものをいふのである。日本國民は憲

法の規定によつて官吏たることを得るが、これには任用法があつてそれ／＼定規の試験に合格したものが、或は特別任用法によらなければならないのである。

官吏は文官と武官とに分れるが、武官は前に擧げてある陸海軍人のことであるから、こゝにいふのは専ら文官のことであつて、これをその職務の性質によつて行政官、司法官、外交官、官内官等といひ、又その待遇によつて親任、勅任、奏任、判任の區別を立て、奏任以上を高等官といひ判任官を普通文官といふ。

公吏とは選舉又は任用せられて自治團體の事務にたづさはる者をいふのである。市役所、町村役場の吏員の如きは即ち是れである。

國勢調査の職業分類ではこの項を左の如く分けてある。

- 1、神官、神職、雇傭
- 2、官内官吏、雇傭
- 3、官吏、雇傭
- 4、公職、雇傭

三、宗教に關する業

神佛に奉仕し、その教へを傳へて、各人に信仰と安心とを與へるのが、宗教家の使命である。さればこの業に従事する者は自ら深き信仰を有する人格者でなければならぬ。

1、神道に關する業

神道には神道、黒住教、修成教、大社教、扶桑教、實行教、大成教、御嶽教、神理教、禊教、金光教、天理教等の派がある。之に従事する者を教導職といふのであるがそれにはそれぞれ多くの階級が設けられてある。

2、佛教に關する業

佛教にも天台、眞言、淨土、臨濟、曹洞、黃蘗、眞宗、日蓮、時宗等の宗派がある。一寺を預る僧侶を住職といひ、その下に役僧、小僧などが居る。僧侶にもいろいろの階級がある。

3、基督教に關する業

これにも種々の教派があるが通じて教會にあつてキリストの教へを説く者を牧師といひ、派遣されて傳導に従事する者を宣教師といふ。主に街頭に立つて神を説き教化保護につとめてゐるのに救世軍士官といふのがある。

4、其他の宗教に關する業

四、教育に關する業

人の身體の發達を助け、知識技能を授け、品性を陶冶するのが教育家の主なる使命である故に教育家として最も重んずべきはその人格である。高潔なる品性である。子弟を愛する純情をもつことである。

教育に關する業を左の通り分類してある。

1、學校に勤務する者

學校には官立公立私立の別がある。これに勤務する者に總長、校長、教授、助教授、助手、教諭、助教諭、訓導等の職名が附せられてゐる。何れも定規の資格をそなへてゐなければならぬ。

2、圖書館、博物館、動植物園等に勤務する者

之は直接教へるといふのではないが、その従事する仕事の目的から明かに社會教育家といふべきである。館長、園長、主事、書記、技手、事務員、監守、園丁等がこれに屬する。

3、其他の教育に關する業

五、醫務に關する業

これは保健、衛生、治療等に従事する職業である。

醫は仁術なりといはれてゐるほどであるから、之に従事する者は特に同情深く親切であつて責任感の強い品性の高いものでなければいけない。之に屬する業種は左の通りである。

1. 醫業

醫業はその専門によつて全科醫、内科醫、外科醫、眼科醫、耳鼻咽喉科醫、精神科醫、皮膚科醫、小兒科醫、産科婦人科醫、泌尿生殖器科醫等に分れてゐる。又その勤務先によつて病院長、副院長、醫員、自宅開業醫、軍醫、船醫、鐵道醫、警察醫、學校醫などいふのがあつたが、何れも三年以上の醫學専門學校又は大學を卒業しなければ、之に従事することが出来ない規定になつてゐる。

2. 齒科醫業

これも以前は齒科醫の書生又は技工師となつて獨學で免狀をとることが出来たが、今では中等教育を受けてから更に三年以上の齒科醫學校を卒業しなければ受験資格が得られないことになつてゐる。

3. 調劑業

調劑とは醫師の處方により藥劑を調合することであつて、之に従事する者を藥劑師といふ。藥劑師には病院等に勤務する以外に藥店を開いて調劑賣藥業を営んでゐる者が多い。又化粧品製造製藥等に従事してゐるものもある。藥劑師になるにも亦専門學校の卒業者でなければいけないことになつてゐる。

4. 産婆業

これは女子の專業であつて高等小學校卒業以上の學力を有する者は大抵養成所に入學することが出来る。さうして府縣の免許試験に合格すれば開業資格が得られるのである。

5. 看護業

これに従事するものも亦多く女子である。病院に勤務するもの、派出看護婦となるもの、工場や學校等に勤務するものなどがある。正式の看護婦となるには産婆と同じく府縣で試験を受けて免狀をとらねばならない。

6. 按摩、鍼灸業

按摩、鍼灸、電氣、蛭等によつて肩の凝り、疾病、骨折、齒痛等を治療する職業である。これも府縣の試験に合格して免許を受けねば開業が出来ない。鍼術は今では盲人に許されないこと

になつてゐる。

7、其他の醫療に關する業

8、獸醫業

牛馬其他の家畜の負傷や病氣を手當し治療する職業である。獸醫學校を卒業すれば開業が出来ることになつてゐる。

9、蹄鐵業

馬の蹄に合せて蹄鐵を作りそれを適當に履かせる仕事をなすのである。これも免許を受けなければ開業ができない。

六、法務に關する業

法律によつて善惡正邪をさばき國家社會の安寧秩序を保全するのが法律家の使命である。されば如何なる情實にもとらはれざる清廉剛直の人でよく事理に通じてゐる者が之に従事せらるゝやうに望ましいのである。之に關する業種は次の通りである。

1、裁判所に勤務する者

検事、判事、大審院長、控訴院長、地方裁判所長、區裁判所長、裁判所書記等である。判事、

事には高等試験の司法科に合格しなければならない。裁判所書記には裁判所書記の試験に合格した者が採用されるのである。

2、辯護士、辨理士業

高等試験の司法科に合格しなければ辯護士を開業することは出来ない。辨理士は特許、實用新案、意匠登録、商標登録等の出願其他の手續を代辨するものであつて、辯護士でこれを兼ねるものが多い。

3、執達吏業

執達吏は區裁判所に屬し法律に従つて訴訟に關する書類を送達し、且つ裁判を執行するのが本務で、この外當事者の委任を受けて債務履行に關する告知及び催告、動産不動産の任意競賣などを爲すものである。執達吏になるには六ヶ月以上裁判所で主に執達吏の事務を實地に修得した上で執達吏試験に合格することを要する。

4、公證人業

これは司法大臣に隸屬し控訴院長及び地方裁判所長の監督の下に一般人の囑託に應じ民事に關する公正証書（之は完全な證據となるものである）を作るのがその職務である。これにも相當

の資格をもつてゐなければならぬ。

七、記者、著述者

1、新聞、雑誌、通信記者

新聞は事件の報道と文化の啓蒙とをその使命とするものである。随つてその編輯せらるゝ事柄は中外に亘る社會各般の事象を網羅する譯である。それ故に相當の新聞の編輯は大抵左の如き部を設けてそれ／＼適當な記者をして分擔せしめてゐる。

論說部 社説、論說

政治部 財政、政治、交通、教育、宗教、陸海軍、議會、官廳、政黨等の記事

經濟部 銀行、會社、商業會議所、取引所等民間の經濟商業等の記事

社會部 所謂三面記事で社會の出來事、警察事故等の記事

通信部 内地滿鮮等に派遣してある通信員からの通信記事

外報部 外國電報其他の翻譯記事

調査部 寫眞、新聞、雜誌、書畫其他の參考品を分類保存し必要に應じて引用し得るやうにする係

文藝部 文學、藝術方面の記事

學藝部 科學、法律其他特殊問題に對する専門大家或は名士の論議、小説、講談、新刊紹介等

家庭部 婦人欄又は家庭欄の擔當、育兒、衣食住等の記事

それで記者はその何れかの方面を擔當し得る優れたる知識技能を有してゐなければならぬことは勿論であるが、特に行動機敏、達筆、志操堅固にして責任を重んずるものであることが望ましい譯である。

雜誌は定期に刊行する書籍のことで、その編輯に従事する者を雜誌記者といふのである。雜誌には種類が甚だ多いからいろいろの人が之に従事してゐる。

2、著述者

著述とは書籍を書き著すことである。それを專業としてゐる者が即ちこゝにいふ著述者である。

八、藝術家

藝術家は人生を美しく明るくし、人々の生活に慰安と憧憬とを與へるのをその使命とするものである。

藝術は特に創造を尙ぶ。故に之に従事するものは特にそれらの道に豊かな天分(天才的素質)をそなへてゐなければ成功が覺束ないわけである。

- 1、文 藝 家
- 2、畫家、彫刻家
- 3、音 樂 家
- 4、蒔 繪 業
- 5、寫 真 業
- 6、其他の藝術に關する業

九、其他の自由業

- 1、技藝、娛樂に關する業
速記者、活動寫真技師辯士、落語講談師、浪花節語、奇術輕業師、角力、圍碁將棋茶道生花其他の遊藝師匠等。
- 2、學術、慈善、政治、社交、其他の團體の事務に従事する者
これは文書、記帳、計算、作表、監理、金錢出納等を取扱ふ職業である。

- 3、代 書 業
- 4、其他の自由業

(八) 家事使用人

これは他人の家に雇はれてその家庭の雜用に従事する、家扶、家令、書生、番頭、下男、家政婦、女中、子守等のことである。

是等の人々が從順に忠實に主家の爲に盡すことはやがて世の中のためになり、又自分の生活の安定を得る所以である。

殊に若き女子などは獨立していかゞはしい職業に就くよりも、行儀作法や家政などの見習の爲に相當の家の女中として眞面目に奉公する方が安全であり幸福であると思はれる。

職業別人口の概數

本邦第一回國勢調査の統計に據つて、以上各種の職業に従事せる者の概數を左に掲ぐ。

農 業	二千六百九十四萬三千人(全從業者の)五〇パーセント
水 産 業	百四十九萬二千人 〃 三パーセント

鑛業	百〇二萬一千人	二パーセント
工業	一千〇八十六萬五千人	二〇パーセント
商業	七百六十四萬六千人	一四パーセント
交通業	二百五十一萬六千人	四、六パーセント
公務、自由業	二百九十九萬二千人	四、八パーセント
家事、使用人	六萬八千人	〇、二二パーセント
次に女子の主なる職業とその従業者の概数を掲ぐ。		
農業	百三十一萬五千人	
女工	九十三萬人	
坑婦	七萬五千人	
海女	三十二萬四千人	
土木建築の女人	一萬人	
醫務	九萬八千人	
教育	七萬八千人	

官廳	四萬五千人
商業	六十萬七千人
店員、タイピスト	九萬三千人
女優、音楽家	六百人
工場、鑛山職員	一萬二千人
女給、派出婦	五萬四千人
女中	九萬六千人

求人状況

これで職業の種類に關する概略の説明を終つたが、小學校を卒業して直ちに就職して、職業戦線に就かうとする人達の参考のために、左に昭和四年三月大阪市立中央職業紹介所に直接申込まれた青少年採用希望先を掲げて、茲に筆を擱き、職業の選び方及び就職方等の實際問題に就いての詳細は又稿を更めて書くことにしよう。(完)

○備考||求人一覽表は本書の卷末に附録することにした。

第三節 職業講話

前記の如く各科教授の際に勉めて職業に關する實際的知識の涵養に意を用ふると共に尋常第五學年以上に於ては之を補足統整すべく系統立てられたる職業講話を爲すの必要を認める。

私は難波高等小學校に於て各學年に毎月二回宛修身科の時間に於て左の案によつて自ら之が講話を續けたのである。

高等第一學年

一、人は孤立して生活することは出来ぬ。(一時間)

要旨||共同聯帶生活の實相に對する注意を喚起す。

設問||一 孤立と獨立との區別如何

(二) 自分は未だ曾て人の厄介になつたことがないといふ人あり。果して然るか

連絡||助力(尋讀卷七) 心と心(同卷八) 胃とからだ(同上)

二、人は必ず職業に従事しなければならぬ。(一時間)

要旨||あらゆる職業のそれ〴〵重んぜらるべき所以を概説す

設問||一 世の中は相持といへる言葉の眞意を解し得たりや

(二) 諸子は將來どんなにして身を立てようと思へるか

連絡||志を立てよ(尋常卷四) 木下藤吉郎(尋常卷七)

三、職業とは何ぞや (三時間)

要旨||職業の意義精神を説き職業意識を正す

設問||一 職業は如何に定義すべきか

(二) 各人の生活安定を求むるの道は如何

(三) 國家社會の繁榮を求むるの道は如何

(四) 勤勞の價値如何

連絡||自立自營(尋修卷四) 開墾(尋讀卷一〇) 勤勞(尋修卷五)

四、職業の種類 (十二時間)

要旨||職業の種類について一通りの理解を與へ家族の従事せる職業及び日常目撃する各種職業の實際につきての注意を促す

設問||一 試みに諸子の知れる職業の種類を列舉せよ

- (二) 諸子の家族の従事せる職業は如何
- (三) 主なる職業についてその業態を説明せよ

連絡||日本(尋地巻一) 日本の總説(同巻二) 養鶏(尋讀巻九) 傳書鳩(同巻一〇) 馬市見物(同上) 温室の中(同上) 炭(同巻八) 植林(同巻一一) ゴム(同上) 十勝の平原(同上) なぎ(同巻六) 捕鯨船(同巻一〇) まぐろ網(同巻一二) 炭坑(同巻一一) 石安工場(同巻九) ガラス工場(巻一一) ゴム(同上) 銀行(同巻一〇) 看板(同巻八) 軍艦生(活の朝(同巻九) 農業(高讀巻二) 機(同上) 海苔(同上) 罐詰(同巻三) 乾物屋(同巻四) 園藝(同上)

五、職業及び學校の選擇 (三時間)

要旨||職業及び學校選擇上の一般的注意を説く

- 設問||一) 諸子が將來従事する職業を決定するには如何にすれば可ならんか
 - (二) 諸子が更に入學する上級學校を決定するには如何にすれば可ならんか
- 連絡||たしかな保証(尋讀巻一〇)

高等第二學年

一、本校卒業生の進路 (一時間)

要旨||前年度の卒業生の進路の實際を示説して各自の参考に資す (下記「少年就職の栞」配與)

二、人生 (一時間)

要旨||人生に對する正觀を説く

- 設問||一) 人生を悲觀するものあり。果して然るか
- (二) 人生を樂觀するものあり。果して然るか
- (三) 我等は如何なる態度にて世に處すべきか

連絡||柿(尋讀巻四) 仕事にはげめ(尋修巻四) 畫帥の苦心(尋讀巻一一) 志を堅くせよ(尋修巻四) 五代の苦心(尋讀巻九) 貨幣(同一一) 松阪の一夜(同上) 孔子(同上) 鐵眼の一切經(同上)

三、職業の分化 (一時間)

要旨||職業の分化の情勢を説き、既授「職業の種類」についての理解を補ふ

- 設問||一) 國勢調査の職業分類の大略を説明せよ
- (二) 職業が漸次分化せる理由如何

(三) 諸子が實際に知れる職業の變化消長の事實如何

連絡||手の働(尋讀卷八) 人と火(同卷一一) 分業(同卷八) 祖母の物語(高讀卷一)

四、産業の發達 (一時間)

要旨||産業振興の必要を説く

設問||一 國民の多數が従事せる職業は何か

(二) 我が國に於ける産業の發達は如何

(三) 國家富強の基を安泰ならしむる爲に國民の特に覺悟すべき事項如何

連絡||兄弟(尋修卷五) 進取の氣象(同上) 陶工柿右衛門(尋讀卷一〇) 工夫(尋讀卷六) 輪

出入(尋讀卷一〇)

五、職業精神 (二時間)

要旨||既授「職業精神」の項を復説し勤勞奉仕の精神の鼓吹に努む

設問||一 職業の定義如何

(二) 諸子は將來如何にして自己の生活安定を求むる考なるか

連絡||自立自營(尋修卷六) 公益(同上) 勤勉(同上) 勤勉(高修卷一) 自立自營(同上) 公

益世務(同卷二)

六、少年少女の職業 (十時間)

要旨||少年(少女)の従事する職業一斑を示説しその業態、適性、雇傭條件及び就業上の心得等を明かにし志望決定并に求職上の參考に資す

設問||一 各自の個性境遇につきて正しき自覺を得たりや

(二) 尙實際の職業について一通りの研究を加ふる必要如何

(三) 各自が既に就職を希望せる職業についての理解程度如何

連絡||會社(高讀卷二)

七、求 職 (二時間)

要旨||求職に關する考慮及び手續を示説す

設問||一 就職の當否が諸子の將來に如何に重大なる關係を有するかを解せりや

(二) 就職難、失業者増加の事情如何

八、就職後の心得

要旨||就職後の一般心得を示説し職業講話の總括を爲す

設問Ⅱ(一) 諸子の卒業後の方針は愈々確實に決定せるか

(二) 眞の幸福成功を得んが爲に諸子の覺悟は果して徹底せるか

連絡Ⅱ仕事にはげめ(尋修卷三) 五一ちいさん(尋讀卷三) せいとん(尋修卷三) のぶ子さん

の(家尋讀卷一一) 老社長(同卷九) リンカーンの苦學(同卷一一) 規律(高修卷一)

習業(同卷二) 智能啓發(同上) 感情(高讀卷三) 中吉の誠實(同上)

(以上)

○少年就職の葉

少年

彌生とはいへまだ梅の花もほころび果てず雪さへちらつく餘寒身にしむ昨今、本校の卒業を前にひかへて三百の少年少女達は、實社會への門出の準備に餘念がない。

茲にこの一篇を録して、卒業生を送るはなむけとし、兼ねて後進を導く葉ともなしたのである。

(一) 男子中五十餘名の諸君は、卒業後直ちに自家營業に従事することに決心をされてゐる。

その従事される職業の種類は左の通りいろ／＼に分れる。

鐵工職、靴製造業、古物商、大工、佛壇彫刻、鍛冶職、疊職、指物業、地銅商、飲食店、米穀

商、鐵力職、豆腐屋、土砂商、壽司商、薪炭商、酒類商、洗張業、運送業、紙箱製造業、古鐵
商、金物商、洋服商、自轉車屋、花緒製造業、サドル金物製造業、鑄物業、製材業、かき餅
商、皮革商、魚商、菓子製造業、炭團製造業、材木商、川魚商、リンフ業、洋傘木柄製造業、
理髮業等

さうして其の中には開業後既に長い歳月を経てよい「しにせ」をもつてゐる家もある。適當の地の利を得てゐる家もある。よい得意先をもつてゐる家もある。設備に相當金をかけてゐる家もある。また職見習をするのに師匠と仰ぐに申分のない父、兄のある家もある。さうした自分の家でその業務をうけついでやつて行くといふことはまことに結構な事である。日々親の膝下で孝行が出来る。その努力は直接に親の手助けとなり、家の繁昌をもたらす基となる。ありがたいことではないか。ところが世間にはそのありがたさを辨へず他家勤務の苦勞を知らぬために、むやみに不平不足を唱へたり、我儘をつのらせたりして脱線するものが少くない。されば

自家營業に従事する諸君よ

諸君は、どうか前車の覆轍をふまぬやうに、家運盛な家ならばその繁昌を衰へさせぬやうに、又不景氣の爲にあまり思はしく行つてゐない家ならばその家運を榮えさせるやうに、境遇に應じ

て全方を盡さうといふ決心で、よく生活規律を立て、どこまでも親兄弟達に素直に仕へて一心不亂に仕事を勵みたまへ。さうして晝間の仕事を仕越すやうにして、夜間は補習學校又は青年訓練所へ通ふて自己の修養向上に力めるやうに心掛けられたい。誘惑は自分の心の隙に乗せられるのである。油断して將來をあやまるが如き事のないやうに切に祈る。

(二) 其他の多數の諸君は、他家に或は住込み、或は通ひで左の通りいろ／＼の職業に従事される事になつてゐる。

印刷業、鐵工職、大工、唐木細工、旋盤工、ペンキ工、捻染職工、鑄物業、ミシン職、洋家具製造、ラヂオセント製造、時計修繕業、製圖工、木材商、アルミ器具製造、石工、米穀商、針金商、靴製造、紙商、乾物商、菓子製造、蒲團商、醬油商、鐵商、表具師、雜貨商、自轉車屋、シャツ製造、名刺卸商、花緒製造、魚問屋、古物商、船員、メリヤス商、洋服商、パン製造、硝子商、壽司商、羅紗商、菜種商、洗張業、帶革製造、金網製造、染物業、木綿卸商、給仕、百貨店員、貿易商、鐵道員、郵便局員、電話局事務員、銀行事務員、仕立屋、等

昔から「可愛い子には旅をさせよ」「人は人中、地は地中」といはれてゐる通り一度は他人の飯を食つてみないと十分の試鍊は積まれにくいものである。諸君は今やその試鍊を積まんが爲に門

出るのである。されば

他家勤務を志す諸君は

まづ苦勞を覺悟してゐなければならぬ。「若い中にはつらい辛抱を買つてもせよ」といはれてゐるではないか。何處の主人も皆やさしい同情のある親切な人であるといふわけにはいかない。朋輩も又善い人ばかりであるとは限られない。好きな仕事ばかりを當てがはれるわけでもない。寒い冬の日朝夕の拭掃除、暑い夏の日方に餘る荷物を持つての用途など、思へばつらい事の數々もその身を玉と磨く試鍊である。

都會育ちの者は辛抱が弱いといはれてゐるが、諸君はどうか目前の小利に惑はず小成に安んぜず、修業の爲の忍耐を石にかちりついてもやつてくれたまへ。晝間の仕事の能率を擧げて置けばその誠意に免じて夜間の勉學はきつと許されよう。さうして仕事の上に學問の光をもそへるやうに側目をふらずに正しく強く勤勉力行をつゞけられよ。そこに諸君の眞の成功と幸福とは求められるのである。眞の成功と幸福とは、勤苦と奉仕とを兩輪とする車の上のみに積まれるものである。

もしもどうしても辛抱が出来ぬといふ事情があれば親や舊師に事情をうちあけて篤と相談をし

たまへ。自分だけの判断で轉職するやうなことはよろしくない。

(三) 某々女子達はタイピストたらんことを志望してゐる

左にタイピスト學校の一斑を記して置く

大阪泰西學館タイプライター科

位置、大阪市西區靱上通二丁目（電話西八三五）

入學資格、英文、中學校又は高等女學校二年修了程度
邦文、高等小學校卒業程度

修業期間、四ヶ月

學費、入學金 三圓
授業料 月額四圓

入學期、隨時

古屋女子英學塾タイプライター科

位置、大阪市住吉區天王寺町東中道（電話天一三二）

入學資格、本科、高等女學校卒業程度以上
豫科、高等小學校卒業程度以上

修業期間、約二百日

學費、入學金 一圓
毎日一時間練習者月額四圓五十錢

入學期、隨時

梅田英語學校タイプライター科

位置、大阪市北區東梅田町

入學資格、英文、高等女學校卒業程度以上
邦文、高等小學校卒業程度以上

修業期間、毎日二時間、練習者 六ヶ月
毎日三時間、練習者 四ヶ月

學費、入學金 一圓
授業料 月額四圓五十錢

入學期、隨時

大阪タイピスト女學校

位置、大阪市西區江戶堀南通一丁目（電話土四九四七）

入學資格、英、邦タイピスト高等科、高等女學校卒業程度
英文タイピスト科

高等小學校卒業者は本校英語女學部と兼修すれば入學することを得

修業期間

英邦タイピスト高等科 一ケ年
英文タイピスト科 八ケ月
邦文タイピスト科 五ケ月

學費

入學金 二圓
授業料 月額四圓 校友會費一圓

入學期

四月一日、但し欠員あるときは隨時入學を許す

(四) 某々子達は産婆看護婦たらんことを志望してゐる。

左に産婆看護婦養成所の一班を記して置く。

日本赤十字社救護看護婦養成

位置、大阪赤十字社病院内

志願資格

年齢十六年以上二十五年未満、身長四尺七寸以上、
保證人要、左の一に該当する者は採用せず。

- 一、身体强健ならざるもの
- 一、素行修まらざるもの
- 一、家資分散又は破産の宣告を受け未だ複権を得ざる者及従前身代限りの處分を受け辨償の義務を終へざるもの。

養成期間

三ケ年

學費

手當(月額六圓四十七錢)宿舍及現食を給す。

入學試験

讀書、作文、算術、書取

入學期

四月一日

大阪市電氣局病院看護婦見習

位置

大阪市北區扇町

志願資格

年齢十五年以上二十二年以下の獨身者にて家事の係累なき者、體格強壯性質従順、品行方正なる者、高等小學校卒業以上の學力を有する者、大阪市内に於て一家計を立て身元確實なる證人二名を有する者

見習期間

二ケ年

學費

手當月額二十五圓以内支給、寄宿せしむ

入學試驗 國語、作文、算術、習字
入學期 四月一日

大阪市立市民病院看護婦見習

規程略々前に同じ

大阪回生病院産婆養成所

位 置 大阪市北區絹笠町

志願資格 年齢十六年以上、尋常小學校卒業以上の學力を有する者、保證人要

修業期間 一ヶ年

學費 入學金 一圓
授業料 月額二圓

入學期 二月及び八月上旬

緒方助産婦教育部

位 置 大阪市東區今橋三丁目

志願資格 年齢十五年以上、高等小學校卒業程度、保證人要

修業期間 本科二年
別科一年

學費 本科 授業料 年額三十圓
別科 同 二十四圓

入學期 本科 五月一日
別科 七月一日

(五) 某々々子達は電話事務員たらんことを志望してゐる。

電話の事務員になるには採用試験を受けねばならぬ。その志願者の資格は年齢十二歳以上二十歳未満の女子で身長四尺三寸以上、視力聴力及び音聲が完全で身体強壯なるもの。學歷は尋常卒業以上の者といふことになつてゐる。口頭試問、學科試験(算術國語)及び體格検査の三つに合格したら電話事務員見習として採用される。見習期間は三ヶ月で始めの二ヶ月は養成課(南區日本橋五丁目)で稽古をして後の一ヶ月は各所屬の局で實地に電話取扱の練習をして、それから事務員となるのである。

見習中の手當高等小學校卒業月額十九圓二十錢

事務員となつてからの月收最初は二十八圓内外

募集期 隨時

(六) 某君は師範學校の入學試験に合格した。螢雪の功を積んでやがて教育者として世に立た

といふのである。

今年は師範への入學志願者が多かつたので選抜試験がかなりむづかしかつた。殊に身體検査に重きを置かれたやうである。これから師範學校へ入學を志すものは男女共に學課の方をしつかり勉強して置かねばならないことは勿論、常に健康に注意して十分に體力を養つて置くことが大切である。「體が弱いから教員にでもならう」といふやうな者へはもはや通用しない。トラホームや色盲患者なども入學を許可されないことになつてゐるのである。さて、

教育者たらんとする某君よ

教育者として最も重んずべきはその人格である。高潔なる品性である。子弟を眞に愛する純情を有つことである。といふことを忘れずにその體力と智能の練磨に力むると共に、其の人格の向上を圖られて、どうか立派な教育者になつてくれたまへ。

(七) 某々君及び某子は通信講習所へ志願してゐる

採否は未だ決定してゐないが、將來通信事務員として立身しようとの志を立て、ゐられる譯である。此所へも近來志願するものが激増してゐる。毎募集期に採用人員の六倍乃至十倍に達するといふことであるからなか／＼容易な事ではない。

左に規定の概要を記して置く

一、本講習所は遞信部内に奉職せんとするものを養成する教育機關で主として電信技術と普通學を教授し、修業年限は一ケ年である。

一、學歷高等小學校卒業程度以上、男子は年齢滿十四歲以上滿二十歲以下、女子は滿十四歲以上にして家事に係累なきもの但し神戸大阪(第二回の)志願者に限る。

一、出願期日、第一回、自一月二十五日 第二回、自三月一日
至二月十五日 至三月末日

一、入學試験、讀書、作文、(往復文) 算術(四則)、分數、比例、身體検査(發育概評内、

營養丙の者は採用せず)

一、入學期日、第一回四月一日 第二回六月一日

一、學費、一ヶ月約二十圓給與、教科書及制服自辨、寄宿費一ヶ月十五圓

一、卒業後の進路、卒業者は直ちに局區内の郵便局電信局に通信事務員として採用せられる。うして漸次判任官に採用せられ、又高等官に昇進する途も拓けて居る。

(八) 某君、某々は山口銀行へ、採用されることになつた

山口銀行より學校への照會状の一節

一、高等科を卒業すべき男女生の内淳朴なる家庭に育ち學術優秀資性温良なる方之有候はゞ市立中央職業紹介所と可然御照合の上御推舉被下度

一、初任給は月手當精勤手當を各し月額男子は金貳拾貳圓女子は金貳拾圓にして定時昇給せしめ別に毎半期末賞與金を給す。

一、男子に限り入行後一ケ年は當行教育部學校にて、其後一ケ年半は大阪實踐商業學校に託して教育を施し以て乙種商業學校卒業の資格を得しむ。而して是等に要する費用は全部當行の負擔とす。云々

他の銀行の採用條件も略々これに似寄つてゐるが、銀行方面へ志す者が亦非常に多い。本年も何百人といふ多勢が紹介所へ押かけて行つたのである。その中から選抜されるのであるから人物者査なり身體検査なり家庭検査なりに随分手数を重ねられる。その上保證人の選定方も相當に嚴重である。家庭は必ずしも資産がある家でなければならぬといふのではない貧しくても親達の心掛がよくてよく治つてゐる家ならばよいとのことである。

如何にも日々澤山の金を扱ふところであるから特に「眞面目でしかも頭と手のよく働く人」を

望まれるのは當然の事である。そこで選ばれて採用されることになつて

銀行員たらしめる諸君よ

諸君の第一に守るべきは正直の徳であらう。些事をごまかしてはいけない。あくまで公正に忠實に事を處理して行くやうに細心なる注意と不撓の努力を拂はれよ、さうしてどうか餘暇に勉學をつとけて「なくてはならぬ立派な行員」になつてくれたまへ。

(九) 某君は大阪商科大学へ 某君は大阪市民病院へ 給仕に採用されることになつた

兩君共甲種程度の商業學校の夜學部に入學して勉強をつづけられようといふのである。給仕はかねて話した通り十七八歳までの中間職業であるから先きで行詰まらぬやうに給仕の職務を眞面目に努めながら、餘暇を利用してしつかり研究をつんで、將來自己の運命を立派に開拓するやうに精進して行かなければならない。

給仕たらしめる某々君よ

前途有望なる君等である。あくまで自重してしかも生意氣な考へを起さぬやうに戒心しつ、誠實に奮闘努力をつとけたまへ。

(一〇) 某々々子は太丸へ採用されることになつた

大丸より學校への照會狀

來る三月女子店員採用致度候に付本年度高等小學校卒業生中適當なる方有之候は、御推薦相願度……追て御推薦の節は書類「大丸希望者」と特に明記し一件書類は大阪市立中央職業紹介所少年部宛御郵送被下度候

記

一、採用人員 七十名

一、勤務 顧客部・食堂部・仕入部

一、初任給 日給八十錢

一、申込期日 二月十五日

百貨店方面の採用條件は大抵こんなものであるが、こゝでも矢張り希望者が殺到するからなかなか採用されにくいのである。特に百貨店側では容貌才幹に重きを置かれるやうである。さて

百貨店の小売員として人生へのスタートを切られようとする某女子達に

はなむけとして一言したき事は虚榮心を制せよといふことである。身邊に見るもの悉くが若き慾望をそゝり立てるものばかりである。

「あの髪かざりを……あの着物を……あの指輪を……わが身に着けて見まほしく思はるゝ折節、虚榮へのあこがれの心の萌せるその時々」に自制の力を失はぬやうに、あくまでも質素を旨として、あらゆる誘惑にうちかち、ひたすら店務に精を出されよ。その辛抱がやがてその身に本當の光をそへ、本當の幸福をもたらすものである。

×

×

×

×

×

本書と、職業指導讀本と、教の礎と、日々實踐十訓とは、常に座右に置いて、折々、ひもとかれよ。(完)

第四節 職業研究の指導

一、課題

兒童に研究課題を與へて職業に關する實地の研究を加へしむることの必要を認める。難波高等小學校では毎年暑中休暇に左の如き課題を與へて之を行はせることにしてゐた。

1. 職業名
2. 研究の場處 Ⅵ 自家、他家
3. 従事せる人 Ⅵ 家族、雇人
4. 職業の内容
 - イ、工業ならば
 - (一) 原料 Ⅵ 品種、仕入先、價格等
 - (二) 加工法 Ⅵ 設備、工具、製造工作の順序方法等
 - (三) 製品 Ⅵ 用途、販路、價格等
 - (四) 一日の製造高、職人の工賃、收益、勤務時間等のこと。

ロ、商業ならば、

- (一) 商品 Ⅵ 品種、仕入先、仕入値段、賣價等
- (二) 販賣法 Ⅵ 現金賣と掛賣、自家賣と行商、得意先、廣告法、商品陳列法、接客法等
- (三) 一日の販賣高、店員の待遇、純益等のこと。
- ハ、其他ならば、
 - その仕事、勤務時間、收入、給料等のこと。
 5. どんな人がその職業に適すると思ふか。
 6. その職業の將來の見込はどうか。
 7. その職業についての所感
 8. あなたは將來その職業につく意志はないか

二、家業見習の奨励

昭和三年二月に調査せる高等第二學年兒童の「家族の職業に對する理解程度、感想及び繼承意志の有無」についての結果は次の如きものであつた。(調査人員二百四十八名)

○ 自家營業を爲せる家庭の兒童數……………一三一名

- 1. その業種……………一〇三種
 - 2. その營業内容の概要を知れるもの……………九九名
 - 3. その収入高を概知せるもの……………三九名
 - 4. 自家營業に對して好感をもてる者及びそれに従事したことの意志を表示せるもの……………五〇名
 - 5. 自家營業に好感を持たざるもの及びそれに従事することを否定せるもの……………七〇名
 - 6. 態度不明のもの……………一名
- 父の従事せる外勤職業……………三九種……………兒童數五八名
- 1. その勤務先を知れるもの……………五三名
 - 2. その勤務内容の概要を知れるもの……………四三名
 - 3. その収入高を概知せるもの……………三四名
 - 4. その職業に好感をもてるもの及びそれに従事したことの意志を表示せるもの……………一五名
 - 5. その職業に好感をもたずそれに従事することを否定せるもの……………二七名
 - 6. 態度不明のもの……………一六名
- 兄の従事せる外勤職業……………三七種……………兒童數四一名

- 1. その勤務先を知れるもの……………二七名
 - 2. その勤務内容の概要を知れるもの……………二四名
 - 3. その収入を知れるもの……………二〇名
 - 4. その職業に好感を持ちそれに従事したことの意志を表示せるもの……………一四名
 - 5. 然らざるもの……………二〇名
 - 6. 態度不明のもの……………七名
- 姉の従事せる外勤職業……………八種……………兒童數一二名
- 1. その勤務先を知れるもの……………六名
 - 2. その勤務内容の概要を知れるもの……………七名
 - 3. その収入を知れるもの……………七名
 - 4. その職業に好感を持てるもの……………二名
- 如上の事實に徴して兒童がその父兄の従事せる職業に對して甚だしく理解を缺けることを窺知することが出来る。しかも高等小學の兒童にもなれば實際には朝夕相當に家庭の勞務に従事せしめられてゐるのである。さればこれは全く父兄が兒童にその業務に對する理解を得しむるの用意

を欠き、児童も亦進んで之を理解し見習はんとする態度を有せざりしが爲であると思はれる。故に勉めて保護者に反省を促がすと共に、児童をして進んで家業を見習ふべく又、父兄の従事せる外勤職業に對しても正しき理解を得るやうに指導し、以て職業理解を促がし實務的勤勞の陶冶を圖ると共に將來自己の従事する職業決定の參考に資する上に遺憾なからしめなければならぬ。

なほ児童をして職業に關する實際的研究を深めしむる爲に、實地見學、期間見習、お目見期間の延長等の施設の必要を認める。

第五節 立志促進

「志を立てよ」(尋修卷四)といふことは可成り早くから之を説いてゐるが、その説き方が一般に抽象的か乃至は特例的であつて、多くは之が個人指導を等閑に附してゐる嫌がある。

既に叙べたるが如くこの世に生を稟けたる社會の一員としての「我」を正しく生かしその生涯に意義づけ生甲斐あらしむるには各人が夫々独自の人生行路を選ばなければならぬ。

而して「立志は」即ち各自の人生行路||人生コースを計畫豫定することである。言ひ換へれば各自が出世の目途をつけることである。随つてそれには各人各様の個人指導を切要とする譯であつて、實際にこの立志指導不行届の結果は一生を棒にふるやうなことになる。當てなしに一生放浪の旅を續けさせるやうな事にもなる。又徒らに蹉跎してあたら生命を擦り減らせるやうな事にもなる重大事である。

さてその「立志の動機」について考察を加へてみると凡そ左の如き別が認められる。

一、偶然的なもの

1. 信仰的||天の啓示、神の靈感といったものよりヒントを受け衝動を興へられたといふが如

きもので、これは固執的な献身的な強味を持つ。それで百折不撓の苦行に堪へて後大成を見ることがある。されどそれは特殊であつて一般人に期待すべきことではない。

ロ、空想的に單なる思ひつきである。夢を逐ふが如き浮動性のものである。之に「まぐれあたり」といふことがあるが矢張り特例的である。

二、必然的のもの

イ、盲従的に長者の指令によるものである。されど一度自己に目ざめた場合には却つて反逆の意志を生ずることがある。

ロ、自覺的に合理的思慮によるものである。

教育は各人の立志をして必然的自覺的合理的たらしむべきであると謂つべく、随つて小學校でも少くもその基礎的啓培の妥當適切を期して細心なる注意を拂ひ之が善導に努めなければならぬと考へるのである。

而してそれが爲には先づ志望調査の必要を認める。綴り方教授の場合に之に留意すること、特別に調査を行ふこと、膝下試問によること等適宜の方法によつて之を行ふべきである。

その志望調査を行ふに當つて特に注意すべき要件は、生活と職業との不可分の交渉が萬人共通

の事實となり且つ職業分化が大いに進み、共同生活戦線が民衆化した現代に於ての立志は單に偉い人になるとか、立派な人になるとか、乃至は漫然と役人になる、商人になる、工業家になるといふが如き程度のものでは殆んど意義を爲さないのである。されば我を生かし人をも生かすべく我の本領を遺憾なく發揮し得る社會的適所の吟味を促がし、それに基礎づけられた自覺的合理的立志を期待しての具体的な實際的な指導に資する爲の調査が行はれなければならぬのである。然れば尋常第五學年頃より自己發見の指導と職業理解の指導とが深められるにつれて之が調査を續行して次第に妥當なる立志を促進すべきである。

難波高等小學校にて實施せる本年四月調査結果の數字を左に掲ぐ。

一、就職志望を明記せるもの

男 (488名)	
高一 (214名)	高二 (244名)
工業組 (102)	工業組 (63)
商業組 (143)	商業組 (181)
………五六名(五四パーセントに當る)	………四六名(七三パーセントに當る)
………四八名(三三パーセントに當る)	………一二九名(七一パーセントに當る)

(このうち直接自家營業及び父兄の外勤職業繼承の意志を表示せるもの)

高一	三三八名	全員の 一五%	………	志望明記者の 三六% に當る。
高二	四七七名	一九%	………	二六% に當る。

女 (209名)

高一	二二三名	………	二六パーセントに當る。
高二	一六〇名	………	五〇パーセントに當る。

二、進學志望を明記せるもの

男

高一	三二一名	………	一二パーセントに當る。
高二	四名	(夜學を含ます)	

女

高一	八名	(高等女學校及び補習學校)
高二	一六名	(師範學校四名、他は補習學校)

三、志望の永續率

高等第二學年兒童中、前學年四月に調査した際に表示したその志望を現に變更し居らざるもの

は、男子二百三十名中五十三名であつた。即ち全員の二三パーセントで、志望決定者の三〇パーセントに當る。女子は百二十三名中十一名即ち全員の九パーセントで、志望決定者の一八パーセントに當る。

四、志望と就職の實際狀況

高等第二學年の四月調査當時の志望通りに卒業直後に就職せるものは、男子の就職者百五十九名中五十九名即ち三七パーセントに當り、内自家營業に従事せるもの三十九名、他家に勤務せるもの二十名である、その他の他家勤務者五十六名中、當時の志望に類似せる職業に従事せるもの三十名、全然異りたる方面に就職せるもの十五名、その餘は當時志望未定なりしものである。

さてその志望の當否を判じて之を善導すべく如何に處置づけるかの實際問題即ち「選職及び進學の輔導」の解決はなか／＼容易ならぬ業である。然しこの問題が吾人實際家の手で可能の程度に適切なる解決が加へられなければ「適材處置」といふ事は遂に空想に終るのである。吾人はこれが解決に眞劍の努力を拂はなければならぬ。

第六節 女兒に對する特別注意

女兒に對しては婦人本來の使命たる主婦として母としての立場についての正しき理解と信念とを與へるといふことが肝要であるが、今後の時勢に順應して男女の共同生活を完うせしむる上に、その一般的素養として女子にも基礎的の職業的理解と堪能とを得しめなければならぬ。即ち

一、家庭の内助に當る主婦が家族の職業に理解を有して相當の助力をも爲し得るの素養をそなふる事

二、母としてその子女の職業選擇に相當の思慮を拂ひ得る事

この當然の要求を充たすべく教育上適當なる配意を要すると考へる。

更に職業婦人として世に立つ者が日を逐ふて増加しつゝ、ある今日に於ては、職業界に於ける婦人の進出についての情勢を知らしめ、職業婦人としての心得の大要をも會得せしむる事の必要を認めるのである。

然れば前述の如く各科教授上この点に注意を加ふると共に女兒に對する職業講話について特別

に考慮するところがなければならぬ。

私は職業講話の際に前に掲げたる案によりて、隨時女子的の例話を挿み、特に高等第二學年の「少年少女の職業」の項に於ては、銀行事務員、電話事務員、貯金局事務員、百貨店員、裁縫職、看護婦助産婦、タイピスト、女教師、女中、女工、女給等のその業態、修業過程、適性、就職上の注意等を細説することにした。

一、女子の就職動機及び理由に就いて

高等小學校に進める女兒の就職志望調査の際その理由如何を質して見ると、甚だ不純な曖昧なものが多い。或は洋服が着られるから洋服屋になるとか、袴をつけて行かれるから電話交換手にならうとか、名高い人になりたい爲に畫家にならうとか云ふが如き虚榮的動機のものがあり、或は單に讀書が好きであるから會社事務員にならうとか、子供に洋服を着せたいからミシン職に従事しようなど云ふが如き非常識なものがある。且つ父母とその意見を異にせるものが、この時期に於ては男子よりも女子に多いのである。

大正十四年七月に内務省社會局の調査せる現に就職してゐるタイピスト、事務員、店員、電話交換手等の就職動機理由についての統計にては、

- 1、家計補助の爲にといふのが……………四六パーセント
 - 2、自活の爲に……………一二パーセント
 - 3、不時の準備の爲に……………五パーセント
 - 4、嫁入仕度の爲に……………五パーセント
 - 5、別に理由なきものが……………一二パーセント
- と云ふことになつてゐる。是等の事實に徴し、女兒の就職志望に對しては特にその性能境遇并に職業婦人としての立場等についての自覺と理解を正すべく大いに意を用ひなければならぬと思はれる。

二、女子の就職上の注意に就いて

業界の實情と女子なるが故の悩みといふやうな事柄について、之に善處すべき心得方をなるべく具体的に説くべきである。即ち身体的方面についていへば、職業婦人は大いに増加したが、未だその勤務の各方面に於て女子保健上の特別施設が十分に行はれてゐないから、自ら攝生に注意するといふ事が特に大切である。又月經時に於ける勤務上の用心の如き殊に來潮困難者にとりて欠くべからざる注意である。精神的方面についていへば、女性のやさしさを失ひ、家庭的の仕事

に遠ざかるといふ一般傾向に對して豫め大いに注意して女子としての修養を怠らないやうにすることが必要である。又虚榮心が強くなり華美に流れるといふ一般傾向に對して深く自制を加へて質素勤勉の徳を失はぬやうにすることが大切である。更に誘惑が多いといふ實情に對して操守が飽くまで堅固で嚴正でなければならぬといふが如きはその最も緊切なる注意であると考へるのである。

三、高學年の女兒訓練上特に注意すべき心的傾向に就いて

1、羞恥心の發動

尋常五年頃の女兒になるとその社會的感情の發達に伴つて羞恥の情が盛に起つて來る。この羞恥の情は孟子が「羞恥之心義之端也」と云つてある通り、吾人が面目を全うせんとする道念の一根元を爲すものであるから、適當に之を善導せなければならぬが、一方にこの心情が發動しかけると、今までは無邪氣に己の身の上の事でも一家の事でも何吳と教師に打聞け話をしてゐたものが、段々と教師が問ひ掛けても顔を紅くして云はないやうになる。また大の活動家であつたのが大人しくなつて活潑な運動を避ける様になるとか、或は教室でも教師の發問に對してよく手を舉げて發言を求めてゐたものが、知つてゐても舉手しないといふ風な傾向を帯びて來るものである。

る。ところが従來かゝる傾向をば女兒の常なりとして輕々しく看過せられてゐた嫌があるが、之をその儘放任して置くに因循陰鬱となるばかりでなく、延いて心身の發達を阻止するの虞があるのである。且つ一體に高學年女兒の訓練はむづかしいといはれて居る其の理由は種々あらうが、一つはこの羞恥心の發動に依り徒らに恥づかしがつて淡白無邪氣をおほひ、爲に兒童の心意を洞察することが困難になり、自ら師生間の意志の疏通を缺く弊を生せる故ではなからうかとも考へられる。

さればかゝる傾向に對しては「彼の兒童は近頃急に鬱ぎ出した、變な事だ。」とのみ輕視するが如きことなく、周到なる注意を拂つて、その動機の如何を察し、特に教師は淡白快活な態度で之に接して、その感情の轉化に努め更に理智の働に訴へてその無暗に恥づかしがることの非を悟らしめ之が弊を長せしめないやうに心すべきである。さうして専ら羞恥心の發動を善い方面に導く用意が肝要である。即ちこの時期に及べばもはや兒童の思考推理判斷等の心的作用も可成り發達するし、一般の道徳心も大分向上して來るから具體的の事例について實際的に道徳的の判斷力を練り、以て眞に恥づべきこと、然らざる事とを正しく分別せしむる事に努め、而して漸次に己が正しき道を履み行つてさへ居れば所謂俯仰天地に恥ぢない譯で、其の自家の貧困・親の無學、

衣食の粗惡等の如きは何等恥づるところでないといふ確固たる信念志操の啓培に力を致すべきである。

2. 名譽心と虛榮心

次に注意すべきは名譽心の發達についてである。名譽心即ち自己の行爲に對して他より賞讃を受けて快感を覺ゆる情は元來本能的のもので、嬰兒が生後間もなく母親の笑顔と澁面とを區別する事實はこの名譽心の本能性を有することを示すの適例であるといはれてゐる。随つて名譽心の善導については低學年でも相應に配慮せねばならぬことであるがこの時期に至つては兒童が自ら名譽の内容を解して進んで名譽他の讚美を求むるの情が愈々強くなつて來るから一層これが指導に注意の必要が加つて來るのである。即ち眞の名譽心なるものは大いに人の行爲に刺戟を與へるもので、進んで將來に於て成功を得んと希望をも起さしむるものであるから、積極的には先づ各自の性能や身分や家柄や境遇等に對して眞正に重んずべき名譽を有して居るといふ事を悟らしめその名譽を保持し發揚せんとする念慮を誘致することに努むべきである。兒童の非行短所に對して妄りに罵倒戒飾してその名譽心を傷くるやうなことをしてはならない。若しさういふ取扱を爲すときは却つて兒童をして自暴自棄せしむることになる。然しこの感情も過度に熱して來ると美

望嫉妬虚榮等の惡徳に陥ることになるものであるから、一面に是等の惡弊を生せしめざるの消極的注意を欠いではならぬ。それでチャールズ・ブレイ氏の如きは「稱讚は譴責と等しくその取扱は随分危險なもので、輕卒に稱讚することは斷じて行ふべきことでない。」といはれて居る。殊に虚榮心の發動の如きは名譽心の悪しき半面を意味するものであつて、己が人の稱讚を受けるだけの眞價を有せずして恰も之を有する者の如く裝ふて人より賞讚を買ひ以て誤れる名譽心の満足を求むることになる爲である。然かも女子は男子に比して一般に虚榮心が強いといはれて居るから、尙更この点に注意して人の眞の名譽は衣食・外容等の上に存するものでなくて、自力で爲した善事の報償なることを能く覺知せしめて虚榮心を長せしめないやうにせねばならぬ。

3. 所有性と嫉妬、猜忌

所有本能は自己といふ考が確立して、自分の物と人の物との區別が明瞭になるに及んでから盛に現れて來るものである。さればこの時期になつては愈々所有性の發動が盛で、自己の學用品一切の保管を自ら嚴重にするやうになつて、若し弟姉等がそれに手でも觸れると非常に腹を立てるといふ傾向が烈しくなる。また熱心に布片繪葉書類を蒐集して喜ぶといふ風が著しくなつて來るのである。而してこの性向は善良に伸びると整理整頓勤儉貯蓄の良習慣を成すことになるのである。

から、適當に之を指導せねばならぬ。能く家庭で兒童がその所有物を嚴重に大切に保管して居るのをば無下に悪しざまに叱りつけたたり、つまらない物を集め廻つて居るからといつて冷笑に附する等といふが如きことを見聞することがあるが、これは全く善くないことである。然しその所有性も悪くひねくると、或は嫉妬心となり或は猜忌心となるのである。即ち嫉妬心は自己の所有・勢力範圍に屬して居ると考へてゐるものを他人が所有して、自己の思ひ通りにならない場合に起る不快の情であつて、猜忌心も同様に自己の欲するものを所有する對手を惡む心的状態を意味するので嫉妬心よりは一層非社會的のものである。而してこれが亦女兒は男兒に較べてこの時期頃より既に一般に嫉妬猜忌の傾向が強いやうであるから、一層の注意を要するのである。即ち兒童間に黨派を組んで互に暗闘的に排斥し合ふとか、或は教師の心思を邪推して不公平なる處置を受けてゐるかのやうにひがむとか、或は學力操行等の優れたるもの、容貌の美しいもの、資産多き者等を嫉むといふ風な事實がよく現れて來るやうになるのである。しかも之を隱然行ふから教師が容易にその真相を洞察することが出來ない場合が多い。それが爲に段々悪い方へ深入りする虞がある。そこで教師は常に兒童交友間の動靜の裏面的觀察を鋭敏にするやうに心掛けることが肝要である。さうして又教師自身が兒童に對する言行を慎んで、かゝる感情を現さしむる機會

をなるべく與へないやうに戒心せねばならぬ。例へば教授中に於いて児童の指名が偏しないやうにするとか、賞讃譴責の公平を失はないやうにするとか、或は休憩時に於ける看護の場合でも常に同一の児童にのみ接近するといふやうな事のないやうに不斷公平と親切とを旨として児童を率ゆるやうに注意すべきである。なほ既に家庭の事情のためとか、身体上の故障の爲とかで、僻んで嫉妬深くなつて居る児童に對しては一層温き同情を籠めてその救済に努めて遣らねばならぬ。それについては特に嫉妬猜忌の如き冷やかな不足不満の心癖を矯むるには常に教師の同情親切を以て之を温むるの外殆んど他に道が無いものであるといふことを銘記すべきである。

4. 情操の發達

漸く眞理を愛好する態度が加はり眞の努力的興味を覺ゆるやうになり行爲の正不正に對しても内省的に快不快を感ずることになり義に對する情操も著しく發達して來る。なほ宗教的敬虔心の萌芽も明かに認められるやうに進んで來るのである。されば児童の情操陶冶に努め以て精神修養の根柢を固むべきである。

5. 自制力の發達

自制力即ち自己の意志による制御力は容易に發達するものではないが、この時期の初め頃から漸

く其の萌芽が認めらるゝやうになつて來るから、是れより大いに児童の自治反省を重んじて、自制を奨励し、児童自身の努力によつて理性の指導に服せしむるやうに導くことが肝要である。

自 警

(著 者)

- 一、教師ハ快活ナルベク、輕躁ニ陥ル勿レ。
- 一、教師ハ謹嚴ナルベク、冷酷ニ陥ル勿レ。
- 一、教師ハ雄辯ナルベク、饒舌多辯ニ陥ル勿レ。
- 一、教師ハ注意周到思慮細密ナルベク、神經過敏ニ陥ル勿レ。
- 一、教師ハ寛濶大度ナルベク、放縱ニ陥ル勿レ。
- 一、教師ハ心、富貴ナルベク、貪慾ニ陥ル勿レ。

第九章 選 職 輔 導

第一節 職業選擇上の主要條件

- 一、物質的収入之に現實的のものゝ理想的のものとがある。前者は多く經濟生活の不如意の爲に目前の収入に重きを置くものであり、後者は將來に於ける經濟生活の安定に望みをかけるものである。職業對象は端的にいへば物質に外ならぬのであるから選職上本條件が主要視されることは勿論であるが、餘りに目前の収入の多きを望んで少年の前途をあやまらしむるが如きことのないやうに注意を拂はねばならぬ。
- 二、社會的地位之に精神的社會的の優位を希ふものであるが、これについては從來の官尊民卑の僻見や妄りに實業を厭ふて俸給生活者たらんとする弊習に囚はれしめないやうに注意すべきである。
- 三、實務上の安易之仕事そのものゝ簡易、所勞の寡薄を希ふもので、これは普通の人情の如く見做されるが有爲の少年の爲には寧ろ之を拒否せしむべきである。
- 四、家に對する觀念之に父祖傳來の家業を繼がしめようとするもので、その根柢には祖先の遺志尊

順といふ道念が動いて居り且つ又生活安定の豫想がある。随つて本條件には相當の重要性を認めるが、然し今日の時勢上之を強制して却つて破綻を招かしむるが如きことのないやうに注意を要する。

- 五、心身の事實之に性能及び趣味嗜好に適應せる職業を選んで獨自の本領の發揮を希ふものであつて之が最も合理的な主要な選職條件である。

この五つを選職上の主要條件として挙げられると思ふ。そこで性能的條件を本として、家庭的、經濟的、社會的の各條件を參酌して、さうして堅實なる社會生活を營み得るやうに、兒童の人生コースのスタートを正しく切らせるやうに、吾人は保護者と相協力して善處すべきであると考へるのである。

第二節 選職輔導の實際的方針

ところで個性の究明も職業適性の判定も共になほ十分に信頼を置く程度に進んでゐない現在に於て且つ幼少なる小學校の兒童に對して選職の適確を求むることは到底至難である。そこで私は實際に其の甚だしき不適職志望の拒否即ち選職上の消極的指導に重點を置いて左の如く配意すべきであると考へてゐる。

- 一、多少不適職との懸念がある職業に従事しても努力精勵によつて相當順應し得るものがあり、之に反して適職に就いても興味の欠如或は努力不足の爲に失敗に陥る事例が少くないから、種々の事情を酌量してその選擇範圍を餘り狭く局限せしめないやうに心すべきである。
- 二、趣味嗜好は職業順應の上に彈力を與へるもので所謂「好きこそ物の上手なれ」との事實を認めるが、然し兒童のそれは頗る漫然たるもので體驗的でないものが多い。適性の表徴とも見做すことが出来ないものが多いのである。それで「好きだから某職業に従事したし」との兒童の申立を輕卒に承認してはいけない。豫めよく之を調査してその自覺を正さしむべく適宜の指導を加へてから職業選定の參考に資せしむべきである。

○趣味及び特技調査表

本表は左の發問に對する兒童の答を統計したものである。

1、あなたは「何かをすることが大層好きだ」といふ特に趣味をもつてゐるものがありますか。

2、あなたの得意とする特に上手な技は何ですか。

學科中に、その以外に、

昭和五年四月調査

高等第一學年			高等第二學年		
趣	味	員數	趣	味	員數
讀書	男三五 女一四	同上	同上	同上	同上
綴方	一	二	五	同上	同上
書方	九	三六	一	同上	八

自轉車乘リ	魚釣	水泳	登山	野球	唱歌	珠算	化學	簿記	物ヲ調べルコト	理科實驗	洗濯
三	九	一〇	四五	四	一	一	一		三	六	
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
八	九	一		二	五	二	四	六		一	
"	"	"	"	"	"	"	動物學	馬	昆蟲採集	"	"
三	三	三	一〇	三	二	二	一	一	五	一	
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
二	四	三		四	四	九	五	二			一

炊事	生花	裁縫	髮結	物ヲ立テルコト	機械作業	箱庭造り	鍔力細工	地圖描き	手工、手藝	手工、工業	圖畫
一	二	九	一	二	三	一			一	三	五
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
四	一	二	二				一	二	二	六	一
"	"	"	同上	機械組立	時計修繕	製本	飛行機製作	製圖	"	"	"
八	四	四						一	三	三	三
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
三	一	三	三	一	一	一	一		三	八	二

運	五日並べ	將棋	碁	こま廻し	盆裁	掃除	ピアノ	オルガン	琴	大正琴	ダンス
一四六	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二五	一	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一七八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二五九	二	五	一	三	三	一	一	一	四	一	二

三味線	舞	あんなま	車	レツテル集メ
二	一	一	一	一
五	一	一	一	一
六	一	一	一	一
二	一	二	一	一

(備考) 各欄の右の数字は男子、左の数字は女子である。

△趣味なしと記せるもの || 高一(男一七 女一五) 高二(男九 女二)

△得手(特技)を自覚せざるもの

學科に || 高一(男五二(二二%) 女一六(一八%))

高二(男三九(二六%) 女三九(三一%))

其他に || 高一(男二五(五一%) 女七七(八九%))

高二(男七七(三一%) 女七八(六三%))

三、職業的成功は特殊性能に依存するところが大であると共に、一般智能度によつてそれが制限せられるものが少くない。故に先づ左の如き大体標準に照して第一次詮衡を加へ、次でその各職業群中の個々の職業に必要な特殊性能の有無を検してその適否を判定し、更にその他の事情を参酌して以て兒童及び保護者に適宜の忠告助言を與ふるやうに爲すべきである。

1、精神的勤勞即ち智能職業に適すと見做すべきもの
 智的型 經綸型

一般智能ⅡA級Ⅱ又はB級にて何等かの智能的特長の優秀なるもの。

2、心身的勤勞

イ、事務的職業（商業を含む）に適すと見做すべきもの

經綸型 智能型

一般智能ⅡABC級

ロ、辯算筆に長せるもの

オ、技術的職業（農、工業を含む）に適すと見做すべきもの

技術型 力量型

一般智能ⅡABC級
 3、身体的勤勞即ち勞働的職業に適すと見做すべきもの
 力量型、
 一般智能ⅡD級

○ 大阪市立中央職業紹介所 職業別特殊性能検査種目表
 少年部にて實施せる

技能方面

職業名	筆記ニヨル一齊検査法	器械器具ニヨル個別検査法
印刷工	照合・補字・圖形構成・長短分類・制約動作	視觸覺辨別・作業速度・運動速度
製本工	長短分類・制約動作	視觸覺辨別・作業速度・運動速度
機械工 (旋盤・仕上)	照合・加算・比例・圖形構成・調節動作・制約動作・長短分類	視觸覺辨別・作業速度・反應速度・握力・空間辨別・構成力
鋳物工	照合・形象記憶・圖形構成・調節動作	視觸覺辨別・構成力
大工、指物、木型職	照合・加算・比例・圖形構成・長短分類・調節動作	視觸覺辨別・運動速度・作業速度・構成力・空間辨別
電機工	照合・加算・比例・推理知覺・圖形構成	視觸覺辨別・作業速度・反應速度・構成力
和洋服裁縫	照合・加算・圖形構成・長短分類・調節動作・制約動作	視觸覺辨別・運動速度・作業速度・光度辨別
製菓工	形象記憶・調節動作・制約動作	視觸覺辨別・作業速度・運動速度・重量辨別
メリヤス工	照合・制約動作	視觸覺辨別・運動速度・作業速度

圖案工 (ペンキ看板)	・形象記憶 ・長短分類 ・調節動作	・照合 ・正常聯想 ・反對聯想	・視觸覺 ・構成員 ・作業速度 ・握力
西洋洗濯	・照合	・照合 ・調節動作	・握力 ・光度辨別 ・視觸覺辨別
時計修繕師	・照合法 ・圖形構成 ・調節動作	・照合法 ・圖形構成 ・調節動作	・視觸覺辨別 ・反應速度 ・歸納推理 ・時間知覺 ・構成員 ・空間辨別
自轉車修繕	・照合 ・圖形構成	・照合 ・調節動作 ・制約動作	・歸納推理 ・作業速度 ・構成員
理髮師	・照合 ・長短分類 ・調節動作	・照合 ・長短分類 ・調節動作 ・制約動作	・視觸覺辨別 ・運動速度 ・作業速度
印刷師	・照合 ・形象記憶 ・圖形構成 ・調節動作	・照合 ・形象記憶 ・圖形構成 ・調節動作	・視觸覺辨別 ・空間辨別 ・技能學習力
竹、藤細工職	・長短分類 ・制約動作	・長短分類 ・制約動作	・作業速度 ・視觸覺辨別 ・握力

商業方面

販賣店員	照合・加算・止常聯想・反對聯想 論理的記憶・單語記憶・補字法・置換法	顔貌記憶
呉服	・長短分類	視觸覺辨別 光度辨別 縮柄模様記憶
藥種	・機械的記憶	視觸覺辨別 重量辨別 光度辨別
家具、器具、指物類	・長短分類 ・圖形構成	握力 作業速度
蓄音器、樂器	・機械的記憶力	・時間知覺 ・音調辨別 ・音響辨別
寫真機械及材料	・圖形構成 ・長短分類	・技能學習力 ・光度辨別 ・作業速度
機械	・圖形構成 ・長短分類	握力

貴金屬、寶石	・長短分類 ・圖形構成	・光度辨別 ・視觸覺辨別
電機	・圖形構成 ・比例法	・視觸覺辨別
米、麥、雜穀		・光度辨別
地金金屬類	・長短分類	・光度辨別
木材	・長短分類	・握力
度量衡類、醫療及科學機械	・推理知覺	・構成員 ・光度辨別 ・作業速度
雜貨		・視觸覺辨別 ・光度辨別

其他ノ職業

銀行、貯金局事務見習	・照合 ・加算 ・比例 ・推理知覺 ・正常聯想 ・反對聯想 ・單語記憶 ・補字	・視觸覺辨別 ・選擇力 ・運動速度 ・作業速度
自動車、電車車掌助手	・照合法 ・加算法 ・正常聯想 ・反對聯想	・選擇力 ・作業速度 ・反應速度
看護婦、產婆	・照合 ・加算 ・機械的記憶 ・調節動作 ・制約動作	・反應速度 ・視觸覺辨別 ・時間知覺
電話交換手	・照合 ・制約動作	・視觸覺辨別 ・運動速度 ・作業速度
タイピスト	・照合 ・補字 ・正常聯想 ・反對聯想 ・長短分類	・運動速度 ・反應速度 ・作業速度 ・視觸覺辨別 ・技能學習力

備考 一、一職業内にて二種以上に劣等以下の成績を示す場合は該職業への紹介は一考を要するものと認む
二、●點の附しあるものは平均値以上の成績を要求するものとす

○大阪市小學校にて使用せる選職相談票

職業指導實施要綱

最終学年の 卒業成績	修身	数学	理科	国語	歴史	地理	理科	音楽	美術	体育	保健	工業	商業	簿記	家庭	英語	その他
	成績	成績	成績	成績	成績	成績	成績	成績	成績	成績	成績	成績	成績	成績	成績	成績	成績
好きな科目 嫌いな科目 言語 学動 容観 第一印象 性質長所 短所 趣味嗜好 特長技能 その他	嫌いな科目																
	学動																
	第一印象																
	短所																
	特長技能 (自轉車に乗ることが出来る)																
	その他																
	本項より見たる希望職業の適否																
遺傳關係 既往症及び休病 身長 cm 体重 kg 胸圍 cm 体格 榮養 脊柱 視力 左 右 色神 眼疾 左 右 聴力 左 右 耳疾 左 右 月經 不調 才 困難の有無 疾病異常 總評 免除すべき作業 適當と認むる作業 性質上より見たる本人希望職業の適否	既往症及び休病																
	身長 cm 体重 kg 胸圍 cm																
	体格 榮養 脊柱																
	視力 左 右 色神 眼疾 左 右																
	聴力 左 右 耳疾 左 右																
	月經 不調 才 困難の有無																
	疾病異常																
	總評																
	免除すべき作業																
	適當と認むる作業																
一般智能 久保博士 少年智能力検査法 A式第二 得点 1 2 3 4 5 計 指差 指數 品等 () ()	特殊性能																
	検査種目				得点				品等								
	視覚検査				聴覚検査				運動検査				その他				
	形状検査				数量検査				時間検査				その他				
	位置検査				分類検査				順序検査				その他				
	記憶検査				計算検査				言語検査				その他				
	文字検査				図形検査				空間検査				その他				
	暗算検査				常識検査				判断検査				その他				
	推理検査				整理検査				動作検査				その他				
	観察検査				表現検査				技能検査				その他				
性質上より見たる本人希望職業の適否																	
判定	判定																

選 職 相 談 票

No. _____ 科 年 受持教師 職業指導係 校長

兒 童	姓名	大正 年 月 日生															
	現住所	区	町	丁目	番地	方	姓										
	本籍地	出生地															
	保護者の氏名	() 才) 母) 年															
家 庭	現在同居家族	人) 兄() 姉() 弟() 妹() 孫() 其他()															
	不在家族の動靜	兄 姉 弟 妹 其他															
	保護者の職業	勤務先															
希 望 職 業	家族の職業	母 兄 姉 弟 其他															
	生活程度並に社会的地位	保護者並に家族の教育程度															
	宗教	交 姓 兄 姉 弟 其他															
	特記すべき親戚關係																
保 護 人	本人の希望職業 1.	理由															
	本人の希望職業 2.	理由															
	保護者の希望職業 1.	理由															
	保護者の希望職業 2.	理由															
	希望條件	1.給料に対する希望 _____ 家庭への補助 要 否 _____ 2.勤務先に対する希望 _____ 3.仕込と通勤といづれを希望するか _____ 住込 通勤 _____ 住込、通勤いづれにてもよろし 4.夜學に対する希望 _____ 是非希望(學校の種類) _____) いづれにてもよろし 5.その他 _____															
紹 介	氏名	() 才) 本人との關係 _____															
	住所	職 業 _____															
	氏名	() 才) 本人との關係 _____															
	住所	職 業 _____															
	年月日	氏名	職業	電話	住 所	住 居	電話	請 員	備 考								
	年月日																
	年月日																
	年月日																
	年月日																
	年月日																
年月日																	
年月日																	
就 職 後 の 状 況	調査年月日	雇主氏名	職務	待遇	適 應	健康状態	勤務地	長期間継続	共同会加入	退職年月日	理由						
	年月日											年月日					
	年月日											年月日					
	年月日											年月日					
	年月日											年月日					

四、職業的成功を規定する多くの條件中の一に於ける優秀は必ずしもその成功を保証するものとは限らないが、逆にその一に於ける低劣或は欠陥はその失敗を豫言するものであり、或は少くともその成功可能の貧弱なることを警告するものといつて差支へはないといはれてゐる。實に志望職業に對する不適合條件を検出して不適職者たることを免れしむる所謂不適職拒否の使命は重大であるのである。

第三節 志望調査處置の實際

學年のはじめに左の調査票によつて志望調査を行ふ

○ あなたは將來どんな職業に従事しようと思つてゐますか。

職業名

その理由

希望條件上の學校へ行くつもりか。 就職は自家でか。 通勤でか。

住込でか。 その他。 お家の人は何といふてゐますか。

而してその結果に對して左の如き處置を加へるのである。

一、就職及び進學志望を明記せるものに對して

- 1、その志望の當否を慎重に吟味すること。
- 2、その志望が確かに不適當と認めらるゝ者に對して即時反省を加へ志望の變更を促がすこと
- 3、求人側の採用條件及び入學選抜條件に照合して、その志望を達せしむる爲に必要な注意を與ふること

4. 志望の動機理由如何はしき者に對して反省を促がすこと。
5. 親と意見を異にせるものに對して適當の措置を講ずること。
 - イ. 志望不適當と認めてその變更を促がしたる實例
 - 色盲者にて師範學校入學、電車運轉手を志望せる者
 - 身体虛弱者にて銀行員、教員を志望せるもの
 - 一般智能D學科平均六點内外にて、事務員、給仕を志望せるもの
 - 近視強度、体格丙、學科平均六點にて車掌助手を志望せるもの
 - 算筆不得手、學科平均六點内外にて貯金局事務員を志望せるもの
 - 學資當てなく學科成績普通にて書生住込齒科醫たらんことを志望せるもの等
 - ロ. 志望動機理由の如何はしき爲に反省を促がしたる實例
 - 就職容易なれば鐵道員になりたいといふもの
 - 單に体が樂で勉強が出来るから給仕になりたいといふもの
 - 体が弱いから事務員になりたいといふもの
 - 讀書が好きだから本屋になりたいといふもの

- 出世が出来るから會社員になりたいといふもの
 - 金が澤山貰へるから自動車の運轉手になりたいといふもの
 - 金を貯へたいから僧侶になりたいといふもの
 - 名高い人になりたいから畫家になりたいといふもの
 - 印刷業に従事したものに偉人が多いから印刷業に従事したいといふもの
 - 子供に洋服を着せたいからミシン裁縫師になりたいといふもの
 - 女車掌の着物をきてみたいから車掌になるといふもの
 - をとなしさうだから女事務員になりたいといふもの
 - 面白さうだから建築業に従事したいといふもの
 - 人が行つてゐるのを見て行きたくなつたから給仕にといふもの
 - 行者に聞くと水商賣がよいといふから鮓屋になるといふもの等
- ハ、親と意見を異にせるもの
- 母はお前は珠算がうまいから月給取りになれといふが私はいやである
 - 家では産婆になれといふが私は琴の師匠になりたい

- 家では産婆になれといふが私は女車掌になりたい
- 家では裁縫のけいこをせいといふが私は百貨店員になりたい
- 家では見習奉公に行けといふが私は交換手になりたい
- 父は髪結に母は百貨店員にといはれるが私は髪結になりたい
- 体が弱いから裁縫で身を立てよといはれるが私は事務員になりたい
- 裁縫を習ひに行けといはれるが私は看護婦になりたい
- 家では給仕に行けといふが私は金物屋になりたい
- 南海電車の給仕にツテがあるから行けといふが私は細工が好きだから木工職を習ひたい等。

ニ、實業科目の選擇をあやまれるもの

入學の際の保護者及び本人の希望により、工業組と商業組とに分つて教授することにして約一ヶ月の後に行ふた志望調査の結果は左の通りである。

○工業科を學べる兒童中、工業以外の職業に従事せんとする志望のもの

昭和四年四月入學者中 九名（當時志望決定者五九名中）

昭和五年四月入學者中一五名（………五六名中）

○商業科を學べる兒童中工業及び職商方面の職業に従事せんとする志望のもの

昭和四年四月入學者中二五名（當時志望決定者八八名中）

昭和五年四月入學者中一八名（………四八名中）

この單なる事實に徴するも尋常小學校に於ける選職及び進學指導の可及的普及徹底を切に庶幾する次第である。

二、志望未定のものに對して

- 1、個性調査を續行すると共に兒童をして各自に自己解剖を試みしめて自己發見を促がすこと
 - 2、職業に關する理解を進めること。
 - 3、保護者との連絡を講ずること。
- かくて不斷に志望決定を促進すべきである。

而して逐次志望確定者に對してその志望を達成せしむべく適切なる特別の個人指導を加味して行くのである。

それが卒業後直ちに就職せんとする者に對する就職の準備的指導であり、進學を志望するものに對する入學の準備的指導である。共に緊切なる要求であつて、その何れをも偏重偏輕を許され

ぬ譯であり、且つこの両方面の指導を一元化するところに教育の社會化乃至實際化の眞諦を認むるのである。

(職) 奉公に來た日の心何時までも忘れず念をいれてつこめよ

製本屋となるのには 少しのこにも氣をつけて物事をきちんとして 手際よくやれる人 圖案や繪畫の心得のある人が望ましい

洋家具等の製作を望むものは 小さい時から手工が好きで木で色んな形を作つたり大工道具を上手に使ひこなせる者が適當

電気の方をやりたい者は 先づ電気のことを少し知つてからればならぬ、それから 算術や理科が得意で機械が好きで注意正確忍耐が要る

菓子製造を見習ふには 舌や鼻のはたらきが鋭敏できれいな色彩やよい形を考へるここの出来る者がよい

成功 人の適職を得ざるは魚の水を離れたるが如し

製薬工となるのには 一寸した不注意や間違が大變なことに なるから御用心清潔第一いふまでもなし

汽車電車自動車の従業員には 色言や近視や耳の遠い人は大の藥物常に注意を怠らず精神温順事に臨んであわてずに氣轉のきく人であつて欲し

タイピストになるのには 指が機敏に働いて國語(英文タイピストなれば英語に) 通じ感ぜしい中でも仕事に熱中出来る人も成功する

看護婦見習となるのには よく氣がついて親切で 優しい性質の勉強家でなければならぬ

(指) 商賣をよく覺ゆるは金よりも店開きする資本こそ知れ (業) 一なすもひ食買なすび遊道なす噂壇なるすをみすぬなくつそ

(職業指導ポスターの一例)

第十章 就職紹介

第一節 保護者の配慮促進

人間一生の三大事ともいふべきは、入學、就職、結婚の問題である。人として世に處し身を立てんが爲には必ず教育を受けなければならぬ。その基礎教育を受けんが爲に學校に通ふことは一生の土臺かための業であつてまことに大切な事である。……それからやがて成長して己れに適せる職業に従事することが人としての本分を盡す所以の要道であるといふことは既に述べたところであつて、その適職を得ると否とは結婚の適否と同様に一身一家の浮沈より延いては國家の盛衰にまで影響する大事である。然るに是亦從來一般にかほどの大事に對して深く注意せず輕卒に之をとりきめる者が多かつた。それが爲に後悔を招けるものが少くないのである。』とは私の小著職業指導讀本中に記述せる一節であるが、實際に高等小學校兒童の修學及び選職乃至就職に對する保護者の無關心な事は豫想以上であつた。それで會合、召喚、訪問等によつて保護者の子女教育に對する正しき理解配慮の促進に大いに意を用ひたのである。

殊に就職問題については早くから家庭に於て相當考慮を拂はしむるやうにした。難波高等小學

校に在任三年餘その間に保護者懇談會を開催すること十回、毎回出席する者が約半数に達してゐたが、その最後の會合（昭和五年六月開催）後に於ける高等第二學年の受持教師の感想録を摘記すれば左の通りである。

- 一、自家營業を繼承せしめんとするものが増加の傾向である。
 - 二、父兄及び縁故者と關係ある職業に就かしめんと希望を有するものが多い。
 - 三、本人の体力、健康状態に特に注意してゐる。
 - 四、本人の志望を尊重しその趣味性能に恰當せる職業の發見に苦心してゐることが窺はれる。
 - 五、堅實なる實技者と爲すことを希望してゐるものが多い。
 - 六、大工場勤務を好まざる傾向が見える。
 - 七、進學の效果についての盲信が除かれた傾向が著しい。
 - 八、學校の職業紹介に依頼する者が殖えて來た。
 - 九、中學校よりも實業學校を志望するものが多くなつた。
 - 一〇、吾子の性能に就いて、より優越視し、或はより劣弱視してゐる者がなほ認められる。
- 要するに、選職及び就職問題に關して從來多く見られたるが如き無關心なる態度を一變し、極

めて熱心に懇談するやうになつた。保護者會の目的并に保護者と教師の立場を了解せる者が多くなつて、自分の子供の長所なり短所なりについての所見を打明けて今後の取るべき方針につきよく相談せらるゝやうになつて來た。選職についても目先の事よりも子供の將來の事を考へる人が多くなつたやうに感じられる。奉公させるにも樂な所を選ぶよりは、立派な人間に嚴格に躰けて貰へる所を求めるといふ父兄が増加して來た。

第二節 職業紹介所との連絡

大阪市立中央職業紹介所長松村義太郎氏及び同所少年部主任福井宗二郎氏は、少年職業指導に就いて實に熱心に盡力されてゐる。難波高等小學校に於て僅々三年の間に本施設の顯著なる進展を見ることが出来たのは全く両氏の多大なる援助があつたからである。本來教育機關と紹介機關との圓滑なる提携協力を圖らなければ、本問題の適切なる解決を實現することは出来ないのである。難波高等小學校に於て之が連絡協調の上にて些の遺憾がなかつたといふことは誠に有難いことであつたと思ふ。左にその連絡の要項を記すことにしよう。

- 一、紹介所の職員に児童及び保護者に對して職業指導に關する講話を依頼すること。
- 二、又智能検査及び體質検査を依頼し、児童の志望適否についての意見を徵する事。
- 三、紹介所主催の小學校との打合せ、實地見學、雇傭主との座談會等に必ず職員を出席せしむるべし。

四、就職紹介依頼の事

前に述べたるが如く家庭にて早くより適當のところへ直接又は知人、縁者に依頼して就職口を求めしむるやうに本人及び保護者に注意しその當てのつきかねるものに對して、紹介所より交附さるゝ求人先及び學校へ直接申込の求人先を通告して、學校への紹介依頼を申出でしめる。さうして紹介所を必ず經由することに協定が行はれてゐる銀行、百貨店、貯金局等への就職希望申出の児童は學校で豫選して紹介所へ選職相談票を回附し其の紹介を依頼するのである。従來銀行百貨店方面への志望者が多數紹介所へ殺到して、紹介所で豫選のために勞せられる事が多大なるのみならず、児童の迷惑も少くない。かくて却つて紹介所の紹介能率を誹謗する向さへ生ずるといふことになつてゐる。然れば將來平素から紹介所との連絡を圖り、紹介事情を詳かにして置いて、雇傭條件の明示されてゐる百貨店、銀行、會社方面への志望者に對しては學校で豫選を行ふやうにして双方の徒勞を防ぐ事にしなければならぬ。尤も學校での豫選範圍は餘り狭きに失しないやうに注意すると共に、本人及び保護者の諒解を啓導する上に慎重なる考慮を拂ふべきは勿論である。

それから其他への就職志望者は求人先に恰當せるものを選んで直ちに選職相談票と履歷書とを持つて紹介所へ出頭させることにする。

なほ何等當て無き者はその選職相談票を取纏めて紹介所へ回附して、適當の所へ紹介を依頼

學校にて適當の就職先を求め得たる時は紹介所の諒解を得て直接推薦することにするのである。

かくして就職したるものは、必ず學校と紹介所とへ就職通知を爲さしむるやうに注意を加へてゐた。このやうに手を盡して漸次に卒業直後大方の兒童が就職し得るやうに仕向けて來たのである。然しこれでその幾人を眞に適職に就かしむることが出來たか。適材配置の目的の幾分を果し得たかといふことについてはその立証材料を將來に求めなければならぬ事ではあるが、現在の私の未熟な研究に於ては深き自信をもたないといふの外はない。されどこの配慮と努力とによつて兒童の幸福を拓く上に一步を加へ得たと信ずるものである。

○ 難波高等小學校卒業生の進路状況（毎年五月末調査）

昭和四年三月 卒業生總員 一六七名	(一) 自家營業に従事せるもの	五五名(三三パーセント)
	(二) 他家に勤務せるもの	八九名(四九パーセント)
	(三) 上級學校に入學せるもの	九名
	(四) 未定のもの	一四名

昭和五年三月 卒業生總員 一八九名	(一) 自家營業に従事せるもの	八二名(四五パーセント)
	(二) 他家に勤務せるもの	七六名(四二パーセント)
	(三) 上級學校に入學せるもの	一〇名
	(四) 未定のもの	一五名

○ 同就職者の業種別（同上）

昭和四年 三月卒業	(一) 工	業 五七名 (三九パーセント)
	(二) 商	業 六九名 (四八パーセント)
	(三) 交通	業 六名 (四パーセント)
	(四) 公務	自由業 一二名 (九パーセント)
昭和五年 三月卒業	(一) 農	業 二名
	(二) 工	業 七七名 (四二パーセント)
	(三) 商	業 六八名 (三七パーセント)
	(四) 交通	業 二名
	(五) 公務	自由業 五名

第十一章 就職後の輔導

第一節 就職後の状況照會

昭和三、四兩年度の卒業生五百六十八名に、本年三月左の照會狀を返信用切手を封入して發送したが、居所不明にて返戻せるもの八十三通、回答者數三百十二名、未回答者數百七十三名であつた。その回答によつて調査せる事項二、三を抄録して参考に供する。

本校在學生の教育上の参考並に本校卒業生と母校との連絡に資したいと思ひますから左の事項について實際のまゝを書いて御送り下さい

昭和 年 月

大阪市難波高等小學校長

三

橋

節

昭和 年三月卒業	氏名	殿		卒業當 時受持
現在の職業名				
その職についた年月	昭和 年 月			
營業主との所在地	それまでどうしてゐましたか			
自家營業か				
通勤か				
住込か				
現在の収入	日給	月手	當	賞與
		(月)	(月平均)	
			(自家營業の)	
			收益	
あなたをしてゐる仕事				
その職業に従事するものに對する注意				
あなたの實行してゐる修養方法(夜學校入學、講義録購讀等)				

第二節 卒業成績と就職少年の待遇

(昭和五年四月調)

(住込者)

○昭和三年三月卒業生

現在の手當 給料受給額	業種	就職年月	平均点	操行体格	得意學科	修養狀況
不定	下駄製造業	三年四月	五	丙	手工六點	
"	青果商	"	六	乙	丙	
二圓	鮮商	"	六	乙	丙	
三圓	鐵工業	"	八	甲	乙	
"	藥種商	"	八	甲	丙	青年訓練所入所
三圓五十錢	洋服職	"	六	乙	丙	
"	吳服卸問屋	"	七	乙	乙	國語 圖畫 九點

四圓	理髮業	"	六	乙	甲		
"	圖案工	"	七	甲	丙	英語 圖畫 二點	
"	建築金具商	"	七	乙	乙	手工八點	公休日に郊外に遊ぶ
五圓	袋物製造業	"	五	乙	乙	手工六點	公休日に郊外に遊ぶ
"	ブラシ卸商	"	七	乙	乙	圖畫 書方 九點	商業補習一年修了 青年訓練所入所
"	西洋洗濯業	"	六	乙	乙	手工八點	
"	材木商	"	六	乙	乙		青年訓練所入所
六圓	指物職	"	五	丙	乙	手工九點	
七圓	造頭業	"	八	乙	乙		
"	乾物商	"	九	甲	甲		商業讀本によりて自 習
"	足袋學生服	"	七	乙	乙	英語 讀方 九點	暇に雜誌を讀むの 樂み
八圓	洋家具製造業	"	七	甲	乙	手工 書方 九點	

十圓	花緒製造業	"	六乙乙	手工九点	
"	クリーニング業	"	七乙乙	地理九点	現業に奮勵
"	金物商	"	六乙丙		
十三圓	糸卸商	"	五甲甲		
"	電氣工事修繕業	"	六乙丙	手工二点	
"	古金商	"	七乙乙	英語二点	
不定	米酒醬油新炭商	三年五月	四丙丙	手工八点	青年訓練所入所
四圓	理髮業	"	六乙乙	商業八点	
五圓	吳服商	"	八甲乙	綴方九点	
"	指物職	"	六乙乙	手工九点	
七圓	自動車塗業	"	七丙乙	手工九点	
十圓	帶鐵商	三年六月	五乙甲		

四圓	金物製造業	三年七月	六乙乙	圖畫九点	早稻田中學講義錄購
十圓	轉寫印刷業	"	八乙甲	算術二点	圖書館で化學(染料)研究
十五圓	魚商	"	六乙乙	商業七点	青年訓練所入所
三圓	建築業	三年九月	六丙乙	手工八点	建築講義錄購
十三圓	舌かきみがき業	"	五乙乙	手工八点	
不定	時計修繕販賣業	三年七月	九甲乙		
十二圓	鮓商	"	七甲甲	圖畫九点	
八圓	酒商	四年四月	四丙乙		
十圓	吳服商	四年六月	八乙甲	綴方九点	
三圓	文具商	"	七乙乙	英語九点	講義錄購
六圓	自働自轉車商	四年八月	七乙甲		
數圓	理髮業	四年十月	六乙乙	商業八点	

十圓	七圓	八圓	數圓
塗料藥品染料商	鮮米商	材木商	書生
五年四月	五年三月	五年一月	"
六乙乙	七乙乙	四乙乙	七丙丙
讀方九点	英語〇点	手工六點	讀方九点
本年より夜間商業學校に入學	法令全書研究		私立甲種商業學校在

○昭和四年三月卒業生

三圓	二圓五十錢	"	一圓	"	不定
板ガラス商	石工	材木商	洋服職	機械器具商	印刷業
"	"	"	"	"	四年四月
九甲乙	六乙丙	八乙丙	八甲乙	五甲丙	六乙乙
	圖書九点	地理〇点	理科九点		工業〇点
	手工九点				
	學				商工專修學校在

三圓	十五圓	十二圓	十一圓	十圓	"	八圓	"	"	五圓	四圓	"
鐵工業	米穀商	電氣版製造業	樂器、運動具、教育器具商	金網製造卸商	書籍商	鐵管繼手商	菓子製造業	圖案工	吳服商	理髮業	果物商
四年五月	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
八甲乙	七乙甲	七乙甲	八乙甲	九甲乙	八甲甲	七乙丙	七乙乙	八乙乙	八甲丙	八乙乙	六乙乙
	圖書九点	珠算九点			商業九点	珠算八点	珠算〇点	工業〇点	理科九点	讀方九点	
						學					商業專修學校在

〃	八圓	電機商	四年六月	五	乙	乙	手工七點	
〃	十一圓	和洋帳簿商	〃	七	乙	乙	手工九點	
〃	十五圓	料理業	〃	八	甲	甲	珠算一〇點 商業九點	雜誌愛讀
〃	二圓	花緒製造業	四年七月	六	乙	甲	手工八點	
〃	四圓	羅紗卸商		八	乙	甲		
〃	五圓	洋品商	〃	六	乙	甲	英語一〇點 商業九點	
〃	十圓	米穀商	〃	六	乙	乙		
〃	不定	洋服職	四年八月	五	乙	丙	工業八點	
〃	十圓	石鹼製造業	〃	七	乙	乙	書方一〇點 手工九點	
〃	不定	時計修繕販賣業	四年九月	九	甲	乙		
〃	〃	石版印刷業	〃	四	丙	乙		

六圓	自轉車部分品商	〃	六	乙	丙	手工八點	
〃	花緒商	〃	六	乙	乙	手工八點	
〃	地金商	四年十月	六	乙	乙		
八圓	木箱業	五年二月	六	丙	甲	手工七點	
不定	文具商	五年三月	七	乙	丙	珠算一〇點 圖手九點	

(通勤者)

○昭和三年三月卒業生

現在の日給 又は月收額	業種	就職年月	學科 平均点	操行 体格	得意學科	修養狀況
六十錢	石版印刷業	三年四月	八	甲	英語〇點	
八十錢	遞信局信使	〃	七	乙	讀方九點 國史	商工專修學校在學
〃	鑄物業	〃	六	甲	手工〇點	
一圓	洋家具塗業	〃	六	丙	手工八點	

一圓三十錢	鍍金業	"	六	乙	乙	手工八點	甲種商業學校在
收月二十圓	會社給仕	"	七	乙	甲	英語一〇點 算術九點	學
二十二圓	銀行事務員	"	八	甲	甲	英語一〇點	"
二十四圓	"	"	九	甲	乙		"
二十八圓	新聞社文選工	"	九	甲	丙		少々勉強してゐる丈 でお恥づかしい次第
三十圓	裁判所雇員	"	八	甲	丙	國語九點	甲種商業學校在
給日六十錢	圖書館給仕	三年五月	九	乙	丙	算術九點 手工八點	學
收月三十圓	皮革貿易商	"	七	乙	甲		珠算講習を受く
八十錢	逓信局信使	三年六月	九	甲	乙		
一圓三十錢	捻釘、鋸製造業	"	六	乙	丙		キング、少女俱樂部 購讀
二十八圓	商會給仕	三年七月	八	乙	甲	國語一〇點 圖畫九點	夜學
一圓四十錢	百貨店員	三年八月	六	甲	甲		

○昭和四年三月卒業生

一圓	鑄物業	三年十月	八	乙	乙	地圖一〇點 手工八點	講義録購讀
七十五錢	アルミニウム器製造	三年七月	六	乙	乙	手工七點	
一圓十錢	市電助手	四年三月	七	乙	甲	英語九點 手工九點	"
不 定	削鯉節商	"	六	甲	乙		
一圓〇五錢	製紙業	四年八月	六	乙	乙	修身九點	講義録購讀
一圓二十錢	電報集配手	四年九月	七	乙	甲		
一圓五錢	鐵道機關手助手	"	九	甲	甲	鐵道事務及び法規類 自習	
二十圓	新聞聯合社給仕	"	八	甲	丙	商業〇點	速記術練習
十圓	ミッション職	"	六	乙	丙	手工九點	夜學一年修了
六十錢	瓦斯會社給仕	四年四月	七	甲	乙	算書九點 理英九點	甲種商工學校在
"	商業大學給仕	"	九	甲	丙		甲種商業學校在

七十五錢	鐵工職	"	六	丙	乙		
八十錢	アイケー電球製造業	"	八	甲	乙	地理〇点	國民中學講義錄購讀
九十六錢	貯金局事務員	"	九	甲	乙		早稻田講義錄購讀
一圓	アルミニウム器製造業	"	八	乙	甲	圖畫手工九点	夜學
收月五圓	圖案工	"	八	乙	丙	英語圖畫九点	
二十圓	稅關事務所給仕	"	九	甲	丙		鐵道學校電氣科在學
三十圓	釜附屬品製造業	"	九	甲	甲		講義錄購讀
四十七錢	遞信局給仕	四年五月	九	甲	甲		
六十五錢	鑄物業	"	八	乙	乙	理科手工九点	
七十錢	寫真機商	"	七	乙	甲	手工九点	講義錄購讀
八十五錢	郵便局事務員	"	七	乙	乙		
十八圓	會社給仕	"	一〇	甲	乙		補習學校二科修了

八十錢	鐵工職	四年六月	八	乙	乙	讀方理科九点	
八十五錢	松竹座ボーイ	"	八	乙	乙	國語算術九点	甲種商業學校在學
五十錢	保險會社給仕	四年七月	九	甲	丙		甲種商業學校在學
六十五錢	運送業	四年九月	九	甲	丙		
十八圓	保險會社事務員	"	八	甲	乙	英語一〇点	甲種商業學校在學
二十圓	綿花商給仕	"	五	甲	乙	手工八点	補習學校在學
五十錢	區役所給仕	四年十月	八	乙	丙	國語英語九点	
七十錢	自動車部分品製造業	"	七	乙	乙	手工九点	
一圓	市電車掌助手	五年二月	九	甲	甲		

(女子)

○昭和三年三月卒業生

一圓	煙草專賣局女工	三年四月	五	乙	乙	手工八点	
----	---------	------	---	---	---	------	--

九十六錢	電話交換手	"	"	八	乙	乙	綴方一〇点 算手九点
二十三圓	銀行事務員	"	"	九	甲	乙	
九十六錢	電話交換手	三年五月	"	九	甲	丙	
不 定	仕立職(住込)	"	"	七	乙	甲	
九十六錢	電話交換手	三年六月	"	九	甲	乙	
九十六錢	煙草專賣局女工	"	"	五	乙	丙	裁縫 六点 手工
九十三錢	電話交換手	"	"	六	甲	乙	裁縫 八点
九十五錢	自動車々掌	三年八月	"	六	甲	甲	綴方一〇点 算手九点
十二圓	女 中(住込)	五年三月	"	六	乙	乙	

○昭和四年三月卒業生

不 定	製菓業(住込)	四年四月	七	乙	丙	珠算九点
-----	---------	------	---	---	---	------

"	仕立職(住込)	"	七	甲	甲	
二十一圓	銀行給仕	"	九	甲	乙	
二十一圓	"	"	九	乙	甲	
八十一錢	齒磨本舗女工	"	九	甲	甲	
七十八錢	"	"	六	丙	甲	裁縫工 八点
七十錢	湊町驛電話係	四年五月	七	甲	乙	理科 九点
九十錢	電話交換手	四年六月	七	乙	乙	裁縫工 九点
六十錢	自動車々掌	四年七月	八	乙	甲	
二十圓	商會事務員	五年二月	七	乙	甲	綴方一〇点 算手九点

第三節 就職少年體驗の聲

左記の言は簡なれども、卒業して既に職業に従事せる若人の日常心掛の一斑を窺ふに足るものがあるので茲に摘録して後進誘掖の参考に供する。

- 1、努力、力、目の修練
- 2、精勤、根氣
- 3、物品に眼が利き、口辯能きが最も肝要なり。
- 4、何でも一心に熱心に働いてゐます。
- 5、紙を粗末にせぬこと、機械を大事にすること、きれいなよい品をつくること。
- 6、品名種類質の良否等について得意先の質問に對して納得させるだけのことを知っておかなければならぬ。さうして適時得意廻りを怠らぬこと。
- 7、圖面を見て正確に製作しなければならぬから頭をしつかり働かさなければなりません。

金網業	浅野重一郎
自動車	酒井清
貴金屬品 販賣業	中西一雄
家事手傳	仁司喜美子
印刷業	土井亨
米穀業	岡本宗吉
電燈器具 製作業	阪井徳次郎

- 8、朝早起、客には親切第一。
- 9、物事に細心の注意、何事も敏速にかたづけ、氣軽く動くこと
- 10、何事も沈着敏速に、
- 11、唯まじめに、
- 12、辛抱強くすること、
- 13、機械にくるひがないかをよく注意した上で仕事にとりかゝります。
- 14、根氣よくやる、珠算の練習を十分に、
- 15、熱心丁寧なること、
- 16、念入りにすること、
- 17、機械を使つてゐる間は一心にその品物と機械の作用とに注意しなければならぬ、
- 18、丁寧に扱ふこと、
- 19、主人の氣に入られるは勿論ながら得意先の機嫌を損じないやうにするが大切です。

魚仲買商	宮本生男
呉服屋	川口保
事務員	田中イッ子
鋳業	合田武夫
家事手傳	中西ミツエ
アルミニウム 器具製作	今井榮太郎
貯金局 事務員	星野政治
理髮職	田廣一枝
和服裁縫	龜井ヤエ
アルミニウム 器具製作	大谷虎雄
寫真業	畠伸一郎

- 20、眞剣に働く、恥づかしがらぬこと。
文具商 竹内隆次郎
豆腐製造 柏原 孝
販賣業
- 21、朝早く起ること、配達を速かにすること。
材木商 橋本義春
- 22、労力は普通であるが、割に細密な技術を要する。客に親切にすることが大切。
壘 職 杉谷榮一
- 23、かげひなたなく働くこと、朝早く出勤すること、目上の人達に反抗せず、そしてかあいがら
れること。
瓦斯會社 小川信次郎
給仕
- 24、何しろ船荷証券を二十枚も三十枚も取扱ふのですから任務が重大です。氣をつけた上にも氣
をつけてまじめに働かねばなりません。
運送業 東 茂
- 25、自轉車にて通行中の注意金錢收授の際の注意、不良掛貸の出來ざるやうに注意等にて、特に
他業と異りたる注意を要すること無之候。
硫黄、鮮 石井正次
米商
- 26、落付、氣をきかす。
建築大 中祖善六
工業
- 27、健康で衛生に注意せねばなりません。
髮結見習 青柳登代子
- 28、仕事にかゝる前に先づ機械に故障がないかごしらべて置くこと、ベルトの掛外しや齒車の掛

外しは必ず運轉を止めてからすること、注油も修繕も同様のこと、服装をかつちりすること。

- 29、本數の數へ方を正確に、不良品を出さないやうにすること。
專賣局 石井サク
口付裝置
- 30、言語を明瞭に、動作を機敏にして目上の人と言付を守り物事を正しく整理すること。
會社給仕 道井壽夫
- 31、お客様のそばで大きな聲で話をせぬこと、お客様に對するサービス、禮儀正しく愛嬌よく。
言葉動作正しく、お客様を怒らせないやうに。
百貨店 奥井加壽枝
事務員
- 32、丁寧にすること、親切に、よく働く、家の信用を重んずること
洗張業 住野榮一
- 33、熱心と敏速。
アイケル 今西義雄
電球會社
- 34、冬の寒さに堪へる体の丈夫な人でなければなりません。
魚、青物商 杉本重次
- 35、主人を大切に、職業に忠實に、我が身を大切にすること、勤儉力行のこと。
洋服裁縫 太田政雄
- 36、親切、奮勵、努力、機敏、正直
商會給仕 米倉義寛
- 37、身体の健康、在學中に工業部でよく勉強して置くこと。
洋家具製 麻生虎一
造販賣

- 38、氣轉、人に可愛がられること、温順。
青果商 岩井信吉
- 39、度量衡器其他商品に注意すること。
米穀商 桐山英一
- 40、衛生第一、品行方正、時間勵行。
電氣局 西川カヅエ
事務員 杉本膳市
古金商 梶本膳市
より分け
- 41、大變な埃故月々新鮮な空気を郊外に求めること。
- 42、利を多くとらないこと、損をして利をとること、氣永くすること、親切にすること。
衣服商 石川梅野
- 43、客に親切丁寧、常に心を快活に持ち愛嬌を含み、温顔で接客、自己の感情を抑制すること。
自動車 鴨田キクエ
車掌
- 44、電話の掛け方聞き方を上手にすること、來客の應接に注意すること。
揮發油 酒谷喜三郎
會社給仕
- 45、先づ考へることですが、分らぬ時は職人なり親方に聞くことです、早くきれいに間違のないやうにすること、氣轉を利かし、つとめてあいそよく誰にもつき合ふこと、用事をいはれたら早く行くこと、をそくなつた時には事情を言ひます。
鐵工所 大西一雄
銀行給仕 園部逸子
- 46、虚榮に走らぬこと。

- 47、百貨店又は同業小賣店の陳列品に最大の注意を拂ふこと。 袋物製造 東端尋匡
- 48、落付いて丁寧書類をみることに、自分の書いたものについてもよく調べて誤記のないやうにすること。
裁判所雇 梶村吉
- 49、手を清潔にすること、客に對して丁寧にし金錢の受渡しに注意する。
鮮商 加藤正夫
- 50、客に對して親切を盡して言葉を丁寧にすること、家庭と銀行との間に通勤時間もきまつてゐますから道草などは致しません。
銀行事務員 井上きよ子
- 51、和製品と舶來品との識別及び加工に注意すること。
皮革貿易品 米田正次
- 52、常に目と耳とをよく働かせて機械に注意すること。
職工 森中春夫
- 53、説明をうまくしてお客に安心させること。買入を覺えること。洋品商 加藤博
- 54、買入に際してはすべての商人と氣安く交際し商人共通の符牒を暗記すること、賣方にては人各々の氣質に従ひて談話等すること。
青物商 篠源一郎
- 55、毎日身体の運動を適度にし夜は早く眼をやすめることが主なる注意である。

56、相當の腕力がある。物を細かく見る、すべて研究心を以て掛ること。油断するとやけどする。

57、寸法がこの職業の生命ともいふべきであるから間違はぬやうに精密に氣をつけること。實用本位といふよりは體裁本位の方が多から意匠が必要。

58、客を愛想よく迎へること。客を大切に扱ふこと、衛生を重んずること。

59、陽氣な性質で誘惑に打勝つ人。
理髮業 相本二三夫
料理業 澤田正夫

60、氣を四方に配つて常に注意して課長等のいひつけを機敏に實行してしまふ事が大切です。
生命保險 能勢京一
會社給仕

61、得意先の選定に注意、忠實に業に勤めてよい成績を擧げるやうに修養すること。
吳服商 久保英雄

62、品物の大小を區別する。地金の見分け、品物の置場を一定すること。
建 御崎正勝
金物商 助 高山繁藏

63、目と手を働かし、親切丁寧、落付がかんじんです。
自動車 助 高山繁藏

64、えらばらぬこと、誰にも愛想よくすること、何事も骨惜みをせず自ら進んでやるべきこと。

自分がやるべきことは出來得る限り自分でやり出來ない場合に上の人に教へを受けること、日常必要な常識のを知つて置くべきこと。人の傳言を正しく且つ明瞭に傳ふべきこと及び他人のいひつけをそむかぬこと。小使さん等にも親切にし同僚でも先輩の人に對してはそのいひつけをよく聞くべきこと。

65、コマぐしたところに注意がいらいます。
商科大學 增井宗太郎
給仕

66、誤配のなきやうに注意して迅速に。
電報集 岩永正男
配手

67、自ら怒らず、人を怒らせず、忠實にすなほにするが第一です。
遞信局 由比秀雄
給仕

68、言葉遣をきれいにすること、てきばきと返事をハッキリすること、何事でも分らない時は徹底的に尋ねること。
圖書館 松井正治
給仕

69、型をきれいにすること、鑄物を流しこむ時などはあはてずに手早くすること。

70、辛抱第一、他の仕事よりもえらい体がしんどいから。
鑄物業 吉田芳雄
大工職 松本俊次

71、寸法を違へずに、人に信用を受けるやうに。
裁縫 牧浦絹子

- 72、眼の確かな人、初めは大變つらいがそれを辛抱し得る堅實な人 轉寫印刷 柏原武明
- 73、主人の信用を得ること。何事も如才なく働き、ハッキリ物をいひ、腹を立てたり不服をいはないこと。かげひなたなく真面目に働くこと。
會社重役方 生 綠川正之
湯葉製造 販賣 法覺徳衛
- 74、絶對的忍耐力を必要とする。
貯金局 中野時夫
指物業 廣瀬正雄
- 75、通帳類は文書と異りその記號番號なるものに類似のものが多いため餘程注意して執務せないことよく間違ひます。
女工手 川上藤枝
米穀商 新市造
新聞聯合社 給仕 井上正次郎
- 76、努力と丁寧とを主義とす。
理髮業 湯淺勇
- 77、速く丁寧に美麗に仕上げて行くこと。
- 78、分量を正確にすること。
- 79、時間を守ること、敏活にすること。
時計修繕 販賣見習 田中秀夫
- 80、理化の知識が必要、運動をせずに家の中での立仕事であるから体が強健でなければならぬ
理髮業 湯淺勇
- 81、時計は細かい機械物のことであるから細心の注意と手の器用とを要する。

- 82、職工のいやがる事をいぬが第一、よそ見をせずよく品物に注意すること、仕事がすむと後をよくきれいにしておくこと。
捻鋳製造 北垣内正治
- 83、得意先の顔色を見ることが必要、あんまりしつこく丁寧にいつてもいやがられますし、無愛想だといけませんし、あつさりと氣持よく相手方に應じて臨機應變にやらなくてはなりません
西洋洗濯業 桑津篤
- 84、あはてものではないけない(斷ちぞこないをするから)色柄物の織疵を見たりするのに色盲ではないけない。
羅紗製品 卸商 中山賢一
- 85、職務に熱心忠實に、加入者に對して親切。
電話事務員 中河地富子
- 86、物にあきないこと、体の達者なこと、手の強いこと。
舌かき職 みがき職 澤正次郎
- 87、返事は大きいぐらゐの聲ではつきりと、返事と共にすぐに立つこと、人にやわらかに接すること。
銀行事務 見習 長谷川光子
洋家具 塗工業 藤川貞男
- 88、念を入れて順番にちやんとすること。
- 89、時間を徒費せぬこと、針を粗末にせぬこと、誠意をこめて仕事をする事。

90、目方の正確、金錢の正確、お得意に不愉快な感じを與へぬこと。帶鉄商 寺脇岩雄

91、乗客に温顔をもつて接すること、親切丁寧を旨とすること、禁止的又は命令的嘲弄的の言動をなさざることをなすこと。
電車々掌 西田政太郎

92、主に月掛ですから帳面を附け落ちせぬこと、客に第一にきれいな家氣持よい家であるといはれるやうに、配達を速かにすること。
鮮並出業に 堀田宗雄

93、特に宮廷(皇室)に關する原稿を拾ふのを間違はないやうにする。
新聞社 奥村敏夫

94、目の悪い人や脚氣の人などはいけません、機械仕事ですから動作のきびんな人でなければならぬ。
石版印刷 西田圭太郎
見習工

95、はかりを正確に、機械は各所に朝一回づ、注油すること、得意先で炭をあげた時に必ずよこしたところをはくこと。
炭酒香油 吉川好次
米穀商

96、原料(鱒、ウルメ、鯖、鰯節、本節等)の見分けをすること、機械を使用するとき動力に注意のこと。
削鯉商 下川昇

97、客に親切丁寧が第一で、娛樂場故に多くに客には悪感を與へないやうにすること、貴賤男女

平等に扱ふこと。

松竹座 花岡正一

98、時計業を希望するもの、大抵は奇麗な商賣体裁のよい職業と思ふてゐるが、其の實手先の汚れる餘り感心したものでない、責任の重い、そしてむづかしい仕事である。

時計修繕 吉見明
販賣業

99、出版元の商標を知ること、著者及び内容をみて賣場をきめること。

書籍商 古木正次郎

100、なか／＼安樂に生活は出来ぬといふことを覺悟して職業に従事すること。

材木商 湯川仁世見

◎ 來 信

○ 先生いろ／＼と御親切にお尋ね下さいまして有難うございます。卒業せる僕は先生の高恩をかげながらに御禮を申して居ります。御親切なる先生の御手許を離れまして荒波の如き世間へ出たときにはかげでいくら泣いたか分りませんでした。學校に學んでゐた時の事を思ひ出しては先生の有難き御教へを今一度受けたいと思ひます。
○ 拜啓其の後は御無沙汰致して居ります。何のお變りもありませんか御尋ね致します。つきまし

ては今の職はあまり思はしくありませんから他に良い口はありませんか、今の職が別に苦しいから又いやになつたからといふやうな事は更にありません。唯この様子で進行すれば四年五年経つても別に現在とあまり變らないと思ひます。それより他で四五年うでを磨いた方が先でよいと思ひますから御伺ひ致したやうなわけです。亂筆はおゆるし下さい時候變りに御身大切に。

○ 拜啓御無沙汰致しました僕も今は一生懸命に働いてゐますから御安心下さい。僕の仕事はなか／＼面白い仕事です。僕は毎日貨物証券といふものを持つて走つてゐます。いつも千圓位の價格のものを持つてゐますから任務は重大です。……………僕の親友西田君は市電の車掌さんになりました大層うれしがつてゐます。僕もうれしいです。先生もう僕等の在校時分の一年生は卒業しましたね、僕も卒業時分の事が思ひ出されます。僕は時々得意先の荷主さんにえらさうにせられる時があります。だ／＼相手は大商店の主、こつちは運送店の小僧、えらさうにされる時に僕は「今に見ろ」と言ふ氣で居りますから何も腹は立ちません。今僕は早稲田の中學講義録を讀んで居りますが、それが濟むと同じく商業講義録を讀まうと思つてゐます。先生もお体を御大事に、失禮致します。

○ 先生永らく御無沙汰致しましてまことに相済みません。先生には御壯健の事と存じます。私

は御蔭様で達者で通勤して居ります故御休心下さいませ。母校を出てから早や一ヶ年経過致しました。光陰矢の如くとか今自分の歩んで來た道を振り返ると過ぎし日が懐かしくなります。あの思出多い教室で先生のお話を聞き友達と楽しく語り合つたりした事が思ひ出されます。二度と來ないあの卒業式の光景が今尙眼の前にちらつきます。近頃殊に學校の夢を見て仕方がありません。一度學校へ寄せていたゞかうと思つてゐます。……………

○ 拜啓初春の候に御座います。校長先生淺井先生始め諸先生は御無事ですか。私は元氣で毎日母校時代の校長先生淺井先生の御教を胸に仕事に勤めて居ります。長らく御無沙汰致しましたことをお許し下さい。此度私筆卒業生の爲に母校との連絡をして下さる事を喜んで居ります。近いうちに母校の方へ寄せていたゞきます。何分御身大切に御健康をお祈り致します。

○ 光陰矢の如しと再び春を迎えました。今日此頃御先生には如何遊ばされるやらと御懐しく存じます。卒業後は一向に御無音に打過ごして居りますが在學中の御教訓は一日たりとも忘れることなく確と肝に銘じまして母校の名を傷けるやうな事があつてはならないと努力致してゐますから何卒御安心下さい。今更學窓の往事を追想致し更に又先生の御厚情を懐かしく思ひます。時計は夜の静寂を打破つて四時を報じてゐます友達は安堵してすやく／＼と疲れを休めてゐ

ます。休ませていただきます。

○ 先生何卒御許しを、四月十日までに就職をお知らせの筈。一ケ年も御無沙汰。何とぞお許を、先生御變りは御座いませんか。僕は日々勇猛精進して働いてゐます。學校でなまけたことが今後悔の山となつて居ります。先生の御教訓を今一度受けたくなつてまゐります。紹介所の方の御心配をもありがたく思つてゐます。……………

○ 拜啓先日は御手紙有難く拜見致しました。御校を出で、後はいろ／＼迷ひましたが、在學中の先生方の御教訓を思ひ出して一路我が思ひ通りに進みました。お蔭をもちまして世間へ第一歩を入れました。其の後先生方には皆々様御達者でゐられますか。在學中は色々御手数をかけ御厚恩を感謝致します。……………

○ 誠に長らく御無沙汰致して居ります。先生には入學前の事とて御多忙の事と御察し申し上げます。私も御蔭様で卒業以來一度も病氣せず無事に働いて居ります。卒業後實社會に出て先生の有難さが學校當時より増して心から喜んで居ります。そのうち一度學校へよせていただきます。……………

○ 櫻の花も咲き初めい、時候になつてまゐりました。先生には相變らずお元氣で御奉職の事と

存じ上げます。在學中には一方ならぬお世話になりながら卒業後一度の御禮にも上らず失禮の數々何とぞ御許し下さいませ。又此の度は御熱心なる御調査の由卒業後もなほ送り出した子供等のことにお心を寄せられる先生方の御熱心さに家族一同誠に心から感謝致して居ります。本人も一度在學中の御禮にも伺はせる筈でございますが、僅か月一回の休日でもそれも第三日曜故その機會もございません。當日は朝十分に眠る時間を與へてゐます（それは毎夜早くて一時に、少しおそくなるさう二時といふやうな時間までつとめねばなりません故）……………午後は家庭へ歸つて久しぶりに食事を共にします。お小遣として二圓頂きますが、其の中一圓は強制して蓄へるやうにどの御主人の御言葉故、一圓では一ヶ月とても足りませんから必要な時に宅から與へて居ります。年に二回御贈物として二反の着物とシャツ等頂いて居る様でございます。家に居ります間こんな子供が奉公などつとまるか知らと思つて居りましたが、おかげ様でいやだといふやうな思ひを起した事は一度もない様でございます。両親もそれだけには喜んで居ります。御身すこやかにお過ごし下さいませ。（姉より）

○ 悪筆にて一寸御免下さいませ。其の後は誠に御無沙汰に打過して居りました。誠に失禮の段平に御許し下さいませ。子供有朋の通學時代には一方ならぬ御厄介に預りまして誠に感謝致し

て居ります。又卒業後も子供の行末をお按じ下さいまして御尋ね下され有難く存じます。昨年卒業後五月から金物問屋へ奉公に出して居ります。まだ御主人からも何不足無しに務めて居ります。御手紙は有朋の所へ送りましたから子供の方から御返事致しますでせうからよろしく御願致します。誠に無筆にて恐れ入りますがこれで失禮さしていただきます。(母より)

眞の幸福は勤苦と奉仕とを両輪とせる車の上
のみ積まれるものである。
(著者)

第四節 雇傭主へ挨拶状發送

上記の調査に基いて昭和三年三月の卒業生中八十六名、全四年三月の卒業生中七十六名及び昭和五年三月の卒業生中八十四名、合計二百四十六名の外勤者に對してその雇傭主に左の挨拶状を發送したが、回答に接したのが六十二名であつた。

拜啓

益々御清榮の段奉賀候扱貴方に勤務罷在候弊校卒業生()に就き何かと御高配を辱ふし誠に有難く存候何卒立派に立身致候やう御引立の程偏に御願申上候右御挨拶申上度如斯御座候 拜具

昭和五年六月

校長

殿

追申

弊校兒童教育上參考の爲左記各項について御腹藏なき御高見を拜承致度候間御手数ながら御

回答を賜はりたく此段御依頼申上候

- 一、貴方の少年（又は少女）御採用の一般方針及びその方法
- 二、弊校卒業生御採用決定に際しての御感想
- 三、貴方に於ける本人の勤務振り及び性行に對する御所見
- 四、貴方に於ける勤務者の待遇標準
- 五、修養、保護、福利等に關する御施設
- 六、高等小學校卒業生御採用について學校に對する御希望

（以上）

第五節 雇傭主の回答書抄録

○ 少年（又は少女）採用の一般方針及其方法其他五項照會の件回答
昭和五年六月十日附御照會相成候標記の件別紙の通及回答候也

大阪市電氣局

一、年齢

電車車掌助手（少年）ハ滿十四歲以上十六歲六ヶ月未滿

自動車車掌（少女）ハ滿十五歲以上二十歲未滿

學歷

少年は高等小學校卒業以上

少女は尋常小學校卒業以上

試験

學科試験（國語算術）及身體検査（身長少年一四八糎以上一六四糎未滿、少女一四〇糎以上
一五七糎未滿体重少年四一疋以上少女三七疋以上視力言語等完全ニシテ色盲、眼疾、吃音、

疾病ナキモノ

人物檢定(可成愛嬌アリ言語應對ノ快感ヲ與フルモノヨリ採用)

備考 市内ニ父母、叔伯父母、兄弟等ノ直接監督者ナキモノ相當ノ保証人ナキモノハ採用

セス

二、良好ナル兒童ト認メタリ

三、教習中ハ熱心ニシテ人物良好且執務成績モ良好ト認メタリ

四、電車車掌助手ハ日給一圓以上一圓六十錢以下

自動車車掌ハ日給八十錢以上二圓五十錢以下

月手當約十圓 三ヶ月皆勤セシモノニハ賞金三圓

勤續二年ノ者ニハ年額二十圓以後一年ヲ増ス毎ニ金十圓ヲ加給シ年額百五十圓ニ至リテ止ム

昇給期ハ毎年二月、五月、八月、及十一月ノ四回トス但シ車掌及運轉手ニシテ在職二年以下

ノ者ハ昇給期ニ拘ハラズ昇給セシムルコトヲ得

昇給ノ停年月及成績調査期間ハ左ノ區別ニヨル

(一) 在職一年以下ハ四ヶ月

前四ヶ月間ノ成績

(二) 其ノ他ハ六ヶ月

前六ヶ月間ノ成績

在職二年以下給料標準額表

在職年數	職別	
	電車々掌助手	自動車々掌
四ヶ月	日給 一、〇五	日給 〇、八五
八ヶ月	一、一〇	〇、九〇
一ケ年	一、一五	〇、九五
一ケ年六ヶ月	一、二〇	一、〇〇
二ケ年	一、二五	一、〇五

電車車掌助手ニハ帽子、冬服、夏服、外套、靴ヲ貸與ス

自動車車掌ニハ帽子、冬服、夏服、靴、脚絆、ホワイトシャツ、ネクタイ、カラー貸與ス

被服ハ之ヲ貸與シ保存期間滿了シタルトキハ靴、ホワイトシャツ、ネクタイ及カラーハ之ヲ

給與シ其ノ他ハ之ヲ返納セシム

五、少年ハ初メ電車車掌助手トシテ採用スルモノニシテ車掌助手中ハ全部運輸少年團員トシテ訓

練（毎月一回神社佛閣參拜ノ如キ郊外訓練又ハ修養講習會）ヲ受クルモノトス
 少女ハ自動車車掌トシテ採用スルモノニシテ乙女會ナルモノヲ組織ス其ノ他一般従事員ト共
 ニ共濟組合員トシテ災害疾病等ノ救助ヲ受ク春秋ニ局主催ニテ慰安會ヲ舉行シ春季ハ旅行秋
 季ハ觀劇ニヨリ日々ノ勞を犒フ、夏季ハ共濟組合ニテ海水浴場等ノ設備ヲナシ体育獎勵ニ努
 ム

六、社會ノ組織、國家又ハ市町村ノ公共的事業ノ性質等ヲ明ニシテヤ、モスレバ個人的ニ流レ易
 キ弊ナキ様協同生活ニ關スル智識感情ノ養成ニ一層努力アラントヲ望ム

○ 洋服 商店 主

洋服裁縫及び商業の見習を年期で適齡までに修了させるのであります。本人は採用當時（昭和
 三年三月）より現在迄一意専心職務に勉勵、正直な事は他の模範です。毎日朝は八時、夜は十時
 までの勤務で休日は月に二回として居ります。年三回運動會又は旅行の催をします。貴校の眞面
 目なる御教育に感謝、ペン字の練習及び算盤の熟練を希望します。

○ 直輸入業商會大阪支店

弊方は歐米直輸入業に付語學の素養を必要とし、社員は凡て高等専門學校卒業生より採用せる

も兎角商賣が書生式に流れ遺憾の点ありとして晩近幾分採用方針を替へ、小學卒業生たりとも彼
 等に語學并に實地修練を積ませて將來有用なる社員に養成せんとするに傾けり。現に小學卒業よ
 り給仕に採用され漸次昇給し社員中有材と認めらるゝ者有り、學校は人物を造らすの至言なるを
 思ふ採用方法は人物考査に重きを置き學科成績を第一義とせず。

本人の勤務振り甲下、性行申分なし

本社にては小學校卒業生は給仕として採用する外に途なし。初給二十圓位、朝社員より一時間半
 位前に出社掃除をなし他の社員出社三十分位前迄に之を了し、晝間は使ひ走り郵便局通ひ發信書
 の記録等をなして午後五時頃退社、初給より半期毎に二圓乃至三圓昇給、然し近來は不況の爲昇
 給遅れ勝ちなり。本人の勉強次第にて準社員、社員と昇格し將來一家を養ふ事を得るやうに配意
 す。従業員福利増進施設に關しては目下幹部間の問題となり、現代思想を取入れたる完全なるも
 のに致度と計畫中なり。

小學校は兒童の發育期に最も留意すべきものと認む。德育智育は勿論等閑に附せらるべからざ
 るも体育は尤も肝要にあらざるや近來政治の如き明るく正しくといふやうなる事盛に唱へらるゝ
 も之は政治のみに限らず小學校教育の如き兒童をモット明るくして元氣旺盛の子供をつくられた

し。小學校卒業後直に社會に出る子供等は家庭上の暗影に禍ひせらるゝ關係にや多くは會つて暗い感に打たるゝは小生一人の感にあらざるべし。會ふて話して明るき感じのする子供の多數輩出さるゝ事を熱望す。

△ 父なきもの 八十六名、母なきもの 四十九名、父母なきもの 十二名計百四十七名……
……全兒童數の二十一パーセントに當る。
(難波高等小學校昭和五年度調)

○ 大阪朝日新聞社印刷局

社内に確實なる紹介者ある者、身体強健なる者、學力高等小學校卒業程度以上の者、思想穩健なる者を身体検査、筆答試験、面接等により詮考の上採否決定、當人は入社採用の際學力良、体格中、人物良、現在は同期入社者の者の中以上の所に位す。本社活版科見習初任給は月二十二圓、外に年二期賞與、作業服支給、修養福利施設としては圖書貸出、講習(英語、國語)、講演、本局診療、理髮、入浴、食堂設備あり、貯蓄金融廉賣共濟救濟慰安會運動會等の施設あり。

純なる性格をもつ快活なる兒童、注意力と判斷力のある兒童、野外運動に興味ある健康兒童、年齢の割合に世才に長せざる兒童を望む、以上簡單ながら御返事申上候。

○ 洋家具塗工業主

比較的はげしい勞務なれども當人は温厚で實直によく働いてゐる。性行上に欠点を認めず。職習が目的であるが既に相當の給料を支給してゐる。こゝ二三年すれば自活が出来ると思ふ。何分小職業の事なれば學歴成績よりも温厚篤實な眞面目な人を望みます。

○ キハツブラシ製造發賣店主

適齡までに一人前に仕立、滿期の際相當の積立金を以て獨立營業の出来るやうに仕向る方針、親族より貴校卒業生は徒弟小店員に宜敷きを聞き御願せしもの、當人は素行純にして勤勉のものに御座候

○ 定年まで逐年増給、夏冬仕着

○ 各種金物御商店主

年少者を採用する事は、最初は種々不便を感じますが前途を期待するが故です。忠實不變勤續すれば一家を構へる場合援助を與へる方針であります。現在は當人が極眞面目に働き温顔、年長者の命によく従ひます。將來に於てこの行動と變化なき事を望みます。

第一第三日曜を公休日とし毎月末に適當の小遣錢を給與す。店則として公休日外は必要以外に出を許さず就寢十時と定む。夜間は營業せず故に就寢時迄は讀書等も自由に出来る。疾病等の際

は可及的攝養をなさしむ。

貴校に過般卒業生會を開催せられました際に本人の出席希望により快諾して參會せしめました最も有益なる集會と思ひます。願はくば毎年一回位開催御教訓御指導の程切望致します。

以上記事に不詳且又御參考資料になる事あれば御遠慮なく仰付下されば御要求に應じます。尙亦詳細の所見等は弊店より學校に出掛けてもよろし。

○ 海産物委託問屋主

奉公當時に小用に使ひ段々慣れるに従ひ商業道を教へ徴兵検査濟み一身上に異動なきを見定め獨立して商業を致さす事に定め居り候今迄に二名實行致させ現に一万圓程度の資産をつくり居り候

御校の教育方針宜敷と思ひ居り候當人も極精勵致し居り候

○ 綿布問屋主

身体强健學業成績八点以上にして將來商人として適せる人物を考査の上決定、長男よりも次男以下を歓迎す。當人は性質温良勤務振忠實に付仕事に慣るれば相當の店員となり得る者と思考、當店は住込にして食事、風呂及び輕微の病氣療養費は店の負担とし、外に一ヶ月初任給金五圓を

支給し今の所その半額を銀行へ貯蓄せしむ。商業實務學校へ店費を以て通學せしめ將來有爲の店員たらしむべく養成しつゝ、あり。期末決算に際しては店の成績により多少の賞與金を與へ毎月の強制貯金と共に將來本人の資産を蓄積せしむ。

經濟界の進歩發達に伴ひ普通高等小學校卒業程度の學力にては基礎知識不十分なるも實務を練習せしむるに於ては最適當の年齢に付晝間店務に従事せしめ夜間通學を許して甲種商業學校程度の學力を授け時代に遅れざるやうに爲さしむる方針を以て養成罷在候條將來の生徒御教育上に於ても其邊御含みを得候はゞ幸かと存候

第一、總ての資本たる强健の體格を保持するやう

第二、實業家として身を立てんとする以上は一家を成したる上餘力が生ずるに隨ひ國家の爲に奮闘努力するの精神を養成せられたき事

第三、我が國の實業家は左の金言を心に銘記するの要ありと存候

海外より得たる一握りの黄金は、内地に於ける舟一ぱいよりも貴し。

○ 木型業主

本人は性質温厚熱心に勤務してゐます。徴兵適齡迄徒弟として使用中は衣食住を支給し毎月二

回若干の小遣を與へ漸次に増額して、簡易保險に加入せしめ尙外に定額の郵便貯金をさせることにしてゐます。

○ メリヤス卸問屋主

年頃は適當であり特に商業に必要な學科を修めて居るから非常に都合がよいと思ふ。本人忠實に勤務、性行は正直、今少し行儀の矯正を望む。

○ 菓子製造業主

初は見習なれば小遣金を少額與へ衣食一切當方持ち、一人前に出来るやうになり次第月給制度にして相當年齢には獨立營業さす事、當人は温厚にして明るき性質、業務に熱心な方です。

○ 印刷業主

少くも高等小學校卒業以上でない店員としても徒弟としても常識其他に困りますので近年の方針で採用して居りますが大阪市内の者は入店後直様用を便するから都合がよろしい。然し馴れるに従ひ要領よく用向を他人に押付ける傾向があつていけません。當人は今のところ先づよい方です。

初任小遣四、五圓、半期賞與、全部仕着せ、待遇は割方他よりよい方と思ひます。食事もよい

方です。毎日曜日休みです。

卒業して就職に困つて居る人々も有る様子です。出來得る限り御斡旋を願ひなるべく學校と連絡をとつて將來善き人物を一人にても多くつくるやうに御努め下さる様希望します。十八、九才から二十一、二才までの間に方針を誤る者を多く見受けれますから年一、二回でも學校に卒業者(勤人)を會合せしめて御指導あれば結構なこと、考へます。

○ 金物商店主

本人は平凡、給料制度、年末配當、休日第一、三日曜及び祭日、營業時間午前八時より午後五時まで、夜學の便を與ふ。夜學に通はぬ者には珠算習字の練習を奨励す。午後十時消燈す。貯金(大阪貯蓄三ヶ年掛)奨勵

○ 株式会社アルミニウム製作所

近時職業指導の聲喧敷折柄弊所は本年採用大學出身二名中等學校出身二名高等小學校卒業三名合計七名にて、希望者を先づ工場内に募集して履歴書戸籍謄本通信簿成績証明書等を人事に於て内査し、實業界に適切なりと認めたる者は一定の日時に召集し人事が之を口頭試問をなし風丰動作言語品性等を觀察し合格せしものは重役接見テストを行ひ本人退出後適正と認めたる者に對し採

用の旨傳達の順序となる。

當人は言語明瞭、動作機敏、從順にして立ち廻り適當、成績良好にてよく間に合ふ人であり將來實業家として立つことを得べしとの見地より採決せり。

就職以來早起早寝、能く年長故參に伍して批難なく掃洒も亦入念、性行純良、今日の處好成绩を示せり。

初年給月俸十三圓とし住込をなすものとす。毎年末其成績を按じて五圓乃至八圓昇給するを普通とす。

夜學に通學せしむ。時々社長より其人其人に對する訓示あり。將來一家構成資金として備荒貯蓄を行はしむ

珠算に練達せしむること、商業作文を熟達せしむること、徒らに形式に囚はれずブラクチカル手腕を有する者御教育のやう教育的重點を置かれたし。

○ 合資 鐵管繼手商會

採用方法は從來緣故採用である。本人は地方出身小店員に比較し萬事に抜目なき勤務振で、都會出身小店員の弊風なる輕薄なる所なし。

初任給住込にて八圓、強制的に夜學に通學せしむ。適齡を以て店員の資格を與へ相當の給料を支給す。特別出資金を認め店主同様の配當をなす。

○ 内外硝子商店主

弊店の雇人採用上最も要點とする所は本人が正直、身体壯健にして義務教育以上の學歷を有し、當商を希望する意志の強固なる事である。但し始めての奉公に限る。

目下當人は至極眞面目に勤務致居候性行としては快活單純なれども稍ソ、ツカシキ点有矯正に努め居り候

弊店は私奉公時代よりの例に依り始めの間は衣類附屬品全部に小遣錢を支給し年々店務の進むにつれ相應の身の廻り品及び月給を支給す。休養は毎月一日十五日の夜間廿一日及び祭日は朝より本人の自由とす。

なるべく間食をなさず一定の時間に起居するやう躰け居り候貯蓄を勤む。

○ 合名 教育用具商會

眞面目なる店員を養成し店務の能率を計る爲め出来る限り知人の紹介に依り選定す。當人は當

店勤務中の兄の依頼により採用せる者にて殊に履歴書中貴校卒業なる事を見安心して決定せり。本人の性は眞面目にして忠實、初め一ヶ月は見習をれより店員として本採用、勤続五年以上（凡そ二十才位）にて番頭格に登用、年二回の賞與を與へ且つ年一回の利益配當をなす。月一回登山會を催す。月給の五分と利益配當金の半額とを當店にて積立てしむ。

○ 株式会社 書籍商店主

可成高等小學校卒業以上の程度にして身体強健、品行方正、意志の堅固なる者を採用し、其の方法としては別に試験的制度は用ひません。本人は先づ誠意を以て事を處理し柔順の氣風にて醜惡の巷に往來する等のことは耳にしません。趣味としては野球、ピンポン、時に映畫見物位のものです。

最初は見習、雇員、社員補、社員と順次昇任し受持の仕事を担当變更します。修養上には幾多の書籍あれば各自の希望に委せ書見を許してゐます。

○ 吳服商店主

少年時代より業務に就いて修練を積んだ者が確實なる商人となれる。それで少年を採用することにしてゐる。當人は性行良好規律的によく立働く。本業に適當と認む。弊店則是徴兵適齡迄を

修業期間として毎月の費用實費にて支給し、夜間は商業學校へ通學せしめ居れり。

貴校に對しては、當人のそれ以上の希望無し

○ 花緒商店主

實業に従事し最も立派なる精神をもつ一人前の商人にすること、家族温情主義の下に相當年齢迄責任を以て店に勤務さす考なり。當人は比較的温順なる性質にて業務に表裏なく活動し商人となる希望に満ちてゐるものと見受けらる。個人營業なれば會社等の待遇とは相違し、初任五圓の小遣を渡し年々貳圓位を増し、毎年一度決算には相當の賞與金を與へ獨立營業の資本として積立てしむ。夜は殆んど當人の希望により自由に勉強せしむ。

無暗に途方もなき空想に近き望を持つ少年又は多少惡思想に感染せるが如き者などが見受けられるから、その方面に注意して落着ある眞面目なる少年に教育せらる、事を私は希望するものであります。

○ 日本生命保險株式會社

一、貴方の少年（又は少女）御採用の一般方針及び其の方法

出身學校の推薦を受け面會、試問、身体検査を行ひ大体左記の條件に適合せるもの、内より

採用す

一、成績の優良

一、身体の強健

一、思想の穩健

一、家庭狀況の良好

一、確實なる二名の保證人

二、幣校卒業生御採用決定に際しての御感想

温順、眞面目にして將來本人の精勵により相當役立つものと思へり

三、貴方に於ける本人の勤務振り及び性行に對する御所見

勤務振 良

性 行 良

四、貴方に於ける勤務者の待遇標準

初任給 十八圓（甲、乙俸共）位、毎年定期昇給の外半期毎に賞與金を支給

五、修養、保健、福利等に關する御施設

毎年定期体格検査の施行、疾病傷痍に依る休養規程の制定、日本生命濟生會無料診察、獨身者に對し郊外健康地に於ける寄宿舎の設備、有馬に於ける健康保全の清遊俱樂部の設備、相當年限服務精勤に對する恩給支給方法等

六、高等小學校卒業生御採用について學校に對する御希望

思想穩健、上長に對して温順且つ快活、常に執務に付眞摯の態度を持し向上的精神を有する様御教育を望む

鐵 工 所 主

本人をして社會の一員としてなすべき職業を自覺せしめ私方に何時如何なる事によつて事業を捨つるも當人に於て尙生活に支障を來らしめざるやうに爲すこと。その爲には當人の修業程度より以上の仕事にあたらしめつゝあります。當人の現在の勤務振りは申分ありません。然し意志の働きが少し弱いやうです。修業中の者として優遇はして居りません。同業者の見習工に對する例に照し日用品を買ふに豊かに遊ぶには足りない程度の手當を支給してゐます。

學問の不十分な子弟はせめて動作言語等に於て十分に訓練を加へられるやうに軍隊的生活を鼓舞して下さい。

○ 湊 町 驛 長

身体検査と簡單なる學術試験とを行ひたる上採否を決す。但鐵道従事員の推薦せる鐵道従事員の子弟又は近親者を優先採用の方針なり。御校卒業者某子は勤務振至極眞面目にして而もハキ／＼せし處あり性質温良同僚間の氣受も頗る良。小學校卒業者初任日給男一圓五錢（滿十八歳を標準として十八歳未滿者は相當減額す）女子六十五錢乃至七十錢、男子には制服を、女子には事務服を貸與す。男子は採用後約六ヶ月間（毎日一時間程度）執務上必要な講習を行ふ。時々精神修養講話會を催す。鐵道病院治療所等醫療上の便あり。隔年一回定期健康診断執行。共濟組合の組織あり。

忠實熱誠に服業する様精神教育を施されん事を望む。

○ 山 口 銀 行

學業優秀品性温良身体強健にして淳朴なる家庭に育ち志操堅固にして永年勤績の見込ある高等小學校卒業の者を採用す。大阪市内に在りては當學校長よりの推奨に依り大阪市中央職業紹介所の選擇を経たる後其紹介を得て一々本人に面會し且當行々醫の健康診断を行ひ總てに於て優良と認むる者を採用するを以て原則とす。大阪市の外學校卒業生採用の場合は紹介所を経由せず。

前項の條件に適合せるを認めて採用せり。但本年は他の條件は申分無きも行醫の診断に遺憾の点多かりしを惜む。

今日迄は其支店及係より彼此の批評を聞かず皆眞面目に勤務し居ると認む。

初任者は見習と稱し男子は月手當金十圓及精勤手當十二圓計二十二圓を給し女子は計二十圓を給す一年に二期賞與を給し又漸次昇給せしむ。男子は行員となり女子は女事務員として昇進の途を開く。

男子は入行後一ケ年は當店教育部學校にて後一年半は大阪實踐商業學校に委託して教育を施し乙種商業學校卒業の資格を得せしめ且相當の待遇を與ふ。女子には此の如き制度無し。

保健に關しては常設の備へ無けれども行醫及契約の病院あり隨時無料診察を受けしむ。行員としては互助會等の設あり。

男女共其態度言辭等に於て相手に好感を與ふる者。男子に於ては學校教育を施す關係上特に仕込甲斐ある者を希望します。

○ 右大略御回答申上候

大阪鐵道局湊町機關庫主任

中等學校出身者たる小學校出身者たるを問はず一律に採用試験（學術及人物考査）を施行し其成績優秀にして體質健全（特に視力及聴力の完全なる者）品行方正なるものより採用することに居ります。

本人採用の際に於ける志願者數は一府五縣下より三十餘名ありましたので採用試験を施行しましたが其の結果當人は第一位の成績を占めてゐたので前途有望と認め採用することにしました。

當時の成績算術八〇・講讀八二・作文九五・人物考査九〇・採用以來の本人の勤務、成績は至極良好であります。既に敎習所入所試験に合格し機關助手科を終了目下見習になつて居ますが不遠機關助手に採用雇員になります。性質も温和で品行も至極良好なるものと認めて居ります。

待遇は鉄道省で定められた一定の標準に據るもので年齢滿十四歳、九十三錢とし一年を増す毎に三錢を増し十八歳以上ならば一律に一圓五錢に採用します。就職後七ヶ月にして試験に合格せば敎習所機關助手科に入所せしめ三ヶ月にして終了し機關助手見習となり三ヶ月の後機關助手となり雇員となります。以後本人の努力次第にて機關手となり或は高級技術員となることが出来ま

す。

機關庫は機關車を取扱ふ所であるから其機械の構造作用を會得する上に於ても作業の性質より

云ふも特に數理の思想に富むものでなければならぬので學科の中でも第一に數學に重きを置き次に國語や綴り方を見て居ります。故に試験の結果例國語や綴り方が良好でも算術が七〇点以下では採用を見合せて居ります。それは就職後幾度か試験を受けて昇進せねばならぬが數學の出來ない者は到底昇進の見込がないからでもあります。故に此の点に御注意が願ひたい。殊にこの頃は中學校工業學校商業學校又は鉄道學校等の出身者が多數志願して居りますから普通に小學校を卒業したものはなか／＼選抜試験に合格することが困難であると思ひます。

○ 大阪貯金支局人事係

最近高等小學校を卒業したるものにして身元確實身体強健素行善良且永年勤続の見込ある者の中よりメンタルテストの成績順に採用す。當人等は何れも性温和にして勤務振普通、所謂事務員見習の男子初給は日給八拾錢にして女子は全七十六錢、給仕高卒女は六十錢とし何れも六ヶ月乃至一ヶ年にして増給し尙相當勤續者は判任官に昇進せしむ。

修養施設としては名士の講演一回、各工場其他見學、女子訓育（講師は女子師範敎諭）週一回、武道野球庭球水泳等隨時、福利に關しては共濟義會購買組合等あり。

○ 高島屋人事課

容姿端正なる者、身体強健にして眼鏡を用ひざる者、學力中以上なる者、家庭圓滿にして成るべく男子は長男にあらざるもの、市内に確實なる保証人たるべき親戚知人あるものを採用する方針である。當人は勤務振り良好、性行普通、待遇は高等小學卒業の女子日給七十五錢より八十五錢程度、希望社修養會名士の講演會開催、店員の診察は無料にて行ふ。慶慈會、保健所、俱樂部の設けあり。

○ 大阪中央電話局土佐堀分局長

貴校出身某子は性質温順操行善く勤務振良好殊に身体強健にして欠勤等無く局員として優良なる者に有之候。

待遇標準は最初三ヶ月間は見習として手當月額約十九圓事務員は初任日給八十七錢乃至九十錢、爾後六ヶ月若くは九ヶ月目に三錢乃至五錢宛増給、外に勤勉手當(年四回)月額平均八圓乃至十圓支給、勤務時間一日七時間半、八日に一日宛休暇。

相愛家政補習學校委託修學(宵間通學)、裁縫生花茶道專任教師を置き毎日教授、割烹音樂は月二回宛講習、各種雜誌圖書備付隨時閱覽、室内遊戯具備付、毎週定日醫師診療等の施設を爲せり。

第十二章 農村に於ける職業指導上の特別注意

一、農村振興の使命の重要性を覺知せしむること。

地方農村の人々が農業に従事することを厭ふて都會へ集る傾向がだん／＼甚だしくなつてそれが爲に農業の不振を招いてゐる地方が少くない。されば今や農村では到るところ特に進取的に犠牲にその振興の爲に努力を惜まない有爲の青年に期待する事が大である。……我が國の産業上最も重要な地位を占めてゐるこの農業を益々盛ならしめて、國民の生活を安定せしむる上に貢献しようといふ信念をもつて之に従事する人を渴望してゐるのである。と拙著「職業指導職業研究の棗に」記述して置いたが先づこの旨意を十分に覺知せしめたいものである。福岡縣の宗像郡神興村の場タキ子の感想談として傳へられる左の記事の如きは實に農村に於ける子女の好教訓であると思はれる。

女學校に行きたくて仕様がな。ところが親が許さぬ。それで小學校だけで手甲脚絆で鍬を持ち鎌を持つて山に出る。さうすると自分よりも出来なかつた子供達がきれいな着物に傘さして町の女學校に通つて行く。それを途中で逢ふ氣持の悪さ。實に苦しんで居つたのを一人の姉

が見兼ねて、お前位出来たら一つ編入試験を受けて見たら二年に上るかも知れない。さうしたらお父さん達も許しなざるだらうといふので編入試験を受けたんです。さうすると二年に立派に通つたんです。それで姉と二人で親達に頼んだけれども矢張り家のやうなもので女學校などへ行くのは以ての外だといふのでどうしても許さぬ。それですつかり悲觀して自殺しようと思ふたり、東京へ飛び出さうと思つたりしたけれどもそれも出来ない。實に一年ばかりの間殆ど仕様の無い暗黒の生活を送つて居つたが、諦めてしまつて、そんならこのまゝ、朽ち果てる自分だらうかといふことに初めて考へついで、さうして農村を見廻すごの家でも皆親と子供の仲が悪かつたり、夫婦の仲が悪かつたり、家庭に幾つかの問題を持つて居る。さうして皆がだん／＼貧乏するやうな風になつて居る。それでどうせ上の學校に行けぬ自分ならばこの農村の家庭の人となつて、この農村を少しでも晴やかにするといふことが吾々の力で一體出来ぬものだらうかといふことに考へついで。それから部落の處女會をつくつて皆と一緒に一生懸命に働くことになり、今は手甲脚絆をつけて野に出るのが恥しくも何ともありません。喜び勇んで出ます。云々

「雄辯」昭和五年一月號所載

二、郷土の實情を明かにし、特にその地方産業振興の實際的方策についての知識を啓發するにや。

前に述べたるが如く兒童に職業の實地研究を促がすと共に篤農家の言行や模範農村の經營の實況等を紹介して地方産業の振興についての基礎觀念の啓培に努むべきである。左の材料の如きは兒童に參考せしむべき好適のものと思はれる。

○ 大阪府下八尾町の梅原某といふ人は電線製作所の職工であるが、日曜毎に百姓をして三段五畝の田地から米を六石八升一合收穫された。(昭和二年のこと)専門の百姓でもそれだけの收穫はなか／＼得られないのにどういふわけであるかといへば、それは次のやうな苦心の結果であつた。梅原君のやり方は全く研究的で、例へば苗代に籾を蒔くのも先づ庭で何遍となく、これなら大丈夫との自信を得るまで毎日々々蒔くけいこをしたといふ。其の實際の蒔き方を近所の年寄つた百姓が見て非常に感心して褒めた時に、梅原君は「お爺さんあなたは何遍位籾を蒔きましたか」と問ふた。爺さんは「さうさ、この歳になるまで四十何回かやつて来た。」と答へた。そこで梅原君曰く「それでは私の方が上手なのは當り前だ、私は家の庭で十分に蒔く稽古をして居る。それは四十回や五十回の練習ではない」と。又梅原君は十二月から三月頃までの間に毎朝四時から六時まで手車を曳いて馬糞を拾つて推肥を作られるといふのである。

○ 富民協會の競作田のこと

財團法人富民協會主催の「米穀多收穫競作」が昭和三年に第一回を近畿二府五縣を區域として行はれて、反當り七石五勺の實收をあげ、昭和四年の第二回には東海北陸山陽山陰を一區域として行はれて、反當り八石四斗一合といふ記録を示された。本年度には關東の一府九縣を區域として行はれることになつてゐる。

○ 高松宮殿下、模範農村御視察に陪從して、前農商務次官鶴見左吉雄氏が「公民」誌上に執筆せられた記事の一節。

碧海郡（愛知縣）全体としての農業經營が非常によく、其の土地の農民が勤勉力行する實に精勵な農民である。第一に若い青年がよく眼覺めて居つてたゞ農村が疲弊するといつて手を拱ねて時勢の推移を待つべきでない。困難であればどうかしてそれに打克つて善處して行かなければならぬといふ非常な決心を以て熱心に仕事を致して居る。

第二には非常に進んだ科學の力を應用して居る。例へば耕作を致すにも共同でやるのか、共同の農場を開いて共同で仕事をやり、脱穀をやるには電氣を應用し、農業倉庫附設の作業場で時間を定めて次から次へと農民の希望に應じて脱穀を致して居るのであります。或は電氣を應

用して鶏に一日に卵を二つ産ませるといふやうなことをやつて居る。卵を孵化させるのにも太陽燈を用ひてよい卵を早く孵化させると云ふことをやつて居る。

第三には農民は利用組合、販賣組合と云ふものを盛に應用して便利を圖つて居るのであります。……斯う云ふやうに勤勉精勵、最新科學を應用し、さうして共同の力に依つて組織的に實行してゐる。云々

三、土に親しみ土を愛する精神の涵養につとむること。

學校と町村の農會等とが聯合して相當の規模の農場を經營して尋常五年以上の兒童をして各種の農耕、試作、養禽等の實務的勤勞に服せしむるやうにしたいものである。從來地方に多く行はれてゐる兒童の一坪農業の試みとか、狭い實習地での不徹底な農作指導の如きでは到底この目的を達することは出来ないと思はれる。

四、學問の出來がよいから百姓にするのは惜しい、といふが如く考へられたる一般の謬見を打破すること。

實に今日の農村に於てはごこでも、特に進取的に犠牲的にその振興の爲に努力を惜しまざる有能有爲の青年男女の協心戮力に期待するところが大であるのである。

五、郷土を去れる先輩の成功及び失敗の徑路を明かにして参考に資せしむること。

或る地方の小學校の先生が私に寄せられた書信の一節に、……當村の如き山村に於ても高等小學校卒業者の約四割は他へ（主として都市）小商店又は職見習等に出て行きその中の半數は業成らずして中途にて歸村いたす状態（最近十ヶ年間の調査）にて、その中途歸村者が都會より故郷へ持ち歸るものは精神的には都市の悪思想、肉体的には結核性の疾患位でございます。近時當村にても肺結核患者の多くを見受けますが、その多くは都市にて感染して歸りし者又はその家族で、この有様を諦視するとき、唯傍觀することを許されぬ氣がします云々と認められてあつたが、かゝる状態は必ずしもこの地方のみに限られた事ではないと思はれる。事情に疎い少青年が都會に憧がれて漫然と郷土を去つて却つて憂目を見る。さうして身をあやまるばかりでなく他に迷惑を及ぼすに至れる事例は可成りに多いことである。さればつとめて之を未然に防ぐ爲の配慮が切要である。即ち郷土を去らんとする者をして先輩の成敗の徑路に鑑み慎重に考慮を拂はしむ

るやうに適當の指導を加ふべきである。

六、都市に於ける小商店員小工員等採用の條件及びその生活状態并に將來の見込等についてその實際を知らしむること。

工場とか鑛山とかに働いてゐる労働者は工場法又は鑛夫勞役扶助規則などによつて不十分ながら夫々保護されてゐるが、一般商家被傭員に對しては未だ何等保護法を講せられてゐない。その待遇の如きも前章に記述せるが如く確然たる標準無く、又勤務時間も概ね長きに過ぎて修養と休養の餘裕を與へられないが多い。

職見習の方面にしてもその修業過程のルーズながあつて徒らに長き年期を費さねばならぬのが多い。斯かる状態にある都市の業界へ迂濶に出かけて來ては前に云へるが如く成功者よりも寧ろ失敗者敗慘者をより多く生ずるといふのが自然の數と謂ふべきである。都市の外観や都市人の生活に對する皮相觀に眩惑せしめないやうに注意すると共に、特に都市に出でんとする少年少女等には豫め都市に於ける小商店員小工員の生活状態なり雇傭條件及び將來の見込につきてその大要を理解せしむることの必要を痛感する次第である。

七、都市に出づる少青年の就職紹介及び就職後の保護監督の方途を講ずること。

少年に對する職業紹介の主旨とするところは、少年の性能に適應する永續的な社會生活の合理的基礎を與へるものであらねばならない。随つて飽くまで教育的見地に立つて最善を盡してやらねばならぬ。

それが爲には地方小學校に於て都市の公立職業紹介所との連絡又は郷土出身の在都市先輩との連絡を圖つて都市に出づる者の就職及就職後の輔導について能ふ限りの配慮を爲すべきである。凡そ少年が就職後に於てたとへその職業が適當であつたとしても、環境の變遷、心身の變化に伴つて自ら不安の念に驅られて轉職を欲し或は不測の事件の生ずることあり一身上の重大問題に逢着する場合等が往々ある。その場合に最も必要なのは正しい判斷を與へ正しい方向を指示する信賴し得られる指導者のあることである。然るに今日に於てはかゝる指導者、保護監督者をもたざる者が多い。これ實に就職少年の大なる悩みであつて、それが爲に有爲の前途ある少青年をしてその身をあやまらしめ延いて一家を不幸に陥らしめ、郷黨にまで迷惑を及ぼすやうな事にもなる。愛する教へ子の前途を思へば、地方小學校に於て是等の施設の講究を忽かせにしてはならぬいと考へられる。

大阪市少年職業指導研究會では現に左の趣意による就職少年保護協會の設立を主唱してゐる。相呼應して世の特志家に訴へて之が實現を期せられん事を切に冀望する。

就職少年保護協會

一、設立趣意書

大阪市立の小學校二百二十餘校の卒業生中直ちに他家に於て職に就くものが年々約五千名の多きに達して居ります。今其の勤務の状態を見ますに官廳、會社若くは銀行等の給仕や事務見習を初めとして、百貨店普通商店の店員や大工、指物、石工の職見習等各種職業に活動して居ります。さてその勤務先の設備なり、勤務規程なり、事務の分掌なり、又待遇規則などが整備して居れば問題はありませんが、勤務に統制がなく、時間に規律がなく、待遇に規準がなく、設備が不完全でか弱き少年少女の前途の爲に甚だ憂ふべき状態にあるものが尠くないと云ふのが實情ではないでせうか、之を大阪市少年職業指導研究會の就職少年に對する余暇利用調査の結果に見ましても、實際學ぶに時間の都合が悪く楽しむに適當の設備がなく、同僚の悪感化、健康の障害等不良化の道行を想到するに難くはありません。これは獨り彼等のみの罪と斷じ難き

を覺ゆるのであります。吾々は彼等に就職の喜びと將來の希望を一時の夢とさせたくはない。何等かの方法を以て其の喜びと希望とを續けさせ度いことを痛感するのであります。吾々は組織ある協會の力により雇傭主との協調を計り彼等の職業的活動を順當ならしめ、向學心をも満足せしめ、趣味性を培うて品格の向上を促し又大に保健衛生の道をも開き、以て有爲なる商工市民たらしめたいと考へるのであります。之れ大阪市就職少年保護協會の設立を目論んだ所以であります。

二、綱領

- (一) 本協會は就職少年の勤勞力の維持向上を期す
- (二) 本協會は雇傭主と協調し就職少年に對する周到なる保護施設の完成を期す。
- (三) 本協會は少年雇傭法の即時制定を期す

以上

昭和五年三月

◎ 擧筆するに當り、難波高等小學校に於ける同僚の氏名を茲に録して、その勞を多謝す (完)

首	川島富太郎	本科担任	坪佐恒男
本科担任	菅野善之助	同	板東幸保
同	淺井庄治郎	同	植松マヌエ
同	木村義一郎	同	長喜春代
同	佐藤義雄	同	砂川みつ
同	花田幾治	同	牧野久代
同	松園讚彌	手工、工業主任	山本與一
同	眞鍋喜三郎	手工、工業担任	鳥居虎男
同	松岡麗輝	商業主任	石川鐵太郎
同	東山總雄	商業担任	市川武雄
同	近藤伊三美	簿記科中、教	江藤アイ
同	修身科中、教	裁縫担任	江藤アイ
同	矢間愛雅	手工科中、教	故水上武雄

附 録

三昭
年 度 和

求 人 一 覽 表

「商店員の部」

大阪市立中央職業紹介所少年部

名 稱	住 所	職 業 種 別	使 用 人 員	採 用 人 員		保 証 人	少 年 の 住 居	勤 務 時 間	公 休 日	給 料 等	夜 間 学 校 可 否
				男	女						
D 吳服店				二〇	二〇	要ス	勤務係	通	毎月曜	日給七十五錢	可
T				二〇	一〇	父兄ト 其他一名	市內居住 者ニテ二 賣場係女 子ニテ上 千圓以上 資産アル モノ二名 住	通	一〇月二回	〃	寄宿舎ニ テ教育
M				二〇	一〇	父兄ト 其他一名	市內居住 者ニテ二 賣場係女 子ニテ上 千圓以上 資産アル モノ二名 住	住込	九月三回	〃 八十三錢	〃
S				二	七	他ニ一名 勤務	父兄ト其 住込	住込	八、九月二回	月二十三圓 シ食費十圓引	〃
T 株式会社 東區北濱		運 送 業	二	一	要ス	要ス	市內居住 者二名	住込	一〇月二回	月二十三圓 シ食費十圓引	希望ニヨ リ商業夜 學可
A 商店 東區道修町		藥種粉末問屋	二	三	要ス	要ス	市內居住 者二名	〃	九 祭日	仕着月六圓	可
K 商店 此花區上福島		諸機械工具電氣器 具輸入並製作	職工三〇 店員一五	一〇	要ス	要ス	市內居住 者二名	〃	九 祭日	仕着月六圓	可
M 商店 北區寶寺町		西洋樂器一式圖書 出版販賣	六〇	三	要ス	要ス	市內居住 者二名	〃	一〇	月給二十圓 食事自辨	可
T 商店 西區北通		藥種卸小賣	五	二	要ス	要ス	市內居住 者二名	〃	〃	食事付テ十圓 !十五圓	三年ノ間 藥種學校

求人者採用條件

名稱	住所營業所	職業營業種別	使用人員	採用人員	教育	保証人	少年之住	通勤	勤務時間	公休	給料其ノ他	夜學ノ可否
S商	店東區道修町	藥種貿易	一三〇	男三	高卒	要ス	住	住	〃	〃	月給三十圓諸 差引二十四圓	寄宿舎ニテ教育
Y商	店東區北渡邊町	貿易商	三〇	二	以上	〃	住	住	〃	〃	仕着月五圓	可
M商	店東區南本町	太物卸商	三	三	以上	〃	住	住	〃	〃	〃	〃
H商	店東區廣小路町	白轉車卸輸出商	九	二	高卒	〃	住	住	〃	〃	月八圓一十圓	〃
D商	店東區安土町	洋紙並ニ工業用品卸貿易	一〇〇	三	高卒	〃	住	住	九	九	月十圓十五圓 寢具持參ノ事	一ヶ年ノ後可
S商	店西區南堀江通	綿花商	三〇	三	以上	〃	住	住	一〇	〃	仕着四、五圓	〃
T商	店南區八幡筋	運動具店	三	二	高卒	〃	住	住	〃	〃	〃	〃
T商	店東區南久太郎町	金銀箔粉屏風製造販賣	一〇〇	五	以上	〃	住	住	一三	〃	〃	〃
N合資會社	今東區橋三丁目	綿花輸入業	二	二	高卒	二名要ス	住	住	〃	〃	〃	〃
Y商	店南區順慶町	洋家具室内裝飾	三	一	以上	一名ニテモ可	住	住	一〇	〃	〃	〃
F商	店東區博勞町四丁目	つちや足袋代理店金助足袋本舖	三	三	以上	要ス	住	住	〃	〃	〃	〃
N吳服店	店東區南本町	吳服卸商	九	三	〃	〃	住	住	〃	〃	〃	〃
K洋反物店	店西區長堀南通	洋反物卸小賣	三	二	〃	〃	住	住	〃	〃	〃	〃
O金物店	店南區五屋町	家庭用金物商	五	七	〃	〃	住	住	一	二	面談ノ上	可

N商	店西區薩摩堀南町	白米商	三	一	〃	〃	住	住	一〇	〃	仕着月七圓	〃
N米穀商	店北區芝田町	米穀商	五	三	〃	要ス	住	住	〃	〃	〃	〃
S茶舖	店東區内本町橋詰	茶舖	五	五	〃	二市內名	住	住	〃	〃	〃	〃
M商	店東區北久寶寺町	洋傘原料肩掛卸	五	二	〃	〃	住	住	〃	〃	〃	〃
N	店西區新町南通	各種鐵管商	一〇	二	高卒	要ス	住	住	〃	〃	〃	〃
S	店西區立賣堀南通	金物輸入販賣	二〇	二	〃	〃	住	住	八	〃	面談ノ上	可
K製造商	店東區瓦町	子供服製造卸商	一二	三	〃	要ス	住	住	一〇	〃	月給十圓	否
O商	店東區唐物町	洋紙問屋	四〇	二	〃	要ス	住	住	〃	〃	日給二十五圓 晝食付	可
H商	店西區江戶堀下通	電氣器具材料商	六	一	〃	〃	住	住	〃	〃	仕着月五圓	可
K商	店東區南本町	足袋綿布製造卸	四	五	以上	要ス	住	住	〃	〃	〃	可
H	店西區本田通	製材用機械工具輸入販賣	五	二	〃	〃	住	住	〃	〃	〃	可
O製作所	店西區北堀江通	電熱器製作販賣	八	一	〃	〃	住	住	一〇	〃	〃	〃
T商	店西區京町堀通	電氣商	六	一	高卒	〃	住	住	〃	〃	〃	〃
K合名會社	店東區南本町	吳服卸問屋	二	一〇	以上	二市內名	住	住	〃	〃	仕着月三圓五十錢	否
N商	店東區北久太郎町	羅紗絹綿布業	四〇	三	高卒	要ス	住	住	一〇	〃	〃	〃
T	店南區橋南詰	食料品店	五	五	〃	一名要ス	住	住	一三	〃	月七圓寢具持參ノコト	店舖教育

求人者採用條件

名	稱	住所營業所	職業營業種別	使用人員	採用人員	教育	保証人ノ少年ノ住達勤務間公休日給料ノ他	夜學ノ可否
T	店	北區天神橋筋	酒類醸造並販賣 和洋酒及食料品 罐詰販賣	三〇	五	〃	月十圓	可
K	〃	東區南本町	關東尾濃織物内 外向タホル間屋	一五	五	〃	仕着月四圓	否
K	〃	南區 安堂寺橋通	紐、釦、輸出商	一〇	三	〃	〃三圓	可
S	〃	東區備後町	綿布卸商	八	五	〃	〃四圓	可
M	製作所	北區木幡町	電機製作販賣	八	一	〃	〃四圓	可
H	吳服商	港區九條新道	吳服商	三三	五	〃	〃四圓	可
S	商	南區末吉橋通	金物商	四五	三	〃	〃四圓	可
K	商	店東區瓦町	寫真機 材料販賣	二〇	四	〃	仕着月三圓以上	否
I	〃	南區心齋橋筋	化粧品小賣	一〇	四	〃	〃五圓	可
F	〃	西區北堀江	藍、染料、工業 藥品販賣	三	一	〃	〃五圓	可
O	〃	東區 内久寶寺町	和洋毛織物商	五	四	〃	〃三圓	可
K	洋服店	東區道修町	洋家具製作販賣	一一	三	〃	仕着月二圓	〃

N	洋紙店	東區 南久寶寺町	洋紙商	三	二	〃	〃三圓	〃
M	洋行	西區阿波座	子供服、毛織物	一五	四	高卒	面談ノ上	〃
H	會	東區住吉町	運動具製作販賣	八	三	高上	〃	〃
K	商	店東區谷町	ワイヤツカラ 製造卸商	五	三	以上	〃	〃
S	商	店西區新町通	機械、工具商	二	二	〃	仕着月五圓	〃
Y	合名會社	東區 北久寶寺町	洋服用絹裏地商	七	三	高卒	〃三圓	否
I	商	店北區中之島	時計計卸	一〇	三	以上	面談ノ上	〃
O	商	店南區心齋橋筋	化粧品小賣及 製造	六	五	〃	月五圓 月七圓 月八圓	否
S	紙	店東區安土町	和紙販賣	一九	四	〃	月七圓 月八圓	可
S	商	店東區北濱 二丁目	有價證券買賣	二	二	〃	仕着月五圓	〃
F	〃	北區 北久太郎町	メリヤス 雜貨卸商	二	二	〃	仕着月五圓	〃
N	〃	南區 松屋町大手通	カステラ製、販	〃	三	〃	〃	〃
K	〃	南區 南區順慶町	木綿綿布問屋	一八	三	〃	仕着月五圓	可
K	〃	東區 東區本町	清酒大阪販賣部	八	二	〃	〃	〃
T	商	南區 西區薩摩堀	銅商	三四	四	〃	〃	否
Y	商	南區 心齋橋近ク	ネル、セル 子供服地	一五	二	〃	〃	〃

昭和四年 求人一覽表 (商店員の部) 大阪市立中央職業紹介所少年部

氏名、屋號、住所、業種	職業類別	現在使用人員	採用人員		待遇	希望	備考
			男	女			
H 株式会社 心橋筋毛布卸賣	印刷所	3	3	1	月2	高卒又中	戸籍謄本要
S 美容園 西淀川通	結髪美容	14	2	3	日曜	尋六	長男ナラ
M 商店 東、瓦町	モスリン友仙商	3	3	3	仕着月三圓	中	
A 商店 東、南本町	織物	14	2	5	仕着月三圓	1/3以上	
F 商店 東、内久寶寺町	靴書	10	3	3	仕着月三圓	中以上	
C 文祥堂 西、南久寶寺町	糸組紐問屋	6	3	3	仕着月三圓	高卒又中以上	
T 商店 東、土佐堀	諸般印刷業	40	2	2	仕着月五圓	高卒又優秀	
N 印刷所 西、土佐堀	諸般印刷業	4	2	2	仕着月五圓	中以上	
M 商店 南、高津	染料塗料藥品	4	2	2	仕着月五圓	高卒又中以上	
Y 商店 東、高麗橋	雜貨	5	2	2	仕着月五圓	高卒又中以上	
T 商店 浪速區、神田町	花緒卸商	2	3	3	仕着小遣	高卒又中以上	
S 商店 長堀橋地	金商	36	5	5	仕着月五圓	高卒又中以上	
M 商店 安土町	洋反物商	70	5	5	月2	高卒又中以上	要

名	住所營業所	職業營業種類	使用人員	採用人員	教育	保證人ノ少年ノ住込勤務時間	給料ノ他	夜學ノ可否
A 製作所	此花區上福島	電動器 電熱器 製作	八	一	高卒	要	日給 七十錢	
Y 印刷所	浪速區 西園寺町	石版 フセツト 印刷	一〇	三	見習 高商	二歩間ハ使		